

第4章 地域放送局

- ①全国8地域のそれぞれの冒頭で、2016年度のその地域の放送局の特記事項を要約した。
- ②「地域放送番組編集計画」(⇒p569)

I. 地域放送番組の編成

全国の放送局は、自然や文化、人と暮らし、経済、観光資源など、その土地ならではの魅力や、地域の課題を全国に伝える情報番組やドラマ、公開番組を強化し、地域の活性化に貢献した。また、地域に密着した地域のための情報提供を充実させ、暮らしや安全、地域の振興に役立つ番組やイベントなどを通じて、信頼される身近な放送局としての存在感を高めた。

1. 地域の実情に応じた放送サービスの充実

16年度も各放送局は、それぞれ地域の実情に応じた放送に取り組んだ。

夕方のニュース・情報番組では『もぎたて!』（岡山県域）、『ひめポン!』（愛媛県域）、『こうちいちばん』（高知県域）を新設した。

金曜夜間では、地域の課題と向き合い、解決の糸口を探る番組など、多様な番組を放送した。地域別に挙げると、『北海道スペシャル』『“鉄道縮小”の衝撃〜どう守る北海道の公共交通〜』（北海道地方）、『どんとこい!人口減少〜おらほの村は何守る?〜』（東北地方）、『特報首都圏』『“待機児童ゼロ”実現できるのか!?』（関東甲信越地方）、『ナビゲーションスペシャル』『“どう備える“活断層”地震〜東海北陸のリスク〜』（中部地方）、『関西UP!』『STOP!人口流出 関西に住みまSHOW』（近畿地方）、『フェイス』『“稼げる観光”は何をもたらすか』（中国地方）、『Discover四国』『田舎で見つけた希望の芽』（四国地方）、『なるほど実感報道ドドド!』『産業復興への苦闘〜熊本地震から半年〜』（九州・沖縄地方）などである。また、地域の関心の高いスポーツ中継を随時、放送した。

ラジオにおいては、第1放送で、災害時の機能強化等を目的に『情報たら福』（福井県域）、『ラジオ富山人』（富山県域）、『中国!ちゅーもく!ラジオ』（中国地方）、『ひろしま コイらじ』（広島県域）、『こでらんに5』（福島県域）、『ラジオまどんな』（愛媛県域）を新設した。

2. 地域発全国放送番組の充実

地域を舞台に地域放送局が制作した地域発ドラ

マとしては、『“くたばれ”坊ちゃん』（松山局）、『進め!青函連絡船』（青森局）、『宮崎のふたり』（宮崎局）、『舞え!KAGURA姫』（広島局）、『ラジカセ』（津局）、『朗読屋』（山口局）、『千住クレイジーボーイズ』（首都圏放送センター）、『アオゾラカット』（大阪局）をBSプレミアムで放送した。

地域からの全国発信枠として、総合テレビでは、『ひるブラ』『うまいっ!』『ドキュメント72時間』などを継続して放送したほか、新番組『スタジオパークからこんにちは 第2部』では、各地の文化や風土、土地に暮らす人々、直面している課題への取り組みなど、地域放送局が制作した番組を全国に発信した。

II. 地域放送局の組織

1. 地域拠点局

本部を除く53の放送局のうち、大阪、名古屋、広島、福岡、仙台、札幌、松山の7つの放送局を地域拠点局と位置づけ、域内各放送局の支援・調整機能を持たせている。

地域拠点局の組織・業務体制は、放送部（大阪・名古屋は編成部、制作部、報道部）、技術部、広報・事業部（大阪は広報部、事業部）、営業推進部、企画総務部である。なお、これに加えて、大阪には考査部が、また、大阪に3か所、名古屋に2か所、札幌に4か所の営業センターがある。

地域拠点局は、各組織が緊密な連携の下で、地域サービス充実のための業務運営を推進している。

2. 放送局

放送局の組織・業務体制は、企画編成部、放送部、技術部、営業部の各々が連携しながら全局を挙げて視聴者本位の地域サービス充実のための業務運営を推進している。

北海道

- ◇8月中旬から北海道へ接近上陸し甚大な被害をもたらした台風災害では、道内7局が一体となって迅速な報道を行うとともに、特設ニュースやL字放送、ホームページも駆使して防災・減災報道に努めた。
- ◇金曜夜8時・日曜午後1時を『北海道LOVEテレビ』ゾーンと位置づけ「北海道スペシャル」等のさまざまな番組を幅広い視聴者に向けて放送した。また、「北海道日本ハムファイターズ」の10年ぶり日本一、「北海道コンサドーレ札幌」の5年ぶりJ1昇格、27年ぶり札幌開催の冬季アジア大会等、スポーツに関する話題も豊富な1年であり、地元を大いに盛り上げた。
- ◇放送設備の整備により、「らじる★らじる」や『ほっとニュース北海道』の生字幕放送の運用を開始した。また、防災報道に備えた各種設備整備を行った。
- ◇8月のスーパーハイビジョン試験放送開始に併せて道内7局でリオデジャネイロオリンピック等の受信公開を行った。また、若い世代をターゲットにしたダンスイベントを継続して実施し、冬季アジア大会とのタイアップを図る等、更なる展開を図った。
- ◇営業活動では、法人委託の拡大・定着に向けた積極的な取り組みと、番組やイベントと連動した受信料の理解促進活動により、業績確保に努めた。

I. 放送

1. 放送の概要

NHK北海道は、7つの放送局が緊密に連携し、豊かで質の高い地域放送サービスを行っている。

北海道を襲った台風による大規模災害、道内で発生した事件・事故、7月の参議院議員選挙など、さまざまなニュースを道内7局が一体となって伝えた。JRの路線見直し問題や北方領土を巡る動き、地元スポーツチームの活躍など関心が高いテーマはさまざまな切り口で伝えた。

27年ぶりの札幌開催となった冬季アジア大会ではニュース企画や競技中継などで北海道独自の放送を展開し、地元の盛り上げに貢献した。

(1) ニュース・報道番組の強化

平日午後6時台は『ほっとニュース北海道』を

継続、道内7局のネットワークを活用し、地域のニュースや話題をきめ細かく、そして親しみやすく伝える基幹番組として、さらなる定着を図った。

金曜午後7時台には『北海道クローズアップ』を原則毎週編成、36本放送した。北海道が直面する課題に向き合い、将来へのヒントを探った。

8月中旬から北海道に相次いで接近上陸し、甚大な被害をもたらした台風災害では、特設ニュースやL字放送で減災報道に努めたほか、独自ニュースや定時・特集番組で、災害の検証を行うなど継続的かつ多角的に伝え続けた。参議院議員選挙に際しては候補者の動きや18歳選挙権を巡る課題など、多岐にわたる内容を発信した。

JR北海道が単独では維持困難な赤字路線を公表した件では、継続的に番組やニュースで取り上げたほか、12月に行われた日露首脳会談で北方領土問題が協議された際には、ロシアとの合意内容や元島民の声を丁寧伝えた。16年3月に開業した北海道新幹線については開業半年、1年の節目を中心に現状と課題を継続して伝え続けた。

(2) 幅広い視聴者に向けた番組の充実

これまでの金曜夜8時台に加え日曜午後1時台に『北海道LOVEテレビ』を新設し、曜日と時間帯が異なる2つの地域放送ゾーンとして、『北海道スペシャル』や『いくぞ〜！北の出会い旅』『穴場ハンター』『北海道中ひざくりげ』をはじめ、『いま大注目！北の縄文スペシャル』『ステージが僕らの甲子園』など、さまざまな番組を放送した。

10年ぶりに日本一に輝いたプロ野球「北海道日本ハムファイターズ」や5年ぶりにJ1に復帰した「北海道コンサドーレ札幌」、夏の全国高校野球で準優勝した北海高校など地元スポーツチームの躍進に際しては、特別番組をタイムリーに放送した。

(3) 北海道の魅力や課題を国内外に発信

総合テレビでは定時番組『あさイチ』や『ひるブラ』のほか、『NHKスペシャル』『人生の終い方』(5月)、「縮小ニッポンの衝撃」(9月)を制作した。『クローズアップ現代+』の「緊急報告・台風10号」(9月)、「大谷“二刀流”そして大逆転劇」(11月)や「“鉄道縮小”時代」(12月)、『ファミリーヒストリー』『倉本聰』(12月)、『小さな旅』『北海道 北斗市』(3月)も制作した。このほか、『北の大地コンサート2016』(7月)、『NEXT 未来のために』『“破綻のまち”夕張の挑戦』(8月)、『につぼん紀行』『北の大地を走る』(9月)といった特集番組も制作した。

Eテレでは『ETV特集』『今よみがえるアイヌの言霊』(12月)、『人生デザイン U-29』『ロケ

ット開発会社社長」(11月), BS1では『スポーツ追体験ドキュメント』『大谷翔平が語る』(1月), 『アスリートの魂』『ゆけ!スマイルジャパン』(2月)を制作した。BSプレミアムでは定時番組『新日本風土記』で「すすきの」(5月), 「十勝」(11月)を制作したほか, 『天空のお花畑』(10月)では4Kカメラで撮影した高精細な映像も交えた。

FMでは定時番組『FMシアター』『誰が為にラジオは流る』(9月), 「レ・コードがくれた奇跡」(3月)のほか, 冬季アジア大会直前に『今日は一日“ドリカム”三昧』(2月)を制作した。

海外発信にも積極的に取り組み, NHKワールドで2月に実施したニセコエリアを中心とした特集編成では, 「ニセコ・インバウンドの舞台裏」や「Wild Hokkaido!」を制作した。

(4) デジタルサービスの充実

夏の連続台風などの災害時に, 避難情報や開設避難所情報をはじめ, さまざまな防災・災害情報をデータ放送やホームページでも掲載。デジタルの分野でも北海道の「安全・安心の拠点」として随時情報発信した。

JRの路線見直し問題を取り上げた『北海道スペシャル』など複数の番組でデータ放送やツイッター, メールによる双方向演出を実施した。

双方向演出は, 「日本ハムファイターズ」の野球中継や優勝特番等でも実施。スポーツファン向けにはスポーツポータルサイトの開設や冬季アジア大会特設コンテンツの運用等も行った。

世界遺産登録を目指す北海道の縄文遺跡について, 番組連動データ放送コンテンツを制作, また, 関連動画を掲載したサイトを開設した。

(5) 地域貢献への取り組み

道内の視聴者に, 地域の放送局として親しみをもってもらうことを目的とした「I LOVE JIMOTO北海道」キャンペーンを継続し, 自然や食, 温泉, スポーツに打ち込む子どもたちなど, さまざまなテーマを取り上げ, 年間を通じてホームページと放送で展開した。2月に札幌市と帯広市を舞台に開催された2017冬季アジア札幌大会では事前のPRキャンペーンのほか, 大会期間中は全国放送に加えて北海道独自の競技中継を放送するなど地元の放送局としての放送に努めた。

2. 地域放送番組

(1) 定時番組

『NHKニュース おはよう北海道』G

月～金 7:45～ 8:00

『NHKニュース おはよう北海道 土曜プラス』G

土 7:30～ 8:00

第1回93.4.5/北海道ブロック/北海道の朝の最新ニュースと詳しい気象情報を丁寧にまとめた地域密着のニュース情報番組。暮らしに役立つレポートのほか, 全道各地からの中継や天気カメラで北海道の朝の表情を生き生きと伝えた。土曜は, 『土曜プラス』として「土曜プラス特集」や「ぶらりみてある記」などで, 地域的话题を多彩に伝えた。

『つながる@きたカフェ』G

月～金 11:30～11:50

第1回10.4.2/北海道ブロック/「つながる」をコンセプトに, 道内各局のネットワークを生かし, 北海道各地の旬の話題, 各地のイベント情報を生放送で届けた。

『ほっとニュース北海道』G

月～金 18:10～18:59

第1回14.3.31/北海道ブロック/道内7局のネットワークを生かし, 北海道のその日1日のニュース, 深く掘り下げた特集のほか, 道内各地の話題もテンポよく紹介した。

『ほっとニュース845』G

月～金 20:45～21:00

第1回14.3.31/北海道ブロック/北海道の1日のニュースを伝えるニュース番組。午後7時以降の新たなニュースや, きめ細かい気象情報を分かりやすく伝えた。

『ニュース北海道645』G

土・日 18:45～18:59

第1回13.4.6/北海道ブロック/土曜・日曜の北海道のニュースを伝えるニュース番組。ニュース, 気象情報を分かりやすく伝えた。

『北海道クローズアップ』G

金 19:30～19:55

㊿日 8:00～ 8:25

第1回93.4.1/北海道ブロック/北海道の“いま”を見つめ, “これから”を問う番組。北海道地方を相次いで襲った台風被害やJRの路線見直し問題, 北方領土交渉を巡る動きのほか, 自治体や各産業の現状や活躍が相次いだスポーツ分野など, 道内のさまざまな出来事や課題をタイムリーに放送した。主な内容/「夕張・財政破綻から10年」「北洋サケマス流し網漁禁止の波紋」「大奮闘! 北海高校」「連続台風の衝撃」「動き出した北方領土交渉」「日本一・栗山監督が語る」「連続台風3か月」「私たちの本屋を守りたい」「スマイルジャパン」「どうなる“鉄路縮小”」など

『北海道スペシャル』 G

金 20:00~20:43

㊄土 10:05~10:48

第1回14.4.4/北海道ブロック/北海道が直面する課題に向き合う大型番組や、豊かな自然や文化の魅力を掘り下げる番組などを多彩に放送した。

「検証・連続台風～北海道に迫る危機～」 9.30

「今よみがえるアイヌのレコード」 11.18

「“鉄道縮小”の衝撃～どう守る北海道の公共交通～」 (19:30~20:43) 12.2

「一粒でも育て ～十勝 格闘の記録～」 1.13

「ニセコ インバウンドの光と影」 1.20

『北海道中びざくりげ』 G

金 20:00~20:24ほか

第1回87.4.9/北海道ブロック

「終着駅・増毛 いつまでも」 4.15

「小さいけれど いつも生き生き～積丹半島・神恵内村～」 6.3

「水の恵み 身にしみて ～七飯町～」 8.26

「酪農の町に夢をいだいて～中標津町～」 9.23

「樹海のまち 時を越えて～十勝・上士幌町～」 11.4

「太陽の恵みが世代を紡ぐ～美幌町～」 12.9

「噴火湾の恵み いつまでも～胆振・豊浦町～」 2.24

『穴場ハンター』 G

金 20:24~20:43ほか

第1回11.5.13/北海道ブロック

「増毛町エリア」 4.15

「神恵内村エリア」 6.3

「七飯町エリア」 8.26

「中標津町エリア」 9.23

「十勝・上士幌町エリア」 11.4

「オホーツク・美幌町エリア」 12.9

「豊浦町エリア」 2.24

『北海道LOVEテレビ』 新 G

日 13:05~13:48

第1回16.4.10/北海道ブロック/『いくぞ～！北の出会い旅』などの紀行番組のほか、さまざまな特集番組を放送するゾーンとして新設した。

『いくぞ～！北の出会い旅』 G

日 13:05~13:48ほか

第1回11.4.16/北海道ブロック

「祝！新幹線開業 道南ローカル線の旅」 (前編) 4.10, (後編) 4.24

「十勝でイチオシを探せ！」 (前編) 5.8, (後編) 5.15

「吉さん流 各駅停車で楽しむ！北海道新幹線の旅」 (前編) 6.19, (後編) 6.26

「札幌近郊で輝く“食材&人気者”を探せ！～石狩市～」 9.22

「がんばろう北海道！被災地に笑顔を！」 (前編/後編) 2.19

『おはよう もぎたてラジオ便』 R1

月～土 7:40~8:00

第1回02.4.1/北海道ブロック/ニュース、気象情報などを分かりやすく伝えるとともに、道内の取り組み、イベント情報など多彩に紹介した。

『トゥデイ・レポート北海道』 R1

月～金 19:45~20:00

第1回95.4.3/北海道ブロック/道内のニュースを分かりやすく、気象情報をきめ細かく伝えた。

『北海道まるごとラジオ』 R1

木 17:00~18:00

第1回13.4.4/北海道ブロック/道民の安全・安心を守る地域放送局の発信を確保し、道内各局のネットワークを駆使して地域情報を伝えた。

(2) 特集番組

〔北海道ブロック〕

『I Love JIMOTO なるほど物語』(3分×26本) G 札幌局 4.22ほか

『北の大地コンサート2016』 G

札幌局 7.1/19:30~20:43

『北海道まるごとラジオ リオ五輪出場北海道選手応援特集』 R1

札幌局 7.28/17:00~18:50

『北海道まるごとラジオ 防災スペシャル』 R1

札幌局 9.3/13:05~15:55

『北海道朗読スペシャル「塩狩峠」～三浦綾子の名作を味わう～』 R1

札幌局 9.4/16:05~16:55

『パ・リーグ優勝 おめでとう！ファイターズ』

G 札幌局 9.29/0:05~1:35

『うまいッ王国 十勝スペシャル』 G

札幌局 10.9/13:05~13:48

『いま大注目！北の縄文スペシャル』 G

札幌局 10.23/13:05~13:48

『10年ぶり日本一 おめでとう！ファイターズ』 G 札幌局 10.30/1:35~2:55

『ステージが僕らの甲子園』 G

札幌局 11.6/13:05~13:48

『PMF2016オーケストラ演奏会』 FM

札幌局 11.13/9:00~11:00

『アイデア対決 全国高等専門学校 ロボットコンテスト2016～北海道地区大会～』 G
札幌局 11.13/11:00～11:54

『日本一ありがとう！ファイターズ 優勝パレード』 G 札幌局 11.20/10:05～11:10

『きらり！軽音ライブショー～第1回全道高等学校軽音楽大会～』 FM
札幌局 11.20/14:00～17:00

『J1昇格 おめでとう！コンサドーレ』 G
札幌局 11.21/ 0:05～ 0:50

『札幌FMコンサート 第594回定期演奏会から』 FM 札幌局 11.23/ 7:25～ 9:20

『北の文芸館～朗読と音楽のライブセッション～』 G 札幌局 11.27/13:05～13:48
FM 札幌局 12. 4/14:00～16:00

『北海道まるごとラジオ～コンサドーレJ1昇格スペシャル～』 R1
札幌局 12. 8/16:36～18:00

『わくわくドキドキ！ぶらりみてある記スペシャル』 G 札幌局 1. 8/13:05～13:48

『今年にかける 2017』 G
札幌局 1.29/13:05～13:48

『10代とつくるコンサート～オーケストラと大合唱～』 G 札幌局 2.11/10:05～11:10

『札幌FMコンサート 第596回定期演奏会』 FM 札幌局 2.19/14:00～15:55

『みんなオドッチャオ！～ダンスに秘められたパワーとは～』 G 札幌局 2.26/13:05～13:48

『すすきの今昔物語』 G
札幌局 3.18/10:05～10:48

〔各局単〕
〔函館単〕
『NHKのど自慢 予選会 in 北斗市』 G
9. 3/10:05～11:18

〔旭川単〕
『NHKのど自慢予選会in稚内市』(前編) G
5.14/10:05～10:53

『NHKのど自慢予選会in稚内市』(後編) G
5.21/10:05～10:53

〔帯広単〕
『WE LOVE TOKACHI 80年』 FM
10.15/14:00～16:00

『NHKのど自慢予選会in幕別町』(前編) G
12.10/10:05～10:48

『NHKのど自慢予選会in幕別町』(後編) G
12.17/10:05～10:48

〔釧路単〕

『釧路応援ラジオ 朗読で楽しむ桜木紫乃の世界』 R1 5.28/ 9:05～ 9:55

『釧路・根室応援ラジオ「北方領土特別講演」』 R1 12.13/17:00～17:55

『つながる@秋まつり』 G
10.28/11:50～11:54
(「つながる@タンチョウ」枠内)

『NHK放送体験クラブ 釧路・根室地区』 G
12.12～16/11:50～11:54
(「つながる@タンチョウ」枠内)

〔北見単〕
『北見局開局75周年記念 復活！1日限りのKPジョッキー』 FM
10.22/13:00～16:00

『北見放送局 開局75周年～オホーツク心の風景』(2分×10本) G
5.26～ 3. 9 随時31回放送/16:48～16:50

〔室蘭単〕
『朗読ひろば アイヌの物語』 FM
3.18/11:00～11:50

〔各局共通〕
『第83回NHK全国学校音楽コンクール』
「北海道ブロックコンクール」 E
札幌局 9.24/14:00～17:00

「小樽・後志、空知、札幌地区大会 小学校の部」 FM 札幌局 8.27/ 9:00～11:00

「小樽・後志、空知、札幌地区大会 高等学校の部」 FM 札幌局 8.28/ 9:00～11:00

「小樽・後志、空知、札幌地区大会 中学校の部」 FM 札幌局 8.28/12:15～17:00

「道南地区大会」 FM
函館局 8.28/12:15～14:00

「道北地区大会」 FM
旭川局 8.28/14:00～17:00

「十勝地区大会」 FM
帯広局 8.28/12:15～13:50

「釧路地区大会」 FM
釧路局 8.28/14:00～15:55

「北見地区大会」 FM
北見局 8.28/12:15～14:00

「室蘭地区大会」 FM
室蘭局 8.27/ 9:00～11:00

3. スポーツ中継

〔高校野球〕

第55回春季北海道高校野球大会—決勝—

R1 6. 6

第98回全国高校野球選手権大会 北北海道大会

準決勝・決勝 G・E・R1・FM 7.20~21
 第98回全国高校野球選手権大会 北海道大会
 準決勝・決勝 G・E・R1・FM 7.21~22
 第98回全国高校野球選手権大会
 決勝(録画) G 8.24
 第69回秋季北海道高校野球大会
 準決勝・決勝 R1 10.7~8
 決勝 G 10.8
 [プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦]
 対「楽天」 G(サブ) 4.9/13:50~18:00
 G 14:50~18:00
 対「楽天」 G(サブ) 5.27/18:00~21:30
 G 20:00~20:44
 対「ソフトバンク」 G(サブ) 7.29/18:00~21:37
 G 19:30~20:44
 対「広島」
 R1 6.9/18:05~18:50, 19:30~21:30
 対「西武」
 R1 9.27/18:00~18:50, 19:30~21:25
 対「西武」
 R1 9.28/18:00~18:50, 19:30~21:30
 パ・リーグ CSファイナルステージ
 対「ソフトバンク」
 (第1戦) R1 10.12/18:00~18:50, 19:30~21:13
 (第2戦) R1 10.13/18:00~18:50, 19:44~21:55
 G(サブ) 10.13/18:00~21:50
 G 19:30~20:44
 (第3戦) R1 10.14/18:05~18:50, 19:45~21:35
 (第4戦) R1 10.15/14:00~17:16
 [Jリーグ コンサドーレ札幌戦]
 対「徳島ヴォルティス」 G 4.29/13:50~16:00
 対「レノファ山口」 G 5.28/13:50~16:00
 対「東京ヴェルディ」 G 10.22/13:50~16:00
 対「ベガルタ仙台」 G 2.25/13:50~16:05
 対「サンフレッチェ広島」
 G(サブ) 3.18/13:50~16:05
 G 13:50~15:00
 対「徳島ヴォルティス」 R1 11.6/13:05~15:00
 [2017札幌冬季アジア大会]
 「開会式」 G(サブ) 2.19/16:04~18:05
 G 16:04~17:59
 「スピードスケート」「ショートトラック」
 G 2.20~22/15:10~16:50
 [その他のスポーツ]
 [北海道ブロック]
 フットサルFリーグ
 「エスポラーダ北海道」対「バサジィ大分」
 G 12.23/13:55~15:40

バスケットボールBリーグ
 「レバンガ北海道」対「サンロッカーズ渋谷」
 G 2.4/14:00~16:10
 第34回知事杯全道サッカー選手権(天皇杯全日本
 サッカー選手権代表決定戦) 決勝
 E 8.21/14:00~16:00
 第31回NHK室蘭杯高校アイスホッケー大会 決勝
 「駒大苫小牧」対「苫小牧東」
 G 11.13/13:05~15:11
 アジアリーグ アイスホッケー
 「日本製紙クレインズ」対「王子イーグルス」
 E 12.11/15:00~17:25
 第69回北海道高校アイスホッケー選手権 決勝
 「武修館」対「駒大苫小牧」
 G 12.22/9:55~11:30
 ジャンプ女子ワールドカップ 第7戦 札幌大会
 G 1.15/1:05~1:55
 [帯広単]
 第56回全十勝小中学校選抜スピードスケート選手
 権-小学生決勝 G 2.26/13:50~15:00
 [釧路単]
 『釧路応援ラジオ 「日本製紙クレインズ」対
 「日光アイスバックス」』
 R1 10.30/15:55~18:30
 第48回NHK杯アイスホッケー大会 決勝
 小学校の部 G 11.3/10:05~11:45
 中学校の部・高校の部 13:05~17:55
 [室蘭単]
 第31回NHK室蘭杯中学アイスホッケー大会 決勝
 G 11.13/10:05~11:54

II. 技術

1. 地域放送番組の充実

BSP番組『天空のお花畑 大雪山~“小さな賢者”の物語』、『さわやか自然百景』『知床 流水接岸』、『スポーツ追体験ドキュメント』『大谷翔平が語る優勝への15奪三振』をスーパーハイビジョンカメラで制作し、高精細で高品質な映像表現で北海道の魅力を全国発信した。なお、12月に『天空のお花畑 大雪山~“小さな賢者”の物語』が4K番組としてスーパーハイビジョン試験放送で全国発信された。

このほか、プロ野球「日本ハム」パリーグ優勝・日本シリーズ優勝、J2サッカー「コンサドーレ札幌」J1昇格、高校野球など多数のスポーツ中継を行った。また、NHK杯ジャンプ大会(10.30)、

NHK杯フィギュア (11.25~27)、FISジャンプワールドカップ (1.14, 女子/2.11, 男子)、冬季アジア大会 (2.19~26) などの北海道ならではのウインタースポーツ中継では、これまで蓄積してきた高い技術力を発揮し、全国・全道に発信した。

8月から9月にかけて北海道を襲った連続台風による広域的な大雨被害報道では、L字放送、特設ニュース、ラジオ上乘せなどにより防災、減災に関する情報を提供した。また、これを機会に、改めていかなる状況下でも放送を安定送出するために、定期的に勉強会、研修、訓練を行った。

衆議院北海道5区補欠選挙 (4.24)、参議院議員選挙の開票速報 (7.10) では札幌局第1スタジオから正確・迅速な選挙速報を実施し、視聴者の信頼に応えた。参議院議員選挙では全道からの開票データを処理する大規模な選挙システムを構築し、5か所の選対事務所中継を交えて実施した。

2. 事件・事故・災害報道への対応

北海道管内の緊急報道実施件数は96件。七飯町山菜取り小学生不明 (5月)、函館震度6弱、釧路市通り魔 (6月)、十勝・上川・留萌地方豪雨 (7月)、新千歳空港保安検査場すり抜け、台風・大雨北海道激甚災害 (8月)、羅臼土砂崩れ (9月)、台風被害の石北線運転再開 (10月)、日露首脳会談北方領土元島民反応、暴風雪JR・航空便大幅運休 (12月)、新千歳空港オーバーラン (1月)、JR室蘭線貨物列車脱線 (2月)、羅臼流水で漁船立ち往生 (3月) などの緊急報道を数多く実施した。

3. データ放送コンテンツの開発

札幌局のクロスメディア業務実施体制は、15年度からプロジェクト体制を解消し、コンテンツの開発等は送出技術が中心となって推進している。

視聴者がリモコンボタンを押して参加する番組として、川柳の人気投票を行う『つながる@きたカフェ』『川柳さろん』や、時事問題をテーマに番組内でアンケートを行う『北海道スペシャル』等のほか、リモコンボタンとスマホを組み合わせた「プロ野球/Jリーグ中継の応援合戦」を行った。

視聴者が投稿するツイッターやメールを紹介する番組として、『北海道クローズアップ』『穴場ハンター』等のほか、「日本ハムファイターズ」の優勝祝賀会、優勝パレードの中継で取り組んだ。

また、『いま大注目! 北の縄文スペシャル』(10.23) の完プロ連動データ放送のほか、国別獲得メダル数等の情報を伝えた「冬季アジア札幌

大会」(2.13~28)、道内の主要な峠の気象情報や状況を伝える「雪道NAVI」(11.1~5.17) や「札幌市除雪情報」(12.9~3.17) などの独立データ放送を行った。

域内局では、自治体と連携した「旭川市除排雪情報」(11.14~3.31, 旭川局)、「NHK杯アイスホッケー大会」(11.3) での応援メッセージの送出や、気象に関する双方向クイズ「つながる@タンチョウ」(以上、釧路局) を放送し、データ放送による視聴者サービスに取り組んだ。

4. 放送設備の整備

放送サービスの充実では15年度に設備整備を行った「らじる★らじる」(9.1) と『ほっとニュース北海道』の生字幕放送 (10.3) の運用を開始した。

防災報道の充実に向け、火山活動による災害に備え「有珠山」「雌阿寒岳」に監視カメラを設置したほか、津波監視用のIPカメラを天塩町、枝幸町に設置した。また、「新千歳空港」のロボカメを1台増設し、知内町の青函トンネル周辺にもカメラを設置した。

道内6局に火山・津波などの監視映像を24時間収録する装置を整備し、新たに16か所の監視映像を札幌局からの遠隔操作で収録可能とした。また、大規模災害発生時にラジオ回線が障害を受けた場合にも放送を継続できるよう、テレビ音声信号をラジオに送出するための設備整備を行った。

放送の安定送出・電波確保では、テレビ回線の老朽設備更新工事を16年6月に開始し、運行装置の工事や信号確認など17年4月以降の運用開始に向けた整備を行った。放送機能の維持として、2か年計画の江別第1ラジオ放送所支線更新工事を開始し、3方向のうち1方向の支線交換を行った。また、釧路FM局の移転整備に向け、新敷地での局舎建設に着手したほか川湯、屈斜路地区にFM補完局を置局した。老朽化したNHK共同受信施設33施設を光化更新した。

5. 視聴者とのふれあい活動

8月のスーパーハイビジョン試験放送開始に合わせて道内7局で受信公開を開始した。特にリオデジャネイロ五輪期間中 (8.6~22) は札幌局をはじめ各放送会館で実施したほか、旭川局では旭川市科学館にも受信機を設置した。

稚内市 (4.24)、北斗市 (8.7)、北広島市 (10.2)、幕別町 (11.20) の『のど自慢』予選会において、出場者が自分の歌唱映像を20分後に見ることができる「時差再生上映」や「出場者写真プレゼン

ト」「カメラマン体験」などを実施した。また、稚内市、北斗市の『のど自慢』予選会では「8Kスーパーハイビジョン時差再生上映」を実施した。

公共放送の理解促進を図るため、中継車、スタジオの公開を16年度も継続して行い、延べ842人の参加があった。

Ⅲ. 視聴者

1. 広報

(1) 広報活動 <経営広報・番組広報など>

北海道の7局が一体となった地域応援活動「I LOVE JIMOTO 北海道」キャンペーンを16年度も継続。放送やイベント、営業と密に連携してさまざまな広報活動を実施し、視聴者サービスの充実や一層の地域貢献に取り組んだ。特に、札幌市と帯広市で開催された「2017冬季アジア札幌大会」では、大会広報大使・雪ミク（初音ミク）を起用したポスター等での放送PRや大会組織委員会と連携したパブリックビューイング等を実施。北海道最大規模となる国際スポーツ大会の放送を多角的に広報展開するとともに、観戦ガイドを活用したBS契約対策など営業活動も支援した。

新たな広報ツールとして60インチの大型で高輝度の可搬型デジタルサイネージ1台を導入。道内の複数の大学に巡回して設置し、受信料家族割引や番組PRのスポットを上映するなど営業との連携によるフレッシュアーズ対策等に活用した。

外国からの観光客が多い北海道ならではの国際発信のPRにも努めた。札幌で開催された「NHK杯国際フィギュアスケート競技大会」や「さっぽろ雪まつり」、営業対策を目的としたニセコ地区などで2月の「NHKワールドTV 北海道・ニセコ特集」を集中的に周知したり、北海道庁が主催するベトナムやシンガポールなど海外での北海道PRイベントに連動してNHKワールドを周知するなど、国内外で広報展開した。

郵便局での転出届の提出と併せた受信契約住所変更を促す文言を載せた番宣ポスターを道内の主要な郵便局28か所へ半年間掲出し、営業対策を支援した。

(2) 視聴者ふれあい活動

8月の「スーパーハイビジョン（4K・8K）」試験放送および受信公開開始に先駆け、6月から8K再生機とコンテンツを導入。8K映像を身近に体感してもらう環境を整えた。「リオデジャネ

イロオリンピック」「大相撲」「紅白歌合戦」では受信公開時間を延長して周知に努めた。また、札幌局および道内各局制作の4K映像も15年に引き続きロビーに設置した大型4Kモニターで上映した。毎年恒例の「カルチャーナイト」や「さっぽろ雪まつり」における会館公開も実施した。

(3) 地域の特色ある視聴者活動・広報展開

函館局では、北海道新幹線開業で一層身近となった青森局との連携を強化し、広報活動を行った。青森発地域ドラマ『進め！青函連絡船』では、地元メディアを集めた取材会の実施や、函館市内の市電・市バスでの広告掲出、ロケ風景の写真パネル展の実施、函館の祭りパレードでのPRなどを行った。また、17年3月の開業1年では、青森局と共同制作したラジオの公開録音『青函対抗歌合戦！』を両局で積極的に広報展開。番組に出演した青森・函館の大学生による営業フレッシュアーズスポットを制作し道南・青森地域で放送した。

旭川局では、市内の大学の新生を対象に、5回目を迎えた「学生自主組織“はしっくす”」とのコラボレーション企画で「旭川・道北の魅力プレゼンテーション（学生が選ぶ旭川・道北BEST20）」を実施した。また、8月に、リオデジャネイロオリンピック期間に合わせて旭川市科学館サイバルで8K受信公開を行い、2万5,000人の来場を記録。さらに、「北の恵み 食ベマルシェ2016」に3年連続で出展し、スーパーハイビジョン試験放送や『大河ドラマ』『真田丸』、NHKワールド等のPRのほか、「どーもくんグリーティング」や「NHKワールド・スクラッチクイズ」を行い、4,500人を超える来場者があった。

帯広局では、11月に迎えた開局80周年をキーワードに全局体制でさまざまな記念事業に取り組んだ。JAとかち青年部と協力して農業大国“とかち”をPRする企画「牧草ロールに開局80周年ロゴとどーもくんの巨大シールを貼りつけて“とかち”と“帯広局”をアピールしよう！」を、19市町村24か所で実施したほか、425件の公募から新キャラクター「農家どーもくん」を誕生させ、着ぐるみやグッズなどを作成して9月の「とかちマルシェ」でデビューさせた。10月の会館公開では、共に帯広局勤務経験がある畠山智之アナウンサーのトークショー、フリーアナウンサー・宮本隆治さん出演のFM公開生放送を実施した。また、帯広でスピードスケート競技が開催された2月の冬季アジア札幌大会では、帯広駅前のとかちプラザでパブリックビューイングを実施した。

釧路局では、4～6月「フレッシュアーズキャン

ペーンin釧路」を展開。毎日日替わりで釧路の大学生を釧路局ホームページのトップに掲載したり、阿寒湖周辺の大規模観光ホテルの新入社員に密着したミニ番組を制作したりするなど、若年層へのNHK浸透を図った。また、これをきっかけに初めて7月から「アナウンサー・キャスターブログ」を開設した。このほかアイスホッケーチーム「日本製紙クレインズ」のリーグ戦中継（10.30）を独自にラジオ編成。その試合会場ではNHKブースを設置し、昼前の情報番組『つながる@タンチョウ』のコーナー「つながるクレインズ」で放送してきた「選手インタビュー」や「試合のみどころ」などのVTRを終日上映。

北見局では、開局75周年を迎えるにあたり、全局体制で記念番組や催事を行い、地域に根ざすNHKとして地元へのアピールに力を注いだ。記念番組では『オホーツク心の風景』（2分ミニ番組）を季節ごとに鮮やかな色彩と地元の風景や人を記録するために4Kカメラで収録して年間10本放送したが、それらを北見局のホームページでも紹介したり、ダウンロードできる壁紙を作成するなど視聴者へのサービスに努めた。さらに10月には“伝説の番組復活！”としてラジオ番組『復活！1日限りのKPジョッキー』を公開生放送で実施し、放送以外でもロビーで「放送タイムトラベル」コーナーや塗り絵コーナーなどを設けた。

室蘭局では、フレッシュヤーズ企画「I LOVE JIMOTO CAMPUS」としてミニ番組を放送するとともに、ホームページや東室蘭駅に設置しているデジタルサイネージでも紹介し、室蘭局の存在感のPRに力を入れてきた。また、「がんを防ごう」キャンペーンを立ち上げ、室蘭の行政、医師会、患者団体、地元マスコミなどにより結成された「室蘭がんフォーラム」と連携してがん防止活動を通年で実施。特に1分スポットを制作して放送やホームページ、デジタルサイネージで紹介し、「がん」に向き合うきっかけ作りに尽力した。

2. イベント事業

15年度新規に企画した、若い世代がターゲットのダンスパフォーマンスイベント「We Love Dance オドッチャオ！」を16年度も継続。「2017冬季アジア札幌大会」とタイアップし、大会のイメージソングであるDREAMS COME TRUEの「WINTER SONG～DANCING SNOWFLAKES VERSION～」に併せオリジナルダンスを制作。1月に札幌市で「オドッチャオ！フェスティバル」を開催するとともに、2月の冬季アジア札幌

大会の開会式では、協力団体の4つのプロスポーツチームダンサーとフェスティバル入賞チーム総勢300人がダンスを披露し、全国中継（BS1）された。また、『北海道LOVEテレビ』でも特集番組（G, 2.26）を放送した。

（1）公共放送ならではの活動強化

『NHKのだ自慢』『新・BS日本のうた』などの全国放送公開番組を道内で29本実施し約3万人が来場した。また、札幌市では5年ぶりとなる、NHK杯フィギュアを開催（11月）。

防災の取り組みとして、旭川局が各防災機関と連携実施した「たいけん！！はっけん！！防サイキッズパーク！」（6月名寄市）を実施。また、火山をテーマとした「どーもくんとみんなの火山防サイ劇場」を継続し、大学・气象台等と連携しながら、函館局では函館市恵山、室蘭局では豊浦町（12月）で実施。さらに、防サイ劇場のショートバージョン（総合・火山編）を新たに制作し、会館公開や地域イベントブースでも展開した。釧路局では、釧路市消防本部等と連携し「防災ワンデー釧路防災講演会2017」を実施（1月釧路市）。北海道大学の研究者を招き、津波災害に関する防災・減災の最新事情について、理解を深めた。北見局では、継続的に取り組んでいる「ストップ！暴風雪被害キャンペーン」の一環として、身を守るために役立つ知識を学ぶセミナーを地元の大学との共催で実施（12月網走市）。

環境では、北見局が、北見市主催の環境フェアに参加し、番組上映、ワークショップ等を行った（6月北見市）。室蘭局では、「ジオパークの海を学ぼう！」と題し、親子向けのセミナーとワークショップを行った（7月様似町）。食料では、帯広局開局80周年を記念し、農業王国十勝を応援するご当地どーも「農家どーもくん」を誕生させた。福祉では、「NHK歳末・海外たすけあい」のほか、「介護百人一首2016パネル展」を大学病院の協力を得て開催（9月札幌市）、旭川局でも公開番組実施に併せて開催した（9月富良野市）。「第21回NHKハート展」を、札幌局と室蘭局ギャラリーで10～11月にかけてそれぞれ開催した。

20年を見据えたスポーツの展開として、テレビスポーツ教室初となる地方での公開収録（バスケットボール、7月北広島市）を実施。リオオリンピックの放送PR関連イベント（8月札幌市）などを展開した。

（2）地域視聴者との結び付きを強める活動

北海道の歴史・文化を再発見するキャンペーン、北海道ヒストリー「北の縄文」では、北海道の縄

文時代をひもとくイベントを札幌、函館、室蘭の3局（8月札幌市、3月函館市・伊達市）で実施した。北海道博物館との共催事業で、特別展「ジオパークへ行こう！」を実施。周知を兼ねたミニ番組を制作したほか、関連番組を特集編成した。地域の夏祭りにイベント参加し、作り上げていく過程を『いくぞ～北の出会い旅』(G)の演出として放送と連動実施した（8月石狩市）。

札幌交響楽団との共同企画を継続し、NHK全国学校音楽コンクールの参加者の共演のもと、「10代とつくるコンサート」を実施（1月札幌市）した。2月の「さっぽろ雪まつり」に併せ、「NHKゆきんこフェスタ」を実施。16年度は、“北海道in ASIA”をテーマに、2017冬季アジア札幌大会にちなんだ内容とした。若い視聴者層へのアプローチとして「輝け、未来のイケボスター！」を実施（3月千歳市）し、そのもようをラジオ（FM, 4.29）で放送した。

函館局では、道南と東北の交流を発信するラジオ番組の公開録音、地域の歴史や文化に親しむイベント「春のおでかけNHK」（3月函館市）を開催。縄文に関するワークショップ、親子防災教室、『青函対抗歌合戦！』公開録音などを行った。

旭川局では、大雪山を間近に望み登山愛好家が多いことから、夏山シーズンを前に、全国番組『にっぽん百名山』を活用した公開セミナーを実施（7月旭川市）した。また、『今夜も生でさだまさし』（10月富良野市）の生放送をオープンスタジオで実施した。

帯広局では、開局80周年を迎え、十勝の食を応援するイベント「うまいっ王国十勝スペシャル」を実施（9月帯広市）。食イベント「とちまちマルシェ」会場では全国番組「うまいっ！」の公開収録をメインに、ステージとブース展開を実施。また、「おびひろ広小路七夕まつり」会場では、リオオリンピック放送関連企画として「～二輪が五輪をアツくする！～十勝MTBトークショー」を開催（8月帯広市）。地元の出場選手を応援した。

釧路局では、10月に恒例の「会館公開・くしろDEどーも」を釧路市消防本部と連携して実施。「NHK子ども音楽クラブ」を実施（11月白糠町）。また、NHKの過去の番組を上映し、釧路地域の生活を支えた簡易軌道の様子を伝える「簡易軌道と酪農の記録」を釧路市立博物館と共催実施（11月釧路市）。「釧路大漁どんぱく」（9月釧路市）では、キャラクターステージを継続実施。

北見局では、開局75周年記念事業として、『復活！1日限りのKPジョッキー』を実施（10月北

見市）。当時の出演者を迎えFMで公開生放送した。また、地域の災害と向き合う「ストップ！暴風雪被害キャンペーン」を継続し、イベントと放送、ホームページと連動した啓蒙活動を行った。

室蘭局では、むかわ町穂別博物館の協力のもと、「冬休み企画！恐竜化石発掘展」を開催（1月室蘭市）。恐竜化石のクリーニング作業を4K映像で上映、北海道大学小林准教授によるトーク等を行った。また、アイヌ文化に関する企画、「AINU FANTASY～サウンドアート×音楽×朗読～」を実施（3月室蘭市）した。

（3）受信料制度の理解を深める活動強化

『NHKのど自慢』の4会場（4月稚内市、8月北斗市、10月北広島市、11月幕別町）で「予選会記念写真サービス」「カメラマン体験」、ハイビジョン、8Kスーパーハイビジョンで撮影した予選会映像の時差再生などのCS活動を展開。また、受信料支払者限定イベント「ポコポコテイト小劇場」を道内8会場・16公演行ったほか、全道放送の大型歌謡番組『北の大地コンサート2016』（6月函館市）でも支払者限定で行うなど、受信料公平負担に向けた理解促進活動を行った。8月には札幌市でCATVとの共催で「NHKカジュアルクラシックコンサート」、5月には名寄市の名寄市立大学、10月には釧路市の釧路公立大学でそれぞれ番組を活用したセミナーを開催。大学とのさらなる関係構築、若者へのアプローチを図った。

3. 営業

15～17年度の3か年経営計画の2年目として、支払率と衛星契約割合の向上を目指し、「契約・収納体制の強化」と「視聴者との結び付きの強化」に継続して取り組んだ。

「契約・収納体制の強化」については、法人委託の拡大と定着に向け、北海道ブロック独自の募集活動と指導・育成を進め、訪問活動体制の強化に取り組んだ。また、大学生協・不動産会社・公益企業等との連携により、訪問によらない営業業績確保の体制構築を図った。

「視聴者との結び付きの強化」では、北海道が開催地となったウインタースポーツの国際イベント冬季アジア札幌大会等を活用し、受信料制度の理解促進に積極的に取り組み、全身体制の下、放送、広報・事業、技術との連携による営業活動を展開し、業績確保に努めた。

東 北

- ◇東日本大震災から6年。『NHKスペシャル』は
じめ『てれまさむね』『クローズアップ東北』
などニュースや番組で被災地の現状や課題を伝
えた。3月11日は土曜であったが、仙台・福島・
盛岡の各局はそれぞれ610を放送して6年目の
被災地を伝えた。
- ◇東日本大震災の被災地である岩手・宮城・福島
では、15年度に続き、NHK・民放連が共同で
ラジオキャンペーン「だからラジオ!2016」を
展開し、ラジオの重要性をアピールした。
- ◇東北地方の国交省河川カメラを放送利用できる
システムを作り、河川の水位情報の映像化が可
能となった。
- ◇東北全体の課題を取り上げた特集『どんとこ
い!人口減少』を7月と12月に放送した。地方
で暮らす人々に課題や未来について語り合っ
てもらい、解決の糸口を探った。
- ◇東北の魅力を紹介する新感覚紀行番組『みちた
ん』を13本制作した。『てれまさむね』では、
観光がテーマの管中交換企画「大好き東北」を
新設した。
- ◇地元紙「河北新報社」との共同企画は、『大河
ドラマ』「真田丸」にちなんで東北のゆかりの
地を訪ねる企画や、温泉地の魅力を旅館の若旦那が案内する企画を実施した。
- ◇BSプレミアムでは、雪や温泉など東北の魅力
を取り上げた「ようこそ!東北の冬」キャンペ
ーンを本部と連携。「ターゲット80」とも連携
して、東北全体の活動として取り組んだ。

I. 放 送

1. 放送の概要

東日本大震災から6年となる16年度、東北の各放送局は、15年度まで取り組んできた復興応援キャンペーンから、“東北の魅力”の発信に特化・深化した新たな「大好き♡東北」に取り組んだ。この中心となる特集番組として、ガイドブックには載っていない穴場やとっておきの人物をとことん探求し、知られざる東北の魅力を掘り起こす新感覚紀行番組『みちたん〜ああ!すばらしきセカイ〜』を放送した。

また、国内外に向けて地域の魅力を取り上げた番組を集中的に展開することで、東北への観光客

誘致に貢献することを目指した。12月には国際放送局と連携し、「NHKワールドTV」で冬の東北の魅力を取り上げた31番組を集中編成した。そして、2〜3月には編成局と連携し、BSプレミアムで「ようこそ!東北の冬」キャンペーンを展開して雪や温泉など東北の魅力を取り上げた34番組を集中編成した。ミニ番組『君に見せたい 東北がある』も季節ごとに年間通して制作した。

金曜夜間では、『クローズアップ東北』で震災からの復興を見つめ、被災地の現状を継続的に発信するとともに、東北各地で起きている課題を取り上げた。このほか、震災を機により深刻化している“人口減少”について、各地での取り組みを中心に年2回スペシャル版として紹介した『どんとこい!人口減少』や、復興応援コンサートなどの特集番組を放送した。

震災直後から継続している『被災地からの声』では、被災地に暮らす人や他の地域へ避難している人たちの今の思いを毎週伝え続けるとともに、被災地の希望である若者や子どもたちの声を聞いたり、これまでに声を聞いた人々を再訪・再々訪し、定点観測的に描く特集編に取り組んだ。

各局の夕方6時台のニュース・情報番組では、被災地をはじめ、各地域が抱える課題を深く掘り下げて伝えたほか、10月には盛岡局から、震災後初めて東北地方で開催された「第71回国民体育大会〜2016希望郷いわて国体〜」に出場した東北ゆかりの選手の活躍を東北ブロックで連日伝えた。平日午前11時台の情報番組『ひるはび』では、暮らしに密着した情報に加え、「大好き♡東北」と連動した「旅する!木曜日」の各企画で東北の観光情報を定期的に紹介した。

震災関連の定時番組として、引き続きBSプレミアムの全国放送番組『きらり!えん旅』を、東北ブロックでは総合テレビでも編成した。『あの日 わたしは〜証言記録 東日本大震災〜』の東北ブロックでの独自編成も継続した。

東日本大震災から5年半となる9月には、4月に発生した熊本地震をきっかけに、改めて災害への備えがクローズアップされる中、震災から5年半の経験や被災地の現状を全国に伝えた。

震災から6年となる3月には、2日間にわたる生放送で、宮城県石巻市の移住者が集う仮設屋台村など、被災各地からの中継を交えながら、震災の日の記憶を思い起こし、全国と被災地が関わり続けるヒントを探った。各局の県域のニュース・情報番組でも、被災地の現状や人々の思いを見つめ、復興の道筋を検証するさまざまなリポートを

放送した。

仙台・盛岡・福島局では、年間6本（「それでも、生きようとした～原発事故から5年・福島からの報告～」「あの日 引き波が…行方不明者2556人」「15歳、故郷への旅～福島の子どものたちの一時帰宅～」「“仮設6年”は問いかける～巨大災害に備えるために～」「避難指示“一斉解除”～福島でいま何が～」「お父さん 見てますか～震災遺児と母 4年の記録～」）の『NHKスペシャル』を制作したほか、『明日へ つなげよう』『ドキュメント72時間』『目撃！日本列島』『NEXT 未来のために』『BS1スペシャル』『ラジオ特集』など、震災関連の全国放送番組の制作に取り組んだ。

地震による津波警報・注意報の発表、8月に観測史上初めて東北の太平洋側に上陸し岩手県などに大きな被害をもたらした台風による大雨など、自然災害によって大きな被害が予想される場合には、地域の安全・安心を守るために、東北ブロックや各地域のテレビ・ラジオでニュースを特設し、L字やデータ放送、ホームページも積極的に活用しながら、きめ細かい情報の発信を行った。また、データ放送では6月から道路交通情報の提供も開始した。

7月の参議院議員通常選挙では、争点や課題を多角的に取り上げて開票速報を伝えた。

〔仙台局〕

東日本大震災からの復興支援に引き続き全力で取り組み、復興に向けて立ち上がる人々を積極的に応援するとともに、地域の魅力を国内外に発信し、東北への観光客誘致に貢献することに力を入れた。また、地域の安全・安心を守ることに引き続き取り組んだ。

夕方6時台の『てれまさむね』は、復興に向けた動きや課題、被災地の現状を深い取材に基づくりポートや解説で伝え続けたほか、震災6年の3月11日には南三陸町からの中継を交えながら、被災地の現状や復興の課題を特集で伝えた。

5年目を迎えたラジオ番組『ゴジだっちゃ！』では、各地の通信員やゲストと共に、宮城のニュースや地元密着の旬な話題を提供するとともに、緊急報道時にはネットワークを活用し、迅速に情報を発信した。

災害情報共有システム・Lアラートと接続し、リアルタイムで受信した自治体からの災害情報などをデータ放送やホームページできめ細かく提供した。8月の台風10号などではツイッターの仙台局公式アカウントでも身近な地域の災害情報を発信した。

5月に仙台市秋保地区で開催された「G7財務相・中央銀行総裁会議」にあたっては、海外から東北に注目が集まる絶好の機会と捉え、開催地・秋保を取り上げた「NHKワールドTV」の旅番組を軸に、国際放送局と連携した広報活動を展開した。

7月の参議院議員通常選挙では、県内選挙区の争点や課題を多角的に取り上げ、開票速報では事務所からの中継を交えながら当確を伝えた。

10月26日に大川小学校の児童の遺族が石巻市などに対して賠償を求めた裁判の判決が言い渡された際には、全国に積極的に情報を発信したほか、県域向けには特設ニュースを編成した。

〔秋田局〕

秋田局では「つなぐ。ささえる。」をスローガンに、秋田の人々や地域をつなぎ、秋田の課題解決や地域活性化を支える番組制作に取り組んだ。

夕方6時台の『ニュースこまち』では、曜日ごとに変わる多彩なコーナー、気象予報士による充実した気象情報により、視聴者へ寄り添う放送を行った。11月にはスタジオを飛び出して公開生放送を実施。大館市と鹿角市から、2日間にわたって県北地域の魅力を取り上げた。

ラジオ番組『さく・こまち』では、防災に関する情報や生活情報を中心に聴取者に届け、ラジオによる情報発信力向上を図った。

金曜夜間の『ウォッチA』は全6本を制作。5月と3月には「秋田ミンゾク大全集」と題し、県内各地で受け継がれる伝統行事や祭りに着目した番組を放送した。

8月から開始したスーパーハイビジョン試験放送の番組制作にも取り組み、10月には『秋田の四季』を4Kで放送。日本の原風景ともいべき秋田の姿を全国に発信した。後に総合テレビでも秋田県向けや東北ブロックで放送した。

プロスポーツの中継も積極的に実施した。バスケットボールB1「秋田ノーザンハピネッツ」やサッカーJ3「ブラウブリッツ秋田」の開幕戦など、アウェーの試合でも他局とのインターローカル放送で中継を実施した。

15年度に取り組んだ人口減少を考える「2040“70万社会と向き合う”」キャンペーンも引き続き展開した。『ニュースこまち』での企画や金曜夜間で討論番組を放送した。

〔山形局〕

山形局の開局80年の記念事業に全局体制で取り組んだ。11月30日に『はちまる はじまるコンサート』を開催し、12月にコンサートのもようを全

国に発信した。「大好き山形キャンペーン」を行い、県民や県出身の歌手、俳優、スポーツ選手など735人が出演し、100本の5秒PRを放送した。

夕方6時台の『ニュースやまがた6時』では、開局80年にあわせて、山形局に残る過去の貴重な映像を紹介する「80アーカイブス」のコーナーを放送した。

Eテレの『ハートネットTV』を年間2本制作した。4月には「子育て介護職」を支えるを、3月には医療的ケア児とその家族をみつめた「もっと笑える」を全国に発信した。

金曜夜間の『やまがたスペシャル』では、漁業やスポーツなどさまざまな分野で、地域に根ざして頑張っている人たちに焦点を当てた番組を放送した。

ラジオの地域情報番組『なにだったのや〜?』では、地元の言葉で山形県内の話題を伝え、中継を入れたりゲストを呼んだりして多彩な内容で放送した。

〔盛岡局〕

東日本大震災から6年目となり、被災地に進む町づくりの現状や復興への課題、被災者の生活再建などについて、夕方6時台の『おぼんですいわて』を中心に詳しく伝えたほか、『NHKスペシャル』や『こころフォト』など全国放送番組を制作し、全国に発信した。8月に岩手県に上陸し大きな被害をもたらした台風10号では、特設ニュースのほか、L字放送やラジオ、災害ホームページなど、さまざまなメディアを使って、防災・減災報道に努めるとともに、被害の状況や被災した人が必要とする生活支援情報をきめ細かく伝えた。10月に東日本大震災の被災地で初めて開かれた「希望郷いわて国体」「希望郷いわて大会」の開会式を全国放送するなど、選手の活躍や復興支援への感謝の思いを伝えた。

『おぼんですいわて』では、大震災や台風の復旧・復興関連企画のほか、地域の課題や暮らしに役立つ情報などを積極的に取り上げた。また、遠野市、住田町や岩泉町などからの中継を軸に地域の情報を発信した。7月の参議院議員通常選挙では、争点や課題を取り上げて開票速報を放送した。

金曜夜間は、ふるさとの再生に向けて奮闘する人々の姿を描いたドキュメンタリー番組や、県が誘致を進めるILC（国際リニアコライダー）を巡る動きなどタイムリーな話題を多角的に深く伝えた。また、台風被害からの復旧の状況や課題を取り上げた。

災害時に役に立つラジオ放送を強化するために

放送を開始して3年になる『まじえ5時』は、パートナーや地域のゲストと共に地域に密着した情報を発信。台風10号の際には防災・減災情報や生活支援情報を伝えた。

〔福島局〕

東日本大震災・原発事故から6年目に入り、先の見えない廃炉作業、風評被害、相次ぐ避難指示解除とそれに伴う故郷の再生など、複雑化する県内の問題を夕方6時台の『はまなかあひづToday』や『福島スペシャル』などで伝えた。また、『NHKスペシャル』『NEXT 未来のために』『明日へつなげよう』『ETV特集』などの番組でも福島の実状を全国に発信した。

緊急報道では、台風の接近や11月の震度5弱地震と津波警報、2月の震度5弱地震に対応して、ローカルの特設ニュースを組むとともに、インターネット等を活用して効果的に防災情報を伝えた。7月の参議院議員通常選挙では、争点を分かりやすく伝えた。

ラジオでは夕方5時台に『こでらんに5』を新設して、平日は毎日放送。日替わりのパーソナリティーによる幅広いコンテンツを揃え、災害時に強いラジオの接触率向上を図った。全国放送『福島から2時間出しているラジオ』では、県内のビジネスや日本酒など最新の情報を紹介した。

福島未来を考え、頑張る若者を取り上げて復興を後押しする「Fのモト」キャンペーンは2年目を迎え、ニュースで若者を紹介したほか、キャンペーン番組『ふくしまパラダイス』の公開収録や、自局イベント「横乗りスポーツ☆パラダイス」を実施。スポーツでは、サッカー中継やニュース内でのコーナーの拡充により地元スポーツを伝えた。

〔青森局〕

新幹線の函館延伸にちなんで、かつての「青函連絡船」をテーマとした、青森発地域ドラマ『進め！青函連絡船』を全局体制で制作し、9月にBSプレミアムで放送した。出演者を招いたBSコンシェルジュ公開収録や、ロケ地でラジオ公開生放送の実施、青森ねぶた祭にNHKねぶたを出すなどした。

平均寿命が全国最下位の青森県民の意識改革の一環として、青森局が地元大学と開発した「元氣あっぷる体操」を、夕方6時台の『あっぷるワイド』のコーナーとして継続。県内の市町村を訪れたりポーターが地元の人たちと体操を行った。

青森のローカルラジオ番組を、9月以降に毎月1回スペシャル版として、多数のゲストを招いた

り、公開生放送で放送したりした。

8月の台風や、9月の東北地方の大震災時には特設ニュースで現状を伝えたほか、L字放送やラジオの特設ニュースを実施して県民に情報を伝えた。

北海道新幹線開業から1年を迎えた県内の動きや、開業による経済・文化面などの交流、県内への影響や課題などを、函館局とも連携して番組やニュースで伝えた。

2. 地域放送番組

(1) 定時番組

『NHKニュース おはよう宮城』 G

月～金 7:45～8:00

第1回00.4.3/宮城県域(一部東北ブロック)/県内のニュースのほか、東北各地の話題や課題を掘り下げたりレポート、中継を交えた気象情報などを伝えた。/各局タイトル:『おはよう秋田』『おはよう山形』『おはよういわて』『おはようふくしま』『おはよう青森』

『ウイークエンド東北』 G 土 7:30～8:00

第1回85.10.12/東北ブロック/東北各地のニュースに加え、各地で力強く生きる人々を追った「ウイークエンドFACE」、各地を訪ねてその魅力を伝える「東北小さな旅」など、NHKのネットワークを生かして東北のさまざまな動きや話題を伝えた。

『ひるはび』 G

(ブロック) 月～金 11:30～11:50

(各県域) 11:50～11:54

第1回12.4.3/東北ブロック、各県域/暮らしに役立つ情報や、地域に密着した話題を届ける情報番組。家庭で手軽にできる料理や旬の食材、東北各地の観光情報やイベント情報、復興支援に取り組む人や話題の人へのインタビューなど、暮らしを豊かにする多彩な情報を、視聴者からのお便りを交え、仙台局のロビースタジオから届けた。/各局タイトル:秋田『エキヨココまち』、山形『やまもり!』、盛岡『ひるっこいわて』、福島『ひるはび 福島』、青森『情報ランチ』

『てれまさむね』 G 月～金 18:10～18:59

第1回03.3.31/宮城県域/ニュースや地域の話題、気象情報をはじめ、震災関連の企画、東北地方共通の課題や暮らしに役立つ情報を積極的に取り上げた。「大好き♡東北」と連動したコーナーでは、東北各地の知られざる穴場を紹介した。10月には2日連続で「秋スペシャル」として大崎市鳴子と色麻町から生放送し、農業活性化や地元で

農業を志す若者の取り組みなどを伝えた。12月にはプロ野球「楽天」の3投手がシーズンを振り返るとともに、来季への意気込みなど本音を語った対談企画を放送し、年末には特集番組に展開した。/各局タイトル:秋田『ニュースこまち』、山形『ニュースやまがた6時』、盛岡『おばんですいわて』、福島『はまなかあいづ Today』、青森『あぶるワイド』

『クローズアップ東北』 G

金 19:30～19:58

⑨土 10:55～11:23

第1回02.4.5/東北ブロック/東北の“いま”を徹底的に見つけ、地域が抱える課題や関心事、時代を先取りする人々の動きにタイムリーに迫る番組。復興の動きをつぶさに追いかけて、幅広い視点から震災後の地域の現状と課題を伝えた。9月には3週にわたり「震災ドキュメント」を放送した。4月に発生した熊本地震では、大震災の教訓を生かした現地での支援の動きを取り上げた。8月末の台風10号の被害を受けて、9月に急きょオーダーを変更して、2回にわたって被害状況や課題を専門家を交えて伝えた。また、東北各地の生活エリアに多く出没するクマへの対処など、生活に密着した情報も積極的に取り上げた。

「牛歩のごとく 一步一步～震災6年目 高校生の旅立ち～」 仙台局/ 4.22

「熊本地震“東北の力”で命を守れ」

仙台局/ 5.6

「そして村は動き始めた～熊本地震 東松島・応援職員の1か月～」 仙台局/ 5.13

「“被災地の力”が地方を変える～全国で活躍 応援職員9万人～」 仙台局/ 5.20

「過疎・高齢化に負けない～被災地発 住民主役の町づくり～」 盛岡局/ 6.3

「小さな浜で漁師になる～地域を支える漁業の未来～」 山形局/ 6.17

「大きな“家族”のように～被災地の“宅老所”の日々～」 仙台局/ 6.17

「明日をつむぐために～熊本地震“災害リハビリ”がする命～」 仙台局/ 7.8

「再開 故郷の駅～避難解除 それぞれの再出発～」 福島局/ 7.15

「“見えない被災者”に寄り添う～熊本地震“東北の経験”生かす長期支援」

仙台局/ 7.22

「5人 明日への証～女川中バスケット部 最後の夏～」 仙台局/ 7.29

「台風襲来 緊急報告～東北に迫る“新たな危

機”～」 仙台局 / 9. 2
震災ドキュメント

第1回「私の声が届いていますか?～岩手・
陸前高田“漂流ポスト”～」

盛岡局 / 9. 9

第2回「よみがえる“我が家”～思い出と歩
み始める人々～」 仙台局 / 9.16

第3回「ひまわりに願いを込めて～福島・飯
館村への帰還～」 仙台局・
NPN / 9.23

「河川氾濫にどう立ち向かうか～台風10号から
1か月～」 盛岡局 / 9.30

「いま どこにいますか～行方不明者家族の5
年半～」 仙台局 / 10. 7

「あなたの隣にクマがいる～どう身を守ります
か～」 仙台・秋田局 / 10.14

「若者がホンネを話すために～東北で考える
新たな自殺対策～」 秋田局 / 10.21

「僕らの5年と、これからと～石巻 移住者た
ちの青春～」 仙台局 / 10.28

「おらほのリンゴをオリンピックへ」
青森局 / 11.11

「のぼれ“僕たちの坂道”～大槌 夢ハウスの
子どもたち～」 仙台局 / 11.18

「震災 それからの“家族”～結婚 亡き人へ
の思いを胸に～」 仙台局 / 12. 9

「仮設住宅 6年目の“無念”～取り残される
被災者たちに何が～」 仙台局 / 1. 6

「“被災ペット” 受難の6年」 福島局 / 1.13

「旅立ちへ あの日を越えて～震災遺児たちの
6年～」 仙台局 / 1.20

「まちのにぎわい再生へ～震災6年 南三陸さ
んさん商店街～」 仙台局 / 1.27

「ある老医師の遺言～誰が地域医療を守るのか～」
福島・仙台局 / 2. 3

「岩泉 再起をかけた冬～台風被害から5か月～」
盛岡局 / 2.10

「わが町の“誇り”を復活させたい～震災6年
サッカーの聖地はいま～」 仙台局 / 2.17

「毎度さんが待っている」 青森局 / 2.24

「もっと笑える～医療的ケア児と家族の日々～」
山形局 / 3. 3

「ふるさとの記憶を未来へ～石巻市大川 模型
復元プロジェクト～」 仙台局 / 3.10

『被災地からの声』 G 木 12:20～12:43
第1回11.3.20 / 東北ブロック / 被災者に、今一

番伝えたいことを直接カメラに向かって話しても
らう番組。震災直後に開始した番組スタイルを継

続し、被災地に暮らす人たちや他の地域へ避難し
ている人たちの声を、被災地・石巻出身のアナウ
ンサーが伝え続けた。被災地の希望である若い世
代の声を聞く「若者・子ども編」や、これまでに
声を聞いた人たちを再訪・再々訪し、定点観測的
に描く「あの声は今」の特集編を放送したほか、
熊本地震にあたっては番組冒頭で被災者へのメッ
セージを伝え、8月末の台風10号では被害を受け
た岩手県内の人たちの声を3週にわたって伝えた。
『マイあさラジオ東北』 R1

月～土 7:40～8:00

第1回15.3.30 / 東北ブロック / 東北各地のニュー
ースや話題、気象情報、交通情報などをコンパクト
に伝える地域情報番組。視聴者による地域リポ
ーターやコミュニティFMからの電話リポート、
健康情報、週末情報などを、音楽と共に日替わり
で伝えた。

『ゴジだっちゃ!』 R1

月～金 17:00～18:00

第1回12.4.2 / 宮城県域 / 宮城の話題にこだわ
ったラジオ番組。ニュースや気象情報、交通情報、
地元プロスポーツの情報に加え、話題の人へのイン
タビューや県内全市町村の「だっちゃ通信員」
が旬のふるさと情報を伝える電話リポートなど、
リスナーのお便りを交えながら宮城の情報を伝え
た。仙台局スタジオからの「川柳・短歌大会」の
生放送や東松島市での公開収録などでラジオの魅
力を発信した。

〔各局ラジオ番組〕 R1

秋田『さく・こまち』 水 19:45～20:00

山形『なにだったのや～?』 金 12:20～12:55

盛岡『まじえ5時』 月～金 17:00～18:00

福島『こでらんに5』 新

月～金 17:00～18:00

青森『あっふるラジオ』 金 12:20～12:55

『民謡をどうぞ』 R1・FM 金 12:30～12:55

第1回54.11 / 東北ブロック (R1のみ除く山形、
青森) / 東北ならではの民謡を季節に応じたテー
マで放送する、1954年にスタートした東北最長寿
の民謡専門のラジオ番組。11月と12月には、地元
ゆかりの民謡歌手をゲストに迎えて、岩手県洋野
町と宮城県丸森町で公開収録した「ふるさとデリ
バリー」をそれぞれ放送した。

『MONKEY MAJIKのオンパク』 FM

土 18:00～18:50

第1回14.4.5 / 東北ブロック / 仙台在住の実力
派バンドMONKEY MAJIKをナビゲーターに、
音楽が人と人を結びつけることを信じて発信する

番組。東北ゆかりのアーティストを招いてのトークや演奏、東北の未来を担うアーティストの紹介や応援など、東北6県を結ぶ音楽のチカラを届けている。2月には、宮城県富谷市での公開収録を2週にわたって放送した。

(2) 特集番組

〔東北ブロック〕

『みちたん〜ああ！すばらしきセカイ〜』 G
 仙台局 10:05~10:30
 「初回スペシャル」 4.15/20:00~20:43
 「おかげさまで2回目」 5.28
 「ようやく3回目」 7.16
 「夏スペシャル」 7.22/20:00~20:43
 「ほんと暑いっすね 5回目」 7.30
 「最近どうすか？6回目」 9.24
 「気づけば秋っすね 7回目」 10.22
 「肌寒いっすね 8回目」 11.19
 「ええ感じで 9回目」 12.10
 「温泉スペシャルで10回目」
 1.13/20:00~20:43
 「ちーっす！11回目」 1.28
 「特別編 名作ディープミュージアム 大特集」
 2.24/20:00~20:43
 「TOHOKU ディープ・ピープル列伝」 3.18
 『がんばっペラジオ 2016 卒業』 G
 仙台局 5. 6/20:00~20:40
 『どんとこい！人口減少〜私たちはここで幸せになります〜』 G
 仙台・秋田・山形・盛岡局 7. 1/19:30~20:43
 『参院選2016開票速報』 G
 7.11/ 1:30~ 1:45
 『イブニングジャズatNHK仙台』 FM
 仙台局 9.10/16:00~18:00
 『大好き東北ミニ「ロバート キャンベル×宮城 鳴子温泉郷」』 G
 仙台局 9.15/10:45~10:50
 『UTAKKO BURUME〜ミナサンロック〜』 G
 仙台局 11. 4/19:30~20:43
 『アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2016 東北地区大会』 G
 仙台局 11.13/11:00~11:54
 『どんとこい！人口減少〜おらほの村は何守る？〜』 G
 仙台・青森・秋田・福島局 12. 2/19:30~20:43
 『だから、ラジオ！ダカラジ2016』
 ※宮城・岩手・福島県域
 G 仙台局 12. 9/20:00~20:43

R1 仙台局 12. 9/20:00~22:00
 『プロ野球・楽天 2016直球対談』 G
 仙台局 12.30/16:35~16:55
 『第38回NHK東北民謡コンクール 各県大会』
 FM 18:00~18:50
 2. 8 青森, 2. 9 山形, 2.13 福島
 2.14 秋田, 2.15 岩手, 2.16 宮城
 『大好き東北ミニ「大宮エリー×福島・会津 酒の旅へ〜TOHOKUぐるり。〜」』 G
 仙台局 2.26/13:35~13:40
 『北国からのコンサート2017』 G
 仙台局 3.17/19:32~20:45
 『第38回 NHK東北民謡コンクール優勝大会』
 G 仙台局 3.22/19:30~20:43
 〔県域番組〕
 (仙台局)
 『やっぺえ！たいそう』 G・E /随時
 『参院選2016 開票速報』 G
 7.10/20:20~20:32, 20:55~21:01, 21:50~22:05
 22:50~23:36, 23:50~ 0:18
 7.11/ 0:50~ 1:03, 1:45~ 2:01
 『ゴジだっちゃ！特集「第16回NHK仙台 川柳・短歌大会」』 R1 11.19/14:05~15:55
 『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』 E
 12. 5~ 8/12:55~13:00
 『てれまさむね2016年末スペシャル』 G
 12.28/18:10~19:00
 『てれまさむね 東日本大震災6年』 G
 3.11/18:10~18:59
 『ゴジだっちゃ！東松島スペシャル1』 R1
 3.30~31/17:00~18:00
 (秋田局)
 『ウォッチA』 G
 「秋田ミンゾク大全集〜一の巻〜」
 5. 6/19:30~20:13
 「アンコール 地名探訪 古の声こゝろが響く」
 5. 6/20:13~20:38
 「私が読む「病める舞姫」-秋田 心の土方異」
 6.17/20:00~20:43
 「へづねピープル」 7. 8/19:30~19:58
 「激論ライブ！人口減少「秋田で子育てできま
 すか？」」 7.29/19:30~20:43
 「第90回 秋田大曲・全国花火競技大会ハイラ
 イト」 9. 9/20:00~20:43
 「秋田ミンゾク大全集〜二の巻〜」
 3. 3/19:30~19:58
 『コトノハ』 G 火 23:10~23:15
 「第48章 “心にとどまれるような”」 4. 5

- 「第49章 “代で物は作らず”」 5.24
- 「第50章 “常に進化し続けたい”」 9. 6
- 「第51章 “あの人の弟子だって言われてえんだよ”」 12. 6
- 「第52章 “感覚として 家族写真撮ってます”」 1.10
- 「最終章 “一生です 死ぬまでです”」 2.21
- 『参院選2016 開票速報』 G
7.10/20:10~20:37, 20:55~21:00, 21:50~22:18
22:55~23:11, 23:50~ 0:00
7.11/ 0:50~ 1:00, 1:45~ 2:00
- 『秋田の四季~SHVカメラが見つめた一年~』
G 10.28/19:30~19:59
- 『ニュースこまち キャラバン「大館市」「鹿角市」』 G 11.10~11/18:10~18:52
- 『きく・こまち年末スペシャル』 R1
12.21/19:30~20:00
- 『ニュースこまち2016ハイライト』 G
12.28/18:00~19:00
- 『ETV特集 アンコール「むのたけじ 100歳の不屈 伝説のジャーナリスト 次世代への遺言」』 E 12.31/ 0:00~ 0:59
- 『人生デザインU-29 アンコール「舞妓派遣業経営」』 E 12.31/ 1:00~ 1:24
〔山形局〕
- 『やまがたスペシャル』 G
「“手仕事” から生まれるデザイン」
5.13/19:30~19:58
- 「ふたりで越えるハードル~五輪を目指す アスリート夫婦~」 7.15/19:30~19:58
- 「一歩ずつ 粘り強く~車いすコーチと中学生球児~」 10.21/19:32~20:00
- 「はちまる はじまるコンサート~NHK山形放送局 開局80周年記念~」
12. 9/19:30~20:43
- 『参院選2016 開票速報』 G
7.10/20:10~20:32, 20:50~21:00, 21:50~22:00
22:45~23:00, 23:50~ 0:00
7.11/ 0:45~ 1:00, 1:45~ 2:00
〔盛岡局〕
- 『シリーズいわて』 G 金 19:30~19:58
「よみがえるふるさとの情景」(第7回) 4.22
「高校生が徹底調査 ILCの真相」 7.29
「獅子がくれたふるさと」 10. 7
- 『参院選2016 開票速報』 G
7.10/20:17~20:30, 20:55~21:00, 21:50~22:00
22:50~23:00, 23:50~ 0:00
7.11/ 0:50~ 1:00, 1:45~ 2:00
- 『第71回国民体育大会 式典前演技』 E
10. 1/12:55~13:35
- 『希望郷いわて国体 総集編』 G
10.15/10:05~10:45
- 『おばんですいわて 岩泉応援スペシャル』 G
11.30/18:10~19:00
- 『まじえ 5 時年末スペシャル』 R1
12.27/16:00~18:00
- 『おばんですいわて』 G 3.11/18:10~18:59
〔福島局〕
- 『福島スペシャル』 G 金 19:30~19:58
「故郷をあきらめない~原発避難区域 人々の1年~」 5.20
「まだ見ぬ頂へ~2人の障害者アスリート~」 6.17
「横乗りスポーツ☆パラダイス」 10.14
- 『ふるさと自慢バラエティ ふくしまパラダイス』 G 金 20:00~20:43
「In 福島学院大学」 5.13
「In 日本大学工学部(郡山)」 11.18
- 『ふくしまをパラダイスにするための会議』 G
6.12/ 0:50~ 2:03
- 『参院選2016 開票速報』 G
7.10/20:20~20:30, 20:55~21:00, 21:50~22:00
22:20~22:27, 22:50~23:00, 23:50~ 0:00
7.11/ 0:50~ 1:00, 1:45~ 2:00
- 『キミが主役だ!NHK放送体験クラブ』 E
11.28~12.1/12:55~13:00
- 『年末スペシャル はまなかあいづToday2016』
G 12.28/18:00~19:00
- 『はまなかあいづToday 3・11特番 震災から6年の福島』 G 3.11/18:10~19:00
〔青森局〕
- 『クローズアップあおもり』 G
「十和田湖をみつめて」 4.22/19:32~20:00
「思い出の青函連絡船」 9. 9/19:32~20:00
- 『参院選2016 開票速報』 G
7.10/20:20~20:30, 20:50~21:00, 21:50~22:00
22:45~23:02, 23:46~ 0:29
7.11/ 0:50~ 1:03, 1:45~ 2:00
- 『生中継!青森ねふた祭2016』 E
8. 6/19:00~19:55, 20:00~21:00
- 『青森発地域ドラマ「進め!青函連絡船メイキング「青函連絡船 復活の日」』 G
9.16/20:00~20:43
- 『NHKのど自慢inむつ 全部見せます予選会』
G 10.22/16:15~17:30, 10.23/13:05~13:50

『青森市長選挙開票速報』 G
 11.27/20:55~21:00, 21:49~21:50
 22:39~23:00
 11.28/ 0:05~ 0:10

『あっぷるワイド 年末スペシャル2016』 G
 12.28/18:00~19:00

『お国ことばdeのどじまん』 G
 2. 3/19:30~20:43

『あっぷるラジオスペシャル』 R1
 土 13:05~15:55

「八甲田丸からこんにちは」 9.10
 「学園祭からこんにちは」 10.22
 「リクエストスペシャル」 11.26
 「聞いて かだって クリスマス！」
 12.25/16:05~18:47
 「聞いて歌ってしゃべらへで！」 1.28
 「谷村新司の“オトナラジオ”」 2.25
 「サンキュースペシャル 伝えよう！あなたの
 気持ち」 3.18

〔各局共通〕

『第83回NHK全国学校音楽コンクール』

「宮城県コンクール」 E 9. 3~ 4
 「秋田県コンクール」
 E 8.22~25, 28~ 9. 1, 9. 4~ 8
 FM 8.27

「山形県コンクール」 G 8.22~ 9.21
 (『ニュースやまがた6時』内で紹介)

「岩手県コンクール」 E 9.10
 「福島県コンクール」 E 9.10, 17
 「青森県コンクール」 E 8.27~28
 「東北ブロックコンクール」 E 9.24, 10. 2

3. スポーツ中継

* ブロックと記した以外は県域

〔高校野球〕

第98回全国高等学校野球選手権 地区大会

宮城県	準決勝	G・E・R1	7.26
	決勝	G・R1	7.28
秋田県	準決勝	G・E・R1・FM	7.23
	決勝	G・R1	7.25
山形県	準決勝	G・E・R1	7.20
	決勝	G・R1	7.21
岩手県	準決勝	G・E・R1	7.23
	決勝	G・R1	7.24
福島県	準決勝	G・E・R1	7.23
	決勝	G・E・R1	7.24
青森県	準決勝	G・E・R1	7.19
	決勝	G・R1	7.21

第69回秋季東北地区高等学校野球

◇地区大会 準決勝, 3位決定戦・決勝

宮城	R1	9.24~25
秋田	R1・FM	9.24~25
山形	R1	9.24~25
岩手	R1	9.21~22
福島	R1	9.27~28
青森	R1	9.24~25

◇東北大会 (ブロック)

準決勝	R1・FM	10.18
決勝	R1	10.19

〔その他のスポーツ〕

第67回NHK杯東北高校ラグビー選手権—決勝—
 「青森北」対「仙台育英」(ブロック) E 6.19

第58回NHK杯東北高校サッカー選手権—男子決勝—
 「東北」対「聖和学園」(ブロック) G 6.20

第52回NHK杯東北高校バスケットボール選手権—男子決勝—
 「山形南」対「福島南」(ブロック) E 6.26

第96回天皇杯全日本サッカー選手権各県代表決定戦

宮城県代表決定戦 (仙台)	
「ソニー仙台」対「仙台大学」	E 8.21
秋田県代表決定戦 (秋田)	
「ブラウブリッツ秋田」対「猿田興業」	E 8.21
山形県代表決定戦 (山形)	
「山形大学医学部サッカー部」対「山形大学体 育会サッカー部」	E 8.21
岩手県代表決定戦 (盛岡)	
「グルージャ盛岡」対「岩手大学」	E 8.21
福島県代表決定戦 (福島)	
「福島ユナイテッド」対「いわきFC」	E 8.21
青森県代表決定戦 (青森)	
「ヴァンラーレ八戸」対「八戸学院大学」	E 8.21

プロ野球 (ブロック)

「東北楽天ゴールデンイーグルス」

対「日本ハム」	G	4. 9
対「ロッテ」	R1	4.14
対「ロッテ」	G	5. 3
対「西武」	R1	5.12
対「日本ハム」	G	5.27
対「阪神」	R1	6. 2
対「ヤクルト」	R1	6. 9

対「広島」	G	6.10
対「広島」	G	6.12
対「西武」	R1	7. 1
対「オリックス」	G	8.26
対「ソフトバンク」	G	9. 2
サッカーJ1		
「ベガルタ仙台」(仙台)		
対「大宮アルディージャ」	G	5.14
対「ジュビロ磐田」	G	11. 3
対「北海道コンサドーレ札幌」	G	2.25
サッカーJ2		
「モンテディオ山形」(山形)		
対「北海道コンサドーレ札幌」	G	4.17
対「京都サンガ」※京都ホーム	G	2.26
サッカーJ3		
「ブラウブリッツ秋田」(秋田)		
対「ギラヴァンツ北九州」※北九州ホーム	G	3.12
「福島ユナイテッドFC」(福島)		
対「グルージャ盛岡」(福島, 盛岡)	G	6.12
バスケットボール・bjリーグ		
「仙台89ERS」対「秋田ノーザンハピネッツ」 (仙台, 秋田)		
	G	5. 8
バスケットボールBリーグ		
「仙台89ERS」		
対「栃木ブレックス」(仙台)	G	11.20
対「京都ハンナリーズ」(仙台)	G	1.28
「秋田ノーザンハピネッツ」		
対「栃木ブレックス」※栃木ホーム (秋田)	G	9.24
対「栃木ブレックス」(秋田)	G	10.30
「山形ワイヴァンズ」		
対「群馬クレインサンダーズ」(山形)	G	9.24
対「バンビシャス奈良」※奈良ホーム (山形)	G	1.28
第58回NHK杯青森県卓球選手権大会		
	G	12. 4

II. 技 術

1. 安全安心の拠点となる設備整備の推進

新仙台会館の建設では、敷地全体7工区全ての鉄骨建方工事で地上高99.5mの屋上鉄塔建方工事は完了、内装や床工事も進み、17年3月末で進捗率約98%まで進んだ。電源設備工事も完了、

3月から受電を開始した。

緊急報道への対応は、東北地方の国土交通省河川カメラ約580台を地図上で選択し放送利用できるシステムへの更新と域内展開、自主建設計画で盛岡局と福島局が収録機を1台増設し報道系ファイルベースの収録システムを強化した。北海道新幹線の青函トンネル入口に近い奥津軽いまべつ駅にIPカメラを設置、地盤崩落で移設工事を進めてきた福島第一原発を監視する小良ヶ浜ロボカメは、太陽光パネルなど電源強化し17年3月運用を開始した。FPU集中制御卓でのSDI信号によるヘリ追尾機能が東北域内全局で整備完了、GPS自動追尾との二重化など安定したヘリ受信が可能になった。

2. 報道対応と放送の安定確保

7月の参議院議員選挙は、東北各局で開票速報本部と放送席をスタジオに開設、事務所中継、開票速報システムの運用、当確時の全中脱対応などで開票速報を伝えた。

8月の台風10号来襲では、L字放送、岩手県岩泉町ほか被災現場からの中継や伝送、小本川流域に緊急展開用太陽光無停電ロボカメの設置、盛岡R1放送のインターネット同時提供など、災害報道に対応した。また、岩手・岩泉小川TV中継局エリアの電波確保のため、非常用送信車両やCSK、SNG車で盛岡ローカルを現地に伝送した。停電が続いた岩泉TV・FM中継局等では人力による燃料運搬、NHK共聴設備の復旧対応、避難所へラジオ200式の配付、テレビ設置確認を実施した。

11月福島県沖震源の震度5弱の地震が発生、宮城県と福島県に津波警報が発表された。石巻・いわき・大船渡からの中継、ヘリやロボカメを交え、ローカル特設やL字放送、全中サブステ参加、ラジオ上乘せなど行った。

3. 地域放送サービスの充実と地域の活性化

16年4月の熊本地震を受け、被災地・西原村で宮城県東松島市職員の活動取材、東日本大震災の経験から得た支援の様子を5月『クローズアップ東北 そして村は動き始めた』、6月『明日へつなげよう』で伝えた。その後もこれまでの被災地ロケで得た取材経験や安全管理のスキルを生かし、熊本地震ロケに取り組んだ。

番組を通して、震災復興の現状や後押しを伝えてきた。被災地で震災後初の国体「希望郷いわて国体」では地元選手の活躍と「復興いわて」を発信、震災復興ロックフェス「UTAKKO BURUME」

は現場の臨場感を伝えるため約6年ぶりに5.1サウンドで制作、福島県飯舘村からは『ゆく年くる年』、そして震災6年が経過した17年3月、『特集 明日へつなげよう』の生参加や、仙台・福島・盛岡各局でも独自にキャラバンを実施、11日はローカル特番で当日の様子を伝えた。

5月仙台市で開催した「G7財務相・中央銀行総裁会議」では、東北で初めてホテル全室にNHKワールドの視聴環境を導入、また歓迎会場で番組『おいで東北』『みちたん』を上映し東北をPRした。

青森局では地域発ドラマ『進め！青函連絡船』を制作、秋田局では4K撮影した『秋田の四季』の29分版を制作しSHV試験放送で送出した。

東北の高速道路の渋滞や規制等を情報提供するデータ放送を6月に開始して地域サービスの充実を図った。

4. 放送ネットワークの強化

東北域内のTV、FMおよびラジオ中継局の放送機、自営回線ほか設備更新を順次行っている。NHK共聴では、中長期計画のもと老朽化した49施設の光化大規模改修を実施した。

主なものとして、仙台・原町ラジオ基幹放送所の自家発更新・地下燃料タンク増量工事を行い、250時間以上の継続運用が可能とした。秋田局会館では、非常用DTV放送設備の整備を行った。日本海側の地域において、非常時の電波確保を行う小型非常用送信車を秋田局に整備した。

5. 視聴者対応活動など

16年8月SHV試験放送開始にあたり、東北各局で8Kシアターを会館に設置し、オープニングセレモニーを開催してSHVをPRした。リオ五輪ほか局外の番組イベントなどと連動させ、多くの来場者にSHVの魅力を感じてもらった。

秋田局と山形局では10月に会館公開を実施、中継車公開やカメラ体験、ご当地4Kコンテンツ上映ほか、開局80周年の山形局ではラジオの公開生放送、更に開局記念日11月30日には「はちまるはじまるコンサート」の公開収録を行った。

放送局の仕事に興味を持ってもらうよう、小学生対象の「放送体験クラブ」や「出前授業」を東北各局で実施した。

Ⅲ. 視聴者

1. 広報

(1) 地域放送と連動した広報活動

仙台局では、夕方6時台の『てれまさむね』の気象コーナーに出演し人気を集めている仙台局キャラクター“やっぺえ”を活用した広報活動を行った。「やっぺえ！たいそう」では、幼稚園・学校・企業などでロケを行い、2分ミニ番組などで放送した。また、やっぺえのステージショーを開発して県内各地で実施したほか、1月21～22日に富谷市で開催した「やっぺえ冬まつり」では9,345人が来場するなど、16年度は子どもから大人まで約1万6,000人と交流した。

また、仙台の5大学32人の学生をメンバーに「やっぺえ取材部」活動を展開、学生が取材した話題を県域のラジオ番組で毎週放送する等、NHKと若い世代との結び付きを強めた。

秋田局では人口減少が進む秋田の未来を考えるキャンペーン「2040“70万人社会”と向き合う」、山形局では山形県にゆかりのある著名人や一般視聴者が出演する「大好き山形」キャンペーン、盛岡局では岩手の魅力を視聴者からのメッセージで伝える「好きなんです、いわて」、福島局では県内で頑張る若者を取り上げ復興を後押しする「Fのモト」キャンペーン、青森局では平均寿命が全国最下位にある状況の改善を目指す「脱！短命プロジェクト」に取り組むなど、東北各局でも特色ある広報活動を展開した。

(2) 視聴者とのふれあい活動

仙台局では、見学に訪れた一般団体の視聴者を対象に「ふれあいミーティング」を実施し、年間で461人の視聴者と交流を図った。

秋田局では会館公開「エキヨコまつり」を10月16日に実施し、秋田局制作4K特集「スーパーハイビジョンで見つめた秋田の夏」を上映した。山形局は開局80周年記念事業を展開し、10月1～2日には会館公開「2016ふれあいひろば」でラジオ番組の公開放送などを実施した。福島局では、開局75周年記念の会館公開「夏の！NHKふくしま☆パラダイス」を8月20～21日に開催し、ステージショーなどを実施した。青森局では例年会館で実施している「大感シャモリ祭」を地域ドラマ『進め！青函連絡船』の舞台となった八甲田丸で9月10～11日に開催した。

(3) 東北が舞台のドラマの広報活動

青森局では22年ぶりとなる地域発ドラマ『進め! 青函連絡船』(BSP, 9.21)の放送にあたり、5月のクランクイン以降、各種の関連番組や各種媒体での広報を多角的に展開した。特に、8月のねぶた祭ではNHKねぶたを出してドラマをPRした。また、連絡船にちなんで函館局との連携も強化、函館側でも祭りやイベントでの広報を展開した。

(4) BSプレミアム「東北の冬」キャンペーン

「大好き♡東北」の一環として、17年2月下旬～3月上旬にかけて東北関連の番組をBSプレミアムで集中編成する「ようこそ! 東北の冬」キャンペーンを行った。期間中に34本の各種番組を放送し、東北の多彩な魅力を全国に紹介した。各局では印刷物の配布や、地域の各種団体ウェブサイト等への周知に取り組み、視聴促進をはかった。

(5) 国際放送の広報活動

仙台局では、5月19～21日に仙台市・秋保温泉で開催された「G7仙台財務相・中央銀行総裁会議」に併せてNHK国際放送のPRや宮城県および東北の魅力の発信を行った。G7会議の主会場ホテル全室で「NHK WORLD TV」が視聴可能となったほか、歓迎レセプション会場で国際放送や東北向け番組のPRを行うなど、国内外の参加者や関係者700人にNHKの国際放送をアピールした。

(6) スーパーハイビジョン

8月1日から試験放送が始まった「スーパーハイビジョン」の高繊細な画像と迫力ある音声を体感してもらう受信公開を各局で実施した。仙台局では試験放送開始に先立ち、7月から「8Kシアター」の一般公開を開始したほか、年度内に県内8会場で受信公開を実施した。8月の「リオ五輪パブリックビューイング」では、各局放送会館のほか、盛岡局では8月6～8日にJR盛岡駅でも公開を行った。

2. イベント事業

(1) 復興を応援する活動

地域の魅力を掘り起こし、全国・世界に発信する「大好き♡東北」の取り組みと連携しながら、被災地に笑顔と元気を届けるためのイベントを東北各地で実施した。

①UTAKKO BURUME～ミナサンロック～

(南三陸町, 9.24)

地元の言葉で「歌をふるまう晴れ舞台」という意味をもつタイトルを掲げて開催した音楽フェス

ティバル。「町外の人に南三陸を知ってもらえるような音楽イベントを実施したい」という要望を受けて、第一線のアーティスト6組が集結し、復興に向けた応援メッセージを町民に届けるとともに、復興への歩みを進めてきた町の人々と音楽で交流を図った。町外の来場者が9割を占め、南三陸の復興の様子を紹介するよい機会となった。

②NHK公開復興サポート～明日へ～

「被災地のみなさんに笑顔を届ける」ことを目的に、通算9回目を原発関連の避難者が数多く暮らす福島県郡山市(5.22, 10番組, 14イベント, 7,631人来場)で、10回目を地震と津波で全世界の99.5%が被害を受けた岩手県陸前高田市(11.13, 23, 7番組, 12イベント, 3,102人来場)で実施した。

③TOHOKUぐるり。

地元の人でも気付かない「東北の魅力」を、東北出身ではない人が東北を旅して探る番組連動イベント。宮城は鳴子温泉郷の湯治文化(多賀城市, 9.19, ロバートキャンベル)を、福島は会津の日本酒文化(東京都千代田区, 3.3, 大宮エリー)をテーマとしてトークイベントを実施。ホームページや観光キャンペーンパンフレット等でも情報発信した。

④「未来に向かって走れ! ゆめのまち列車」

東松島市立野蒜小学校、女川町立女川小学校の小学6年生が、絵本作家の荒井良二さんと共に描いた「子どもたちの夢」をラッピングした車両をJR仙石線、石巻線で16年度も運行した。17年3月で運行終了。

⑤被災地での取り組み

被災3県の仙台・福島・盛岡局では、復興支援を目的に公開番組やイベントを実施した。

・『NHKのど自慢』(4.10, 宮城・石巻市/3.12, 福島・福島市)ほか 計11番組・イベント

(2) 地域活性化に貢献する公開番組等の実施

東北6県では、公開番組やイベントを合わせて205本実施し視聴者サービスを行った。

・「極上ふくしま横乗りスポーツ☆パラダイス」(8.6, 福島市), 「北国からのコンサート」(2.25, 山形・南陽市), 山形局開局80周年記念「はちまるはじまるコンサート」(11.30, 山形市)ほか

(3) コンクール等

①第83回NHK全国学校音楽コンクール

各県コンクールと東北ブロックコンクール(9.10～11, 名取市)を実施。東北6県で小学校181校、中学校220校、高等学校44校が参加。東北代表に北上市立黒沢尻北小学校、郡山市立大島小学校、

田村市立常葉中学校，郡山市立郡山第五中学校，福島県立安積黎明高等学校，山形県立鶴岡北高等学校。

②第63回NHK杯全国高校放送コンテスト

6月に各県大会を開催。アナウンス，朗読，ドキュメント（テレビ・ラジオ），創作ドラマ（テレビ・ラジオ）の6部門に東北6県で142校が参加。

③第33回NHK杯中学校放送コンテスト

7月に各県大会を開催。アナウンス，朗読，テレビ番組，ラジオ番組の4部門に東北6県で66校が参加。

3. 営業

16年度は3か年経営計画の2年目にあたり，営業推進では，受信料の公平負担の徹底に向け最大限努力するとした重点方針に基づき，「支払率の向上」「衛星契約割合の向上」および「営業経費率の抑制」を柱として取り組みを行った。

東北ブロックでは，より効率的な営業体制の構築に向け，地域スタッフの少数精鋭化はもとより，法人委託の拡大に重点を置いた取り組みを行った。

また，福島県内の2つの営業拠点を1つに統合し，効果的な業務体制の確立を図った。

職員活動では，事業所対策，法人委託事業者の開発・育成，民事対策を計画的かつ精力的に推し進めるとともに，年度末には衛星勸奨DMや長期未収者への訪問アポイントテレマを実施するなど，業績確保にこだわった活動を展開した。

さらに，「ターゲット80」によるイベント・公開番組と連動した受信料制度の理解促進活動にも全局体制で取り組んだ。

その結果，営業諸目標について，東北ブロックとして5年連続となる全営業目標を達成し，16年度末の東北地方の放送受信契約数は320万5,604件，衛星契約数は169万911件となり，対前年比での放送受信契約数は15年度より2万4,217件の増加となった。なお，営業収納額の達成率は100.23%となった。

関東甲信越

◇舛添前東京都知事の辞任，それに続く，都知事選，小池知事による都政運営，豊洲市場移転問題や東京五輪会場問題などを適宜，特設ニュースや『クローズアップ現代+』『特報首都圏』などの番組で多角的に伝えた。緊急報道では台風の他，相模原市障害者施設殺傷事件（7月），横浜での病院点滴異物混入事件（9月），新潟・糸魚川大規模火災や茨城県で震度6弱の地震発生（12月），栃木・那須のスキー場で起きた雪崩事故（3月）などに迅速に対応した。

◇15年度の『東京ウエストサイド物語』に続き，東京・足立区を舞台に『千住クレイジーボーイズ』を制作，2月にBSプレミアムで放送した。ドラマのクライマックスシーンでは，地元で実際に行われる祭りを再現。地域の魅力を全国に発信した。

I. 放送

1. 放送の概要

①関東甲信越全体

約4,800万人が暮らす関東甲信越地域において，東京の本部と9県の各放送局が取材・制作した番組・ニュースを発信，多様な情報を提供した。

16年度は，災害や防災に関わる数多くのニュース・番組を放送したほか，地域の課題や取り組みを伝える番組，2020年東京五輪に向けた最新の動きなどを積極的に伝えた。

6月に舛添前都知事が辞任。一連の事態について緊急の『特報首都圏』で放送。7月には都知事選挙が行われ，開票速報番組を的確に放送した。また，候補者の選挙戦を『クローズアップ現代+』で放送，多くの視聴を得た。豊洲移転問題や東京五輪会場問題については，そのつど，特設ニュースや『首都圏ネットワーク』『特報首都圏』などで詳しく伝え，高い関心に応えた。

相次ぐ台風など，災害報道ではIPやスマートフォンのライブ映像を直ちに放送につなげる中継を積極的に展開。記者やカメラマン，アナウンサーが素早く中継リポートを実施した。移動中の車両からの生映像なども交え，刻々と変化する動きを，機動力を生かして同時進行で伝えた。また，L字型に字幕を流す放送システムも台風接近時から立ち上げ，詳細に伝えた。「L字放送」は，夏の高温

注意情報なども合わせると年間を通じ63回行った。

午後6時10分からの『首都圏ネットワーク』では、機動力を生かし、その日のニュースや気になる話題を分厚く伝えるコーナーに力を入れ、キャスターの個性を生かしたニュース番組となった。また、「首都圏発2020 未来へ」と題し、東京オリンピック・パラリンピックに関連したニュース企画を『NHKニュース おはよう日本』（関東甲信越）、『首都圏ネットワーク』などで展開。有望なアスリートに注目するだけでなく、都市の課題などにも目を向け、多角的な取材を行った。リオ大会で五輪旗が東京都に引き継がれるもようを『ハンドオーバー特番』として放送、10月には『東京五輪テレソン』に関東南3局と共に参加し、五輪に期待を寄せる各地の表情を中継で伝えた。

東京では初となった地域発ドラマ『東京ウエストサイド物語』の第2弾として東京・足立区千住を舞台に『千住クレイジーボーイズ』をBSプレミアムで放送した。かつて、一世をふうびした漫才コンビ“クレイジーボーイズ”。しかし、人気落ち、主人公は、元相方が暮らす千住に移り住む。個性豊かな千住の人々との触れ合いの中で主人公が再び情熱を取り戻していくストーリー。地元実際にある小学校や理容院、喫茶店などをロケ地に借用した他、地元の市民が多数、エキストラとして撮影に協力した。

②各放送局別

〔長野局〕

長野局では16年度、“信頼され・親しまれる放送局”になることを目標に掲げ、さまざまな取り組みを展開した。

「信頼」という点では、7月の参議院議員選挙で迅速・的確な報道を行ったほか、9月の御嶽山噴火から2年や17年1月の軽井沢スキーバス事故から1年などの「節目」に、全国ニュースや地域番組などを含めた分厚い報道を展開し、地域の報道機関としての責務を果たした。17年3月の県防災ヘリコプターの墜落事故では、特設ニュースなどでいち早く対応するとともに、県の消防防災体制の影響など、多角的に報道した。

「親しみ」という点では、数え年で7年ごとに開かれる諏訪地方の奇祭「御柱祭」を4Kで取材、『NHKスペシャル』（6.26）で伝えたほか、北アルプスの秋を捉えた『小さな旅』を8Kで制作するなど、信州の魅力为全国に向けて発信した。また、16年放送の『大河ドラマ』「真田丸」に合わせ、出演者のトークや地元の人たちによる太鼓・タテなどを披露する公開イベントを9月に企画、

番組として収録し、ドラマの魅力を全国に向けて発信した。「真田丸」関連の話題については、地域のニュースや中継等で取り上げ、地域振興を後押しした。

スポーツでは、信州出身の力士として84年ぶりに3役に昇進した御嶽海を節目の場所ごとに取材して計3本の番組を制作したほか、全ての取組を地域のニュースで紹介するなど、分厚く伝えた。また、サッカーJ1への再昇格をかけた「松本山雅」の戦いをニュースや中継できめ細かく伝えるなど、地域のスポーツを応援した。

さらに、視聴者参加の一環として、双方向クイズなどを取り入れたスペシャル番組や、満州からの引き揚げ者などによる「開拓村」の実像に迫った番組などを制作した。

昼前の情報番組『ひるとく』は、信州を拠点に活動する人たちや地域の魅力、暮らしに役立つ情報などを紹介。夕方のニュース番組『イブニング信州』は、ニュースを深く掘り下げたリポートや解説、カメラマンの企画などを伝えた。金曜夜の番組『知るしん。』は、地域で暮らす障害者や家族の思い、桜の名所に集う人々の表情を切り取ったドキュメントなど、さまざまなテーマを扱った。放送開始2年目の夕方のラジオ番組『ゆる〜信州』は、県民に親しまれ、防災・減災に役立つ情報などを提供した。

〔新潟局〕

7月の参議院議員選挙と、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働が最大の争点となった10月の知事選挙では、開票速報特番で迅速に結果を伝えるとともに、候補者の主張が投票結果にどう結び付いたかについても解説を交えて放送した。

知事選挙後の12月に放送した『金よう夜きらっと新潟』では、柏崎刈羽原発の再稼働を目指す東京電力の緊急時訓練の実態や地元市民へのPR活動取材、それに対する市民の反応も伝えた。また、3月の『特報首都圏』では、東電が原発再稼働を目指す背景のひとつ、電力小売り自由化の実態についても伝えた。

『金よう夜きらっと新潟』の新シリーズ「にいがた国際旅行社」を年間4回放送し、国際放送でも発信することで、外国人から見た新潟の魅力を掘り起こすとともに、インバウンド需要による地域活性化の可能性を探った。

12月に発生した「糸魚川大規模火災」について、発災直後から被害の状況や火災の原因を伝えた。さらに発災から1か月、3か月の節目に、復興に関する課題や国・自治体の動き、人々の思い

を伝えた。

3月には、『新日本風土記』「北越冬物語」で、雪国での暮らしの中で育まれてきた生活の知恵と、過酷な風土の中に喜びを見いだしてきた人々の姿を描いた。

〔甲府局〕

7月の参議院議員選挙では、正確で迅速な選挙報道を行った。リオデジャネイロ五輪出場の子山梨県関係選手の子予定や結果をきめ細かく伝えるとともに、リオでパラリンピック5大会連続出場の走り高跳び・鈴木徹選手に密着した『アスリートの魂』を9月に放送した。

台風や大雪の際には、いち早くL字放送や特設ニュースを開始し、気象予報士も随時出演させ災害報道に迅速に取り組んだ。また、『まるごと山梨』に新設した「やまなし防災のゲンパ」のコーナーでは、防災士の資格を持つアナウンサーが身近な防災情報を定期的に伝えたほか、ラジオの生放送と連動した防災イベント「かいラジパーク」を12月に甲府局で開催した。

山梨県の最大の課題、人口減少をテーマにした討論番組『ヤマナシQUEST』73分拡大版を5月と2月に放送したほか、リニア中央新幹線開業に向けた動きや課題を追った特集を『まるごと山梨』で放送するなど、地域の課題を掘り下げて伝えた。3月には、富士山の溶岩の森を4K撮影した『さわやか自然百景』を放送した。

〔横浜局〕

相模原市の知的障害者施設で19人が死亡、27人が重軽傷を負い、施設の元職員の男が殺人の疑いで逮捕された事件では中継も交えて事件の状況を迅速に伝え『NHKスペシャル』や『特報首都圏』などに展開した。原発事故で福島県から横浜市に避難してきた生徒に対するいじめの問題では生徒の手記の全文を独自に入手し、全国ニュースや『クローズアップ現代+』などで伝えた。横浜市内の病院で点滴に異物が混入され、入院患者2人が中毒死した事件は発覚当初からきめ細かく対応した。

夏の参議院議員選挙は定員4人に12人が立候補する激戦となったが、事前の念入る取材と準備で臨み、当落の結果を迅速かつ正確に伝えた。

〔前橋局〕

7月の参議院議員選挙では正確で迅速な選挙報道を実施し、8月の日航機墜落事故31年では遺族の思いや慰霊登山などを特集で伝えた。また、台風9・10号の災害報道では県域に向けてきめ細かな情報発信を特設ニュースやL字スーパー、ホー

ムページ展開で対応した。原発事故避難者らによる集団訴訟では、全国で初のケースとなった前橋地裁の判決を解説も含めて速やかに報道した。

〔水戸局〕

15年9月の関東・東北豪雨で甚大な被害を受けた常総市や東日本大震災の被災地を継続的に取材して特集などで伝えたほか、参議院議員選挙などの政見放送・選挙報道に着実に取り組んだ。

また、『茨城ニュース いば6』では、毎月「月に1度はいばらナイト」と銘打ち、県内各地の魅力を伝えた。また、稀勢の里横綱昇進や「鹿島アントラーズ」優勝などに関連した特番を放送し、県域放送の意義や県内唯一のテレビ放送局としての存在感を示した。

〔千葉局〕

台風、地震、津波注意報の際は放送や災害情報ホームページ等を通じて状況を詳しく伝えた。東日本大震災から6年にあわせて、遺族や避難者の思い、液状化対策の現状などをレポートした。FMでサッカー、バスケットボールの地元チームの応援中継を実施。県や千葉市で行ったパラスポーツのイベントでは公開放送を行った。

〔宇都宮局〕

宇都宮市の公園爆発事件や、小山市の5人焼死の火災、那須の雪崩事故など、緊急報道に力を入れたほか、防災・減災をテーマにした番組を制作、栃木県知事・宇都宮市長選挙では特設放送を行った。また、栃木県勢が制覇した夏の甲子園の決勝戦ダイジェストやBリーグの初戦中継、県域紙との連携で松尾芭蕉に関する書籍の番組化も試行した。

〔さいたま局〕

台風9号記録的大雨（8月）による浸水被害、通販大手「アスクル」の物流倉庫火災（2月）など、県内の大きな出来事をきめ細かく報道したほか、原発避難者が抱える問題や支援の在り方をニュース企画、番組、FMで多角的に取り上げた。また、地域の魅力を県域FMで集中的に紹介する全局キャンペーン「FMウィーク」を15年度に引き続き展開。フレッシュアーツ対策期間と連動し、5月に行った「キャンパスウィーク」のほか、さいたま市（大宮区）、所沢市、蕨市、飯能・日高地域で計5回実施した。

2. 地域放送番組

(1) 定時番組

〔ブロック〕

『ひるまえほっと』 G

月～金 11:05～11:54

第1回13.4.3/関東地域のみ/関東地方の旬の話題や暮らしに役立つ情報を伝える地域情報番組。月曜は1都6県すべての放送局、火曜から木曜は2局ずつ関東各局と結んで、地域のフレッシュな話題を伝えた。東京からは、生活情報など視聴者の関心が高いテーマを掘り下げるコーナー「@ほっと」を中心に放送した。また、岐路に立つ女性の選択を見つめるコーナー「おんなの選択」を新設、結婚や仕事などをテーマに今を生きる女性の姿を伝え続けた。関東各地の魅力ある場所を訪ねる「てくてく散歩」、地域を笑顔にしようという取り組みを伝える「笑顔みつけ隊」なども放送した。金曜は旬の魚・野菜・花の情報を伝える「いま旬☆市場」、視聴者が投稿する俳句を紹介する「ひるまえ俳句茶房」、NHKの過去の番組映像を発掘、ゲストと共に伝える「発掘!お宝番組」などのコーナーを放送した。また、おいしい料理を手軽に作る方法を紹介する「かんたんごはん」を放送。8月には、リオ五輪出場のパラリンピック選手を5回シリーズで取り上げ、競技に打ち込む姿を描いた。/キャスター：島津有理子アナ/首都圏放送センター

『首都圏ネットワーク』 G

月～金 18:10～18:59

第1回97.4.1/関東ブロック(水戸局を除く)/関東地方の視聴者に向けて、その日の重要なニュース、生活情報、気象情報などを幅広く伝えるニュース情報番組。

舩添前都知事の政治資金問題に端を発した辞任劇や小池都政の誕生、豊洲市場の問題、さらには都議会議員選挙を見据えた政党のさまざまな動きなど、一連の都政の動きについては、最新の情報を軸に関係者や専門家、都民の声を丹念に取材、さらには中継やスタジオセットを工夫して大胆に分かりやすく伝えた。

7月に相模原市の障害者施設で起きた殺傷事件では、事件の発生直後から詳細を伝えるとともに、事件から半年の節目では、犠牲者一人一人の豊かな個性を伝える「19のいのち」キャンペーンを展開。テレビの他、インターネットの特設サイトを設けてそれぞれのエピソードをイラストや写真を交えて掲載し、命の重さを伝えた。

台風や大雨の際には、中継を駆使して被害だけでなく通勤への影響などを細かく伝えた。熊本地震の際には、現地で指摘された避難所不足や住宅の耐震化などの課題を、近い将来大地震が起きる恐れのある首都圏に当てはめて考える緊急シリーズを翌週から展開。東日本大震災から6年となった3月には、企画シリーズ「忘れない、そして備える」を放送し、減災・防災報道に努めた。

一方で2020年の東京オリンピックまで取り組まなければならない日本の課題を伝えるシリーズ「チャレンジTokyo」を2回にわたって放送したほか、「憲法制定70年」「がん対策基本法から10年～がんと生きる～」「待機児童対策」など、時代の課題にじっくりと向き合うシリーズレポートも放送した。

このほか、首都圏のその日の関心事を機動的に取材する独自のチーム「東京遊軍」も2年目に入ってより充実し、「トランプ米大統領誕生の影響」から「スマホ落下が電車のダイヤに及ぼす影響」など、今を切り取る独自のニュースを放送した。また、東京のトレンドをコンパクトに紹介する「東京BOX」のコーナーも新設。詐欺被害の防止を訴える恒例の「私はだまされない」のコーナーは劇場形式にリニューアルし、視聴者へより分かりやすく注意を呼びかけた。/キャスター：山田大樹・合原明子アナ/首都圏放送センター

『特報首都圏』 G

金 19:30～19:58

㊥土 10:55～11:23

第1回84.4.6/関東甲信越ブロック/放送開始から33年目を迎えた『特報首都圏』。地域の問題・関心に即座に答える「速報性」と視聴者が求める「テーマ性」を軸に、情報を深掘りして伝えてきた。都政の課題、豪雨災害からの復興、障害者殺傷事件の影響など、社会の課題から、空き家問題や骨粗しょう症など生活に密着した話題まで、多彩なテーマが番組の魅力となっている。30～40代の働き盛り世代の視聴者にとって「いま知りたい」テーマを「共に考える」ことができる情報番組を目指した。/キャスター：寺澤敏行アナ/首都圏放送センター

『金曜eye』 G

(最終) 金 19:30～20:43

㊥(最終) 土 10:05～11:18

第1回14.4.4/関東甲信越ブロック/全国のおよそ4割の人口が集まる関東甲信越の視聴者に、金曜夜に73分というワイドな枠で、「地域に密着したテーマ」を「親しみやすい演出」で伝えた。

2020年東京五輪で街や科学技術はどう変わるのかを展望する番組や、外国人の目から東京を再発見する旅、著名人がゆかりの街を散策する『小さな旅』のスペシャル版、さらには関東甲信越の旬の食材や文化を訪ねる旅など、多彩なラインナップで地域サービスの向上に貢献した。(年8本) / 首都圏放送センター、(3本はGメディアへの制作委託)

『キッチンが走る!』 G

不定期

第1回10.10.1 / キッチンを備えた車に気鋭の料理人と俳優の杉浦太陽が乗り込み、地元の人たちと触れ合いながら、旬の食材を集め、究極のオリジナル料理に挑戦する。16年度は祝日を中心に特集番組として「伊勢志摩サミット」「真田丸ゆかり」などテーマを定め放送した。4月:三重・伊勢志摩、7月:沖縄、8月:北海道、9月:長野・上田市、11月:小豆島、12月:京都、3月:熊本・天草を旅した。 / 出演:杉浦太陽ほか / 語り:高橋克実、八嶋智人 / コンテンツ開発センター、NEP、NEXTEP

『首都圏ニュース845』 G

月～金 20:45～21:00

第1回96.4.1 / 関東ブロック(水戸局を除く) / 「首都圏の1日が分かる」をコンセプトに全項目をインデックスで一覧表示する演出を新たに採用。さらにフラッシュニュースも加えて密度ある情報をテンポ良く伝えた。また、気象情報は時間をかけて丁寧に伝えることで、食事を終えた家族や帰宅したサラリーマン層も意識した番組を展開した。 / キャスター:松村正代・池田伸子アナ / 首都圏放送センター

[長野局]

『ひるとく』 G

月～金 11:40～12:00

暮らしや文化・スポーツなどの情報や、地域の話題などを発信。16年度は、県内77市町村それぞれの魅力を地元の人々に伝えてもらうコーナーを新設。工夫を凝らした各市町村のプレゼンが話題になった。

『イブニング信州』 G

月～金 18:10～18:59

県内で起きたさまざまなニュースや話題を伝える夕方の地域情報番組。9月の御嶽山の噴火から2年や17年1月の軽井沢バス事故から1年といった大災害・大事故の節目に、遺族の思いや、地域の影響・捜査状況など、多角的な報道を展開した。また、郷土出身の力士・御嶽海の活躍を詳細に伝

えたほか、サッカーJ1への再昇格を目指した「松本山雅」の戦いなど、信州のスポーツの話題をさまざまな角度から取り上げた。さらに、7月の参議院議員選挙をはじめとした選挙報道、4月から5月にかけての諏訪地方の「御柱祭」など、地域の関心の高いニュースを丁寧に伝えた。

『知るしん。信州を知るテレビ』 G

金 19:30～19:58ほか

「信州のいまがよく分かる」金曜夜の番組。御嶽山の噴火から2年や、満州の引き揚げ者などによる「開拓村」の実像など、深い取材による特集を伝えたほか、信州の自然の魅力や郷土出身の力士・御嶽海の活躍など、さまざまな分野の番組を制作した。特に、信州の桜の名所に集う人々を扱った4月の番組や北アルプスの秋を取り上げた11月の番組は、多くの視聴者の支持を得た。

『信州845』 G

月～金 20:45～21:00

信州のきょう1日が分かるローカルの最終ニュース。

『ゆる～り信州』 R1

月～金 16:55～18:00

くつろいだ雰囲気の中で、信州の旬の話題を紹介するとともに、防災・減災に役立つ情報を伝えようと15年4月に新設。16年度は、県内の学校で歌われる「校歌」とその歌にまつわるエピソードを紹介するコーナーを新設するなど、地域の番組としての定着を図った。

『ニュース』 R1

月～金 19:45～20:00

長野県のきょう1日を伝えるラジオの最終ニュース。

[新潟局]

『お昼はじょんのび 暮らし情報便』 G

月～金 11:40～12:00

暮らしの安全・健康・趣味などの情報をスタジオ生インタビューで紹介したほか、展覧会や祭りなどイベントのお知らせ、青果・鮮魚・花の市場情報、川柳、英会話、体操コーナーなど、暮らしに密着した情報を伝えた。

『新潟ニュース610』 G

月～金 18:10～19:00

県内のニュースや動きを記者リポートや記者解説、中継などを交えて多角的に伝えた。インタビュー、スポーツ、旅、ケーブルテレビ便りなどの企画コーナーを継続したほか、年間を通じて、防災への備えや知識を高める防災企画を放送した。また、参議院議員・県知事選挙と併せて原発再稼

動に向けた動きを丁寧に伝えた。懐かしい過去の映像と音楽で新潟の昔と今を見つめる「新潟ヘリテージ」を放送し、好評を得た。

『金よう夜きらっと新潟』 G

金 19:30~19:58
 水 15:10~15:38

外国人参入が進むスキーリゾートや原発再稼働の検証など地域の課題を取り上げたドキュメンタリー番組、外国人の視点から新潟の魅力を掘り下げる番組、アイデア商品を生み出し注目を集める地域の産業や魅力的な生き方をしている新潟に住む人に焦点を当てた番組、新潟の豊かな自然・文化を伝える紀行番組など、地域密着で幅広いテーマの番組を制作した。

『新潟ニュース845』 G

月~金 20:45~21:00

県内の1日のニュース・気象情報をコンパクトに伝えた。

『新潟・きょうの1日』 R1

月~金 19:45~20:00

県内の1日をまとめたニュースや気象情報のほか、地震や水害への備えを呼びかける「防災メモ」を伝えた。

『にいがた ゆうどきラジオ』 R1

(最終) 金 16:55~17:58

新潟にゆかりのあるゲストをスタジオに招き、各地の情報を電話インタビューするコーナーや専門家に聞く「おしえて! 防災せんせい」など、最新の音楽と共に、生活に役立つ知識や新潟の旬の情報を放送した。

〔甲府局〕

『かいなび』 G

月~金 11:45~12:00

食、美容・健康、カルチャー、ガーデニングや自然の楽しみなど、山梨らしい話題をそろえたコーナーで構成する生活密着型の情報番組。夕方のニュース情報番組とも連動し、地域情報を手厚く発掘・発信した。

『まるごと山梨』 G

月~金 18:10~19:00

「より速く!」「より深く!」山梨県内の1日の出来事や話題を伝えるニュース情報番組。4月から新たに、格差の現場、農業新時代、電話詐欺防止を訴えるコーナー、防災士の資格を持つアナウンサーが身近な防災情報を伝える「やまなし防災のゲンバ」、17年からは、リニア中央新幹線開業に向けた動きや課題を伝える特集「リニアまで10年」を開始した。また、山梨の自然、産業、文

化の中にある“えらいもん”(大変なもの・誇れるもの)を紹介するコーナー「山梨 いにしええらいもん」では、桃、ぶどう、和紙、富士河口湖町の湖、雨畑すずりなどをテーマに、双方向クイズなども取り入れて10本放送した。

『ニュース山梨845』 G

月~金 20:45~21:00

山梨県内の1日のニュースや気象情報をコンパクトに伝えた。

『ヤマナシQUEST』 G

(第1) 金 19:30~19:58

ドキュメンタリーやスタジオ討論など多彩な演出で山梨の今を特集。人口減少をテーマに73分拡大版の討論番組「討論ヤマナシQUEST 人口減少×学生」(5.20)、「女性たちの本音トーク 変われし! 山梨」(2.17)を放送したほか、多くの犠牲者を出した足和田災害から50年を機に豪雨災害から命を守ることをテーマにした番組、日本有数の産地だった山梨の水晶の魅力に迫る番組、新人プロボクサーと父親との絆を描いたドキュメンタリー、『まるごと山梨』で放送した「山梨 いにしえ えらいもん」の総集編など合計9本を放送した。

『ニュース・天気予報・おしらせ』 R1

月~金 18:50~19:00

県内の1日のニュースのまとめと気象情報、防災メモなどを伝えた。

『かいラジオ』 R1

(最終) 金 17:00~17:55

サブタイトルは「今すぐやるじゃん! 山梨の防災」、県内の過去の災害の記録や、最新の知見などを基に、大きな災害に対して日頃からの備えを見つめ直し、リスナーと共に考える番組。年間8本放送した。

〔横浜局〕

『横浜サウンド☆クルーズ』 FM

月~金 18:00~19:00

神奈川ゆかりのゲストのトーク、ジャズ・クラシック・ポップスの音楽紹介に加え、県内各地からの中継やスポーツ情報など、地域に密着した情報を幅広く発信。毎月最終水曜日には横浜放送会館からジャズライブの生中継を行った。また、横浜局開局90年にちなんで横浜にまつわる歌「ハマうた」のリクエストとエピソードを募集。1,200以上のメッセージが寄せられ、年間を通して番組で紹介した。また、11月13日にはKAAT神奈川芸術劇場で「ハマうたスペシャルコンサート」を実施し、そのようは番組内でも放送した。記者

やディレクター、カメラマンも番組に随時出演し、県内の課題や話題を分かりやすく伝えた。

〔前橋局〕

『ほっとぐんま640』 G

月～金 18:40～19:00

第1回12.4.2/県内のニュースを中心に、身近な情報をきめ細かく伝える、生活に役立つニュース情報番組。「好きです。群馬」をキャッチフレーズに群馬の魅力を発掘・紹介した。また、10月には中継「秋のキャラバン」(東吾妻町、草津町)を実施した。

『群響アワー』 FM

6. 2, 2. 2/14:00～16:00

群馬が誇る良質なクラシック、群馬交響楽団の定期演奏会のもようを伝えた。

『ふれあい歌謡ステージ』 FM

7.14, 8.25, 9.29/14:00～16:00

日本を代表する温泉地の渋川市伊香保と草津町、尾瀬の玄関口の片品村で開催された歌謡曲コンサートを収録・放送した。

〔水戸局〕

『いばっチャオ!』 G

月～金 11:40～12:00

第1回15.3.30/料理や健康など暮らしに役立つ生活情報に、レポートや中継をふんだんに交えて伝える公開生放送番組。特に「ヨガしちゃお!」「かんたん★シェイプアップ」「どこでも体操」など健康に役立つ情報を紹介した。また、学校単位で見学に訪れる小学生たちの学校自慢などを生き生きと伝えた。

『茨城ニュース いば6』 G

月～金 18:10～19:00

第1回15.3.30/その日の茨城県のニュースを中心に、徹底した取材と多角的な視点でその背景や原因を追求するとともに、問題点や解決策を探っていくニュース情報番組。県内44市町村を中継で紹介する「月に1度はいばらナイト」など、地域情報をきめ細かく発信した。

『茨城ニュース845』 G

月～金 20:45～21:00

第1回04.10.01/茨城県のその日の出来事を、気象情報と併せてコンパクトに伝えた。

『いばラジカル』 FM

(年10回) 土 11:00～11:50

第1回15.4.11/「いばら」き愛を「じ」っくり「か」た「る」ラジオ。通称「いばラジカル」。茨城ゆかりのゲストを招いて、熱いトークを繰り広げた。また、防災コーナーを設け、FM放送が

災害時に迅速かつ有益な情報を提供できるメディアであるという周知も図った。

〔千葉局〕

『ひるどき情報ちば』 FM

月～金 11:00～12:00

音楽と共に暮らしに役立つ情報や地域の魅力を伝える番組。「発信!わがまち」のコーナーでは県内54市町村と毎日日替わりで電話をつなぎ旬の話題を紹介したほか、各地に出向き公開生放送を行うキャラバンを3回(9月、柏市/1月、木更津市/2月、成田市)実施した。県内6つのFM局が連携して行うラジオ共同キャンペーンではコミュニティFMのパーソナリティーが番組内で地域の問題をレポートするなど関連企画を通じてラジオの魅力を広く発信した。

『チバ☆スタ』 FM

6. 4, 2.11/11:00～11:50

千葉にゆかりのあるゲストを招き、千葉の魅力や話題を紹介する公開収録番組。6月放送回は流山市の商業施設の公開スペースで収録。2月放送回は「ひるどき情報ちば×チバ☆スタ～NEXT RADIO スペシャル～」と題し、県内6つのFM局が連携して行うラジオ共同キャンペーンの関連イベント(1.28, 木更津市)を収録。いずれの公開収録も多く観覧者を集めた。

〔宇都宮局〕

『とちぎ640』 G

月～金 18:40～19:00

第1回12.4.2/関心の高い事件・事故をはじめ、その日の出来事をとことん掘り下げ分かりやすく伝える県域ニュース番組。毎週月・金曜の「スポーツ情報」では県内のプロスポーツチームの話題を中心に取り上げた。火曜の「とちぎ情報」では地域の話題や暮らしに直結する情報を紹介した。このほか、県内を自転車で巡り食や地域の魅力を紹介する「ちゃりモグ!」や、松尾芭蕉の栃木での足跡をたどり詠まれた俳句を味わう「下野 芭蕉の道を辿る」もシリーズで伝えた。

『ときめぎとちぎ』 G

金 11:30～12:00

第1回12.4.6/週末のお出かけ情報や地元食材を生かした料理、健康づくりや防災の心得など、暮らしに役立つ多彩な情報を伝える地域情報番組。15年度からは地域の人たちのスタジオ出演による地元のイベントを紹介する新コーナーを立ち上げ、県内全25市町が参加した。視聴者にきめ細かいローカル情報を伝えるとともに、自治体や地域団体との関係を強化した。

〔さいたま局〕

『日刊!さいたま〜ず』 FM

月〜木 18:00〜18:50

埼玉にゆかりのあるゲストを迎え、暮らしの知恵やイベント情報などを伝えるとともに、特定の地域的话题を掘り下げるスペシャル週間を年5回行った。また、原発事故で福島から埼玉に避難している人たちに向けた情報を伝える「福玉便り」も毎月1回伝えた。

『週刊☆サッカー王国』 FM

金 18:00〜18:50

「浦和レッズ」や「大宮アルディージャ」の試合の分析と展望を軸に、女子なでしこリーグやユースサッカーの情報なども加え、聴取者からの投稿メールとコメンテーターの解説を交えて伝えた。

(2) 特集・特別番組

〔長野局〕

『知るしん。』スペシャル「開幕 上田真田まつり〜全て見せます!真田丸スペシャル〜」 G

4.24/13:10〜13:58

16年放送の『大河ドラマ』「真田丸」の魅力伝える取り組みとして、真田家の地元・上田市で開催された「上田真田まつり」の様子を紹介。現地からの中継をベースに、出演俳優のインタビューを盛り込みながら、祭りと番組の魅力を伝えた。

『真田丸スペシャル in 信州』 G

9.25/13:05〜13:48

物語の佳境にさしかかろうとしていた『大河ドラマ』「真田丸」を一層盛り上げようと、地元・上田市で開催した公開イベントを取録。出演俳優のトークをメインに、地元の人たちによる太鼓の演奏やタテ、アナウンサーの朗読などが披露され、華やかなステージショーを通じて、番組の魅力を広く紹介した。

『知るしん。信州を知るテレビ』「撮るしん。スペシャル2016」 G

12. 2/19:30〜20:43

信州の美しい風景の投稿写真を長野局のホームページで紹介している「撮るしん。」。1年間に寄せられた写真6,000点の中から、視聴者の投票で12点を選び、新年のカレンダーを制作する双方向の番組。1万6,000件を超える視聴者からのアクセスがあった。

〔新潟局〕

『金よう夜きらっと新潟』「徹底検証 再稼働目指す東電は今」 G

12. 9/19:30〜19:58

柏崎刈羽原発の再稼働を目指す東京電力。しか

し、再稼働に慎重な姿勢を示した知事が当選。県民の間で広がる“再稼働ノー”の声と不安感に電力会社は、どう向き合おうとしているのか。月に1度行われる総合訓練や、県民へ広報活動を行う社員たちに密着し、東京電力の姿勢を検証した。

〔甲府局〕

『まるごと山梨』「出張!まるごと山梨 つるスペシャル」 G

11. 4/18:10〜19:00

翌日にオープンを抑えた「道の駅つる」からの生放送、都留市や郡内地域の魅力の特集で伝えた。

『かいラジパーク みんなでやるじゃん!山梨の防災』 R1

12.10/13:00〜15:00

甲府局で開催した防災イベントと連動したラジオの生放送。地震の揺れを体験できる起震車、土石流の様子を振動などを交えて体験できる自然災害体験車などのレポート、住宅の耐震化や地震保険、災害への備えや避難、応急処置など防災減災に役立つ情報を伝えた。

〔横浜局〕

『ヨコハマから届けよう、ジャズの元気2016』 FM

5.28/14:00〜18:00

東日本大震災の被災地にジャズを通して元気を届けようという多数のミュージシャンが横浜局1Fアトリウムに集合し、ジャズライブを開催。そのもようを神奈川県および被災地の宮城・岩手・福島県向けに4時間にわたり生中継した。

『NHK横浜スペシャルジャズライブ』 FM

10. 8/14:00〜18:00

ジャズの街・横浜で毎年開催される大型ジャズイベント「横浜ジャズプロムナード」に併せ、2日間にわたって会館ロビーでNHK横浜局主催のジャズライブを開催し、このうち1日目のもようを4時間にわたり神奈川県で生中継した。

〔前橋局〕

『ぐんまスペシャル』「人口減少を乗り越える」 G

2.17/20:00〜20:45

群馬県の人口減少問題について、日本銀行前橋支店長や移住支援NPO代表、公募で選ばれた下仁田町の副町長らの生出演で、レポートや中継を挟みながら、その課題と解決策を探る番組を放送した。

〔水戸局〕

『茨城スペシャル』

「これぞ！鹿島アントラーズ～奇跡の逆転優勝～」

G

12.16/19:32～20:00

サッカーJ1「鹿島アントラーズ」が、7年ぶり8回目の年間チャンピオンに輝いた。年間勝ち点3位からの優勝だった。苦しい時期をどう乗り越え、頂点にたどり着いたのか？ 奇跡の逆転優勝に迫った。

「悲願の初優勝 横綱「稀勢の里」誕生！」

G

1.29/13:05～13:50

大相撲初場所で初優勝を飾り、念願の横綱昇進を果たした稀勢の里。待望の日本出身横綱として期待が高まる中、新横綱として今後への決意を、稀勢の里が語った。

「ようこそ！“ひよっこ”の里・いばらきへ」

G

3.31/20:15～20:43

17年4月から始まる茨城県などを舞台にした『連続テレビ小説』「ひよっこ」のヒロイン・有村架純さんが、ドラマの魅力や制作を支える茨城の人たちの思いを紹介した。

「小澤征爾指揮 水戸室内管弦楽団第98回定期演奏会」 G2

1.13/19:00～20:48

世界の「OZAWA」小澤征爾がベートーベンの交響曲第1番を指揮。水戸芸術館から迫力ある演奏を生中継。

〔千葉局〕

『千葉県少年少女オーケストラ 第20回定期演奏会』 FM

4.17/14:00～15:40

千葉県少年少女オーケストラが指揮者・下野竜也さんと共演する定期演奏会を収録して放送した。

『若い芽のαコンサート』 FM

7.3/14:00～15:30

千葉県にゆかりのある若手演奏家が地元オーケストラと共演する「若い芽のαコンサート」を収録して放送した。

『パラリンピアン セッション！』 FM

9.10/11:00～11:50

千葉にゆかりのあるパラリンピアンを招き、パラスポーツの魅力語り合うトークショーを収録して放送した。

『さいたま自慢ちば自慢』 FM

4.1/11:00～11:50

千葉・埼玉両県の魅力を発信するラジオ番組。両県ゆかりの出演者がチームに分かれ両県の自慢を紹介する公開イベントを収録して放送した。

〔宇都宮局〕

『下野 芭蕉の道を辿（たど）る』 G

7.22/19:30～19:58

『打ち上げれ 俺たちの本気 うつのみや花火ボランティアの夏』 G

9.2/19:30～19:58

毎年8月、宇都宮市の夜空を彩る2万発の花火。地元経済の悪化から一度は中止になった花火大会を、有志の市民たちがボランティア運営でよみがえらせ10年目を迎えた。それぞれ仕事を抱えながら、早朝・深夜まで準備に追われるボランティアたちの奮闘ぶりと花火への思いを伝えた。

『逃げ遅れをどう防ぐか～関東・東北豪雨1年～』

G

9.9/19:32～20:00

関東・東北豪雨から1年。当時人々はどう行動し何が起こっていたのか。避難指示が出された時には川がすでにあふれていたことを明らかにし、マニュアル作成や訓練など市の新たな対策への密着や、避難所体験キャンプの様子など、逃げ遅れを防ぐために何をすべきなのか検証して伝えた。

『大河ドラマ「真田丸」とちラブトークショー 真田丸に乗った男たち いざ、郷里へ！』

FM

12.2/18:00～18:50

『とちスぺ “公務員ライダー” 駆ける～シクロクロス・小坂光～』 G

3.3/19:30～19:58

荒れたオフロードを泥だらけになりながら進む「シクロクロス」。この過酷な自転車競技に挑み続ける小坂光選手に密着。ふだんは市役所職員として働き、コーチもいない厳しい環境の中、若手プロに負けじと日本一を目指す“公務員ライダー”の挑戦を伝えた。

『とちスぺ ちゃりモグ！スペシャル』 G

3.17/20:00～20:43

〔さいたま局〕

『“週刊☆サッカー王国スペシャル” 第10回埼玉県第4種サッカーリーグ戦 決勝』 FM

12.23/12:55～14:00

小学生サッカーの埼玉県チャンピオンを決める大会の決勝戦を生中継。

〔各局共通〕

『NHK全国学校音楽コンクール』

東京都	FM	小学校	8.29/14:00~16:00
		中学校	8.30/14:00~16:30
		高等学校	8.31/14:00~16:35
長野県	E	小学校	8.27/ 9:30~11:20
		中学校	9. 3/12:00~13:40
新潟県	E	中学校	9. 3/10:00~11:12
		高等学校	12:00~12:59
		小学校	13:00~13:31
山梨県	FM		8.29~ 9. 2/18:00~18:50
神奈川県	FM	小学校	8.29/14:00~16:10
		中学校(1)	8.30/14:00~16:28
		中学校(2)	8.31/14:00~16:26
		高等学校	9. 1/14:00~16:47
群馬県	FM		8.22/14:00~16:40
茨城県	FM	中学校	8.23/ 9:20~10:45
		小学校・高等学校	8.24/ 9:20~10:55
千葉県	FM	小学校(予選)	8.23~26, 30/10:00~11:00
		中学校(予選)	8.22~26/18:00~18:50
		小・中・高等学校(本選)	8.28/9:00~11:00, 12:15~15:55
栃木県	G		8.23~25/18:40~18:52
			8.26/11:30~12:00
	FM		8.22~26/18:00~18:50
埼玉県	FM	小学校	8.22/13:00~15:55
		中学校(予選)	8.23/13:00~15:55
		中学校(本選)・高等学校	8.24/13:00~15:55

3. スポーツ中継

〔高校野球〕

全国高校野球選手権大会・地区大会			
東京都	西東京大会・決勝	G・R1/	7.27
	東東京大会・決勝	G・R1/	7.28
長野県	準決勝	G・E・R1/	7.23
	決勝	E・R1(一部FM)	7.24
新潟県	準決勝	G・E・R1/	7.23
	決勝	G・E・R1/	7.24
山梨県	準決勝	G・E・R1/	7.23
	決勝	G・E・R1/	7.24
神奈川県	準決勝	FM/	7.30
	決勝	FM/	7.31

群馬県	準決勝	FM/	7.26~27
	決勝	G・FM/	7.28
茨城県	準決勝	G・FM/	7.25
	決勝	G・E・FM/	7.26
千葉県	準決勝	FM/	7.25
	決勝	G・FM/	7.26
栃木県	準決勝	FM/	7.23
	決勝	G・FM/	7.24
埼玉県	準決勝	FM/	7.26
	決勝	E・FM/	7.27

秋季高校野球・県大会

長野県	決勝	R1/	10. 2
新潟県	準決勝	R1/	9.19
	3位決定戦・決勝	R1/	9.20
山梨県	準決勝	R1/	10. 1
茨城県	準決勝	FM/	9.30
	決勝	FM/	10. 7

秋季高校野球・関東地区大会

準決勝	前橋・宇都宮・千葉県	FM/	10.29
決勝	宇都宮・千葉県	FM/	10.30

〔サッカー〕

サッカーJ1リーグ

福岡×新潟	新潟・福岡局	G/	4. 2
甲府×東京	甲府局	G/	4.24
柏×福岡	千葉局	FM/	5.21
甲府×横浜M	甲府局	G/	10. 1
大阪×新潟	新潟・大阪局	G/	10.29
新潟×広島	新潟・広島局	G/	11. 3
鹿島×神戸	水戸局	G/	11. 3
広島×新潟	新潟・広島局	G/	2.25

サッカーJ2リーグ

水戸×町田	水戸局	G/	6.12
水戸×京都	水戸局	G/	10.23
松本×熊本	長野局	G/	11. 3
岐阜×松本	岐阜・長野局	G/	3.12

第96回天皇杯全日本サッカー選手権 地区大会

長野県	決勝	長野局	E/	8.21
新潟県	決勝	新潟局	E/	8.21
山梨県	決勝	甲府局	G/	7.31
茨城県	決勝	水戸局	G/	8.26

第97回天皇杯全日本サッカー選手権 地区大会

山梨県	決勝	甲府局	E/	1.29
-----	----	-----	----	------

埼玉県第4種サッカーリーグ選手権

決勝	さいたま局	FM/	12.23
----	-------	-----	-------

〔バスケットボール〕

新潟県高等学校総合体育大会バスケットボール

男子・女子決勝	新潟局	E/	6. 5
---------	-----	----	------

Bリーグ

栃木×秋田 宇都宮・秋田局 G/ 9.24

千葉×富山 千葉局 FM/12.17

B2リーグ

茨城×奈良 水戸・奈良局 G/ 3. 4

〔プロ野球〕

「横浜DeNA」×「阪神」 横浜局 FM/ 5.15

「横浜DeNA」×「ヤクルト」
横浜局 FM/ 9. 6「ロッテ」×「ソフトバンク」
千葉局 FM/10. 8

II. 技 術

〔長野局〕

「放送ネットワークの強じん化」では、30年来の課題であった木曽地域のラジオ第1放送難聴地域の放送サービス改善と防災情報伝達のため、木祖橋川および南木曽FM補完局2局を11月に開局した。「周波数再編アクションプラン」に伴うラジオのSTL更新を15～16年の2か年計画で実施し、16年は岡谷諏訪、伊那、駒ヶ根、木曽福島、飯田各ラジオ放送所への回線設備を更新、2か年で15区間、総延長505kmの更新工事を終了した。安定した放送電波を確保するため地上デジタル放送開始から10年以上を過ぎた善光寺平テレビ中継局放送機（14形）の更新を全国2番目で実施した。また、老朽化した木曽福島ラジオ放送機の更新（完全2台化）と木曽福島FM中継放送所の放送機、空中線、自家発の更新を実施した。

3月5日に発生した長野県防災ヘリ墜落では、最前線からの確・迅速な素材伝送および中継対応を行った。「ターゲット80」の一環として「真田丸プロジェクト」に取り組み、『大河ドラマ』関連番組を数多く制作・放送した。「真田丸」出演者のトークや地元の伝統文化を披露する公開番組を9月に実施し番組の魅力を全国に発信した。諏訪「御柱祭」の御柱に4Kカメラを取り付け、坂を滑り落ちる御柱からの目線で撮影し『NHKスペシャル』「古代史ミステリー “御柱”～最後の“縄文王国”の謎～」（6.26）で、その映像を全国に発信した。SHV受信機が配備され試験放送の公開を8月から会館ロビーで開始し普及促進に取り組んだ。視聴者から投稿された信州の美しい写真を紹介する「撮るしん。スペシャル2016」では、双方向番組を12月に実施。3,121人が双方向クイズに参加し、写真を選ぶための投票数も延べ1万6,753件に達した。地域文化を継承・伝承する番

組の制作と共に双方向やSHVによる番組制作に取り組んだ。

16年度は、ニュース取材・制作設備のファイルベース化を実施し、CSK、選挙ディスプレイの更新ほか長野会館空調配管、給排水ポンプ、直流電源盤、高圧受電設備の区分開閉器などの建設以来の設備更新を実施し会館機能の維持を図った。

4FSK連絡無線機の位置情報によるFPU自動方調システムを開発し導入した。地域局の集中卓への導入が可能で他局への整備が期待される。

〔新潟局〕

命と暮らしを守る情報拠点として、5月には新潟県全市町村が参加するLアラートのデータ放送訓練に参加した。また、世界最大の原子力発電所である柏崎刈羽原子力発電所の状況を注視するIPカメラを設置した。公衆回線で映像を伝送し、指定のサーバーに収録されるため、本部からもアクセスできる。システムは太陽光無停電装置を併用し、停電時にも太陽光発電で運用が可能である。

12月に発生した糸魚川火災ではCSKによる火災現場からの伝送、局内の体制とも迅速に対応した。特に、各局から火災現場に入った多くのLiveU伝送（IP伝送装置）に対して新潟局内に受信システムを増設し、現場の映像をいち早く取り込んだ。

新潟市のランドマーク「新潟日報メディアシップビル」の屋上にロボットカメラを設置した。地上105メートルからの映像は信濃川河口から遠くは佐渡島まで一望でき、新潟市の表情を全国に配信した。

弥彦山テレビFM基幹放送所の自家発電機燃料1,800リットルをヘリで運搬した。参議院議員選挙やリオ五輪など重要番組を控え、災害に備えるとともに放送の確保に努めた。

上越地区で発生した落雷（1.13）により、高田テレビ中継局の送信設備が被害を受けた。この障害により高田テレビ中継局に加え、下位局の新井・中郷・妙高高原局の放送が停波した。障害発生後、迅速に出向し、障害機器の復旧作業と同時に総務省信越総合通信局へ臨機の措置を申し入れ、停波時間を最小限に留めた。

NHK共聴施設8施設の光化による受信施設の大規模改修工事が無事に完了した。また、17年度以降の大規模改修の対象となる施設の選定を本部と調整した。

新潟局ロビーにSHV受信システムとモニターが配備され、試験放送の受信設備が整った。また、SHVの普及促進として、上越ケーブルビジョンのイベントにSHV機材を持ち込み、上越地区で

初めてSHV受信公開を実施した。来場者には大相撲生中継や2016紅白ダイジェスト、青森ねぶた祭などの迫力ある映像と音声と共に、SHVの魅力を実験してもらった。

CS活動として放送体験クラブやNHK出前授業のほか、新潟局の番組に協力した人たちの笑顔メッセージを収録して「NHKからありがとう」と題し、30秒スポット5本を作成した。

〔甲府局〕

県民が「安全・安心」して暮らせる環境を目指し、放送ネットワーク設備の機能強化などを行った。富士山噴火に備えて富士山5合目および富士ヶ嶺カメラ（富士山西部地域）の17年度整備に向けた準備を進めた。また、1月には、鳴沢村の携帯基地局に設置された富士山監視カメラを放送利用できる整備を実施した。さらに国交省関東地方整備局の「河川情報カメラ」の受信設備を整備し河川状況の変化などを迅速に伝えられる機能強化や緊急報道の初動に有効なIP伝送受信設備を増強し、防災・減災報道における伝送体制の強化を実現した。

放送の安定供給に向けて、下河原ラジオ基幹局の二重給電化更新、桐原および西原のテレビ中継局の放送機2台化更新などに取り組んだ。NHK共同受信施設の大規模改修FTTH化工事を9施設にて実施し、安定で良質な受信環境整備に努めた。会館1階ハートプラザ内に、SHV受信設備を設置し、県内のCATV各社、県電機商業組合、県旅館組合等の団体を招き、新たな技術の理解促進と連携強化・衛星放送普及活動へつなげた。

番組送出設備の維持・整備においてはファイルベース（FB）システム第3期工事でニュース送出関連設備のFB化への完全移行を進めた。『さわやか自然百景』『富士山 溶岩の森』では初の4K撮影に取り組み、高精細な映像で山梨県の魅力を全国に伝えた。新技術開発への取り組みとして、15年から引き続き「高速トラッキング撮影システム」の研究・開発に取り組み、3次元に被写体を捉えられるよう機能改善を実現した。

CS活動として、『NHKのど自慢』の予選会でカメラマン体験と放送が家庭に届くまでを解説した。

〔横浜局〕

設備整備では、15年12月から整備を進めてきたニュース送出設備のファイルベース（FB）システム化を完了した。素材収録から編集、送出まで一貫したFBによる運用となった。

また、横浜局1階汎用スタジオの音声設備を更

新した。デジタル音声卓や標準モニタースピーカーなどを新たに設置し、マイク入力数の増加やモニター環境の充実を図った。

16年8月のスーパーハイビジョン（SHV）試験放送開始に合わせ、会館1階ハートプラザに85インチのSHV受信機を整備し、8K超高精細映像と22.2マルチチャンネル音響を体感できる場とした。また、12月には『NHK紅白歌合戦』のパブリックビューイングをイオンシネマ港北ニュータウンで行い、新たなサービスの認知度向上に努めた。

ネットワーク強じん化の一環として、平塚中継局に受信TTL自動切替器を整備した。平塚局は149万世帯を抱える重要局だが、大雨の際に受信品質が不安定になる課題があった。今回の更新で降雨に強い回線に自動切替可能となり、放送安定性が大きく向上した。また、円海山FM基幹局にUPSを新規整備するなど、計8局所の非常用電源の整備・更新を行い、より安定した電波確保を図った。

老朽したNHK共同受信施設を地元施設組合と協力して光ケーブルを使った施設へ改修する工事を実施し6施設完了した。

〔前橋局〕

番組技術では、緊急報道の備えと地域放送サービスの充実のため新規に高崎駅を撮影できる場所にロボットカメラを整備するとともに、ニュース送出設備のファイルベースシステムへの更新工事を進めた。また、ロボットカメラ用クモの巣付着防止フードの開発を行い検証調査を行った。

送信設備では、妙義・横川中継局の放送機2台化や下仁田中継局の自家発電機を整備し、設備の安定化を図った。老朽したNHK共同受信施設の光ファイバーへの更新工事を16施設実施するとともに、1施設は個別受信への移行により廃止し県内の運営施設は141施設となった。8月のスーパーハイビジョン（SHV）の試験放送開始に併せて県域放送でSHVの魅力をPRするとともに、家電販売店対象のセミナーを1月に開催した。

〔水戸局〕

7月に参議院議員選挙で開票速報、1月に小澤征爾指揮の「MCO（水戸室内管弦楽団）コンサート」を水戸芸術館から生放送した。年末ハイライトでは、双方向連動データ放送を実施するなど、新しい技術を導入した番組制作を実施した。また、公開番組・地域イベントと連動したCS向上活動や自治体訪問などを通し周知・広報活動に取り組み、県域放送受信率の向上に尽力した。

地震、台風などの緊急時に中継・特設ニュース

をはじめ、L字放送など、きめ細かい情報を迅速に発信し「安全・安心」を届ける公共放送の使命を果たした。季節天カメを五浦海岸、ひたちなか海浜公園、竜神峡、偕楽園、大子町と移動させ、四季折々の話題を全国に発信した。つくば市で開催されたG7科学技術大臣会合では、3台のロボカメを機動的に設置し警戒を実施。古河駅前には、地震警戒用にロボモニを設置した。

新運行装置更新工事は、レイアウト変更、建築工事を終え、設置工事が進行している。受配電設備において、51日間にわたる更新工事を実施。20年に一度の大きかりな工事を無事完了した。

水府中継局では放送機の2台化改修を実施し、水戸管内の2台化工事を全て完了させた。菖蒲固定-加波山固定-水戸森林公園-宇都宮八幡山ルートの特設設備更新では全国に先駆け300型を導入し、加波山固定ではシェルターと共にTTL装置を更新し、茨城・栃木県のEテレの安定運用を図った。奥久慈男体中継局には自家発電装置を設置し、機能強化を図った。NHK共同受信施設の光化改修に関しては、山造ほか9施設を完了した。

〔千葉局〕

浦安市通り魔事件（10月）、小3女児殺害遺棄事件（3月）などの緊急報道では衛星伝送車のほか、IP伝送機器も活用し迅速・的確に対応。8～9月に発生した5つの台風の減災報道では館山市から中継を実施した。参議院議員選挙（7月）、知事選挙（3月）では告示・投票日の中継および開票速報を実施した。

幕張FPU基地回転台の更新工事が完了し、ヘリの受信追尾が可能になった。

上総湊テレビ中継局の送信設備2台化工事を実施。県内テレビ中継局2台化が全て完了し、テレビ中継局の信頼性向上につなげた。

テレビ中継局間伝送回線において、自然条件による電波障害を改善するための対策に向け、下総光・富津浜金谷・鴨川宮局の調査検討に着手。このうち下総光局については複数の受信アンテナを用いるダイバーシティ受信の効果を確認するための長期観測を開始した。

NHK共聴85施設のうち、8施設の光化更新を実施した。

水戸TV基幹局からの季節的フェージングの影響を受けるいすみ地区DD混信について、策定された混信対策計画に基づいて個別受信対策、ギャップフィルター改修対策への対応を進めたほか、17年度対策予定のNHK共聴3施設の改修準備を進めた。

定期点検の確実な実施と基本事項の徹底により人為的な放送事故ゼロ12年継続を達成した。

〔宇都宮局〕

『ときめきとちぎ』や『とちぎ640』といった定時番組のほか、『参院選2016 開票速報』（7.10）や『栃木県知事選・宇都宮市長選 開票速報』（11.20）、関東・東北豪雨1年特番『逃げ遅れをどう防ぐか』などの県域番組の制作に技術部として取り組んだ。『下野 芭蕉の道を辿る』などのVTRの県域特番のMAについては、原則、自局で実施した。

『とちぎ640 年末スペシャル2016』と『とちぎスペ』『ちゃりモグ！スペシャル』（3.17）では、双方向システムを用いた視聴者参加クイズや番組内でのメッセージ募集などの双方向番組を実施した。県民と作る1分番組『とちラブTV』を4Kで撮影し、スポット枠で5本放送した。秋田局とのインターローカルのプロバスケットBリーグ中継をマルチ編成で送出し、県民の多様な期待に応えた。

移動天気カメラで県内各地の四季を県内外に発信した。16年度設置場所は、「栃木市つがの里の桜」「市貝町の芝ざくら」「那須塩原市もみじ谷大吊橋」「日光市霧降高原のニッコウキスゲ」「大田原市黒羽城趾公園の紫陽花」「日光市竜頭の滝」。

秋季関東地区高校野球大会の準決勝・決勝を幹事局として関東各局へ中継素材を伝送。同時に栃木県域でもFMで放送した。

「宇都宮市連続爆発事件」（10.23）や「小山市5人死亡火災」（2.4）、「那須町雪崩事故」（3.27）では発災直後にCSKを現場に展開して中継を実施した。

放送設備整備関連では、八幡山TV基幹局の放送機やSTL等の送信設備更新、足利FM放送機更新、報道系ファイルベースシステム整備などを実施した。共同受信施設の光化では「黒部」「若間」「栗山町野門」の3施設が完成した。また、冷凍機・冷却塔・FCUなど会館の空調設備を全面的に更新した。

SHV普及に向けた「デジタル放送新技術セミナー」を開催し、地元電器店やメーカーなど関係業界の技術者84人が参加した。

技術開発に取り組み、「置くだけ全天周カメラUTOM（アトム）」を制作し、番組技術展に出展した。

小山高専生のインターンシップ受け入れや栃木工業高校、今市工業高校への出前授業を実施し、NHKへの理解促進を図った。

〔さいたま局〕

機能強化関連で、本部・大阪局と協力し、大規模災害時に首都圏向けR1放送をラジオで同時配信できる設備を整備した。また、放送ブースの防音機能を強化した。

例年に無い大型の台風が複数回上陸したため、さいたま会館前などから中継を随時実施することで、視聴者に台風の情報を的確に伝え、安心・安全な生活に寄与した。

坂戸市から『NHKのど自慢』、入間市から『夏期巡回ラジオ体操』、日高市から『特別巡回ラジオ体操』、サッカー中継、高校野球県大会、学校音楽コンクールなどの地域放送サービスも実施した。また、第24回参議院議員選挙では政見放送や開票速報を正確・迅速に実施した。

さいたま局ロビーにSHV受信機（85インチ）と22.2マルチ音響システムを整備し、8月1日からスーパーハイビジョン試験放送の受信公開を実施した。

共同受信施設の老朽化による大規模改修工事では、11施設の光化改修工事が完了した。

Ⅲ. 視聴者

1. 広 報

〔長野局〕

16年の『大河ドラマ』「真田丸」の放送に併せて、15年に引き続き、全局体制の「真田丸プロジェクト」を組織して広報活動を展開した。「真田丸」のご当地ホームページや、関係自治体、県内の主要駅やサービスエリア、観光地での公式ポスターの掲示、独自の広報資材作成、長野局が企画実施した「大文化祭」や「最終回パブリックビューイング」、さらに地域で実施される「真田丸」関連のイベントでの配布を通じてPRを展開した。

15年度に引き続き『知るしん。』信州を知るテレビ「撮るしん。スペシャル2016」で選ばれた12枚の写真で壁掛けカレンダーを作成、視聴者に抽選でプレゼントし、「撮るしん。展」の実施と併せて幅広い認知につなげた。

局内見学は幼稚園・小学生の団体が61件、2,779人。一般の団体は12件、172人だった。

〔新潟局〕

「大河ドラマ『真田丸』全国巡回展・新潟展」の開催に併せて、ドラマ出演者らのトークショーを地元新聞社等との共催で実施した（5.28）。このイベントは真田一族との関わりを県民に知って

もらい、新潟を盛り上げように行ったもので、多くのファンが集まり、新潟市中心部にある会場は、始まって以来の盛況となった。巡回展も県内外から注目を集め、6日間で7,203人が来場した（5.27～6.2）。

また、「ターゲット80」として南魚沼市で多くの観光客が訪れる地域のお祭り「直江兼続公まつり」に併せ、『大河ドラマ』で直江兼続を演じる俳優等のトークショーや番組体感ランドを実施し、多くの親子連れをはじめとする視聴者と触れ合った（7.17）。併せて、ターゲットエリアの湯沢・中里・魚沼地区の未契約・低契約宿泊施設に対し、契約適正化に向けた集中対策を実施した。

毎年恒例の「新潟まつり」の民謡流しに参加し、大勢の観覧客にオリジナルで作成した新潟局番組PRうちわや8KスーパーハイビジョンパブリックビューイングPR用のポケットティッシュを手渡し、新潟局と8Kスーパーハイビジョンの認知度向上を図った（8.5）。

新潟局の来館見学者サービス充実のため、ロビースタジオとキッズコーナーのリニューアルを実施した。「放送局の仕事」について楽しく学べるタブエストリーの設置、モーションキャプチャーゲームの新設のほか、クロマキー装置やキャスターカメラ等の常設展示により、年間で1万5,869人が来館した。

〔甲府局〕

『まるごと山梨』で山梨県に関わるBS番組を紹介する「ハヤミミ」コーナーを継続し、『にっぽん縦断 ころろ旅』『イッピン』『中井精也のてつたび!』や17年度放送の『大河ドラマアンコール』「風林火山」を放送前にPR。また、県内最大の「信玄公祭り」（4月）でパレードに参加したり、パブリックビューイングを開催したりして16年度のBS『大河ドラマアンコール』「武田信玄」の放送を広くPRした。10月には「ヴァンフォーレ甲府」のJリーグ中継のスタジアムで、甲府局キャラクターのしんげん君とEテレ『Rの法則』出演アイドルのショーやスタジアム大画面での「武田信玄」とBSサッカーのスポット上映などでBSをPRした。公開番組やイベントでもBS普及と甲府局のステーションイメージ向上に努め、甲府局ホームページやデータ放送のデジタルツールでも広報展開した。

〔横浜局〕

横浜局は県域テレビ放送がないため、ホームページでFM県域放送『横浜サウンド☆クルーズ』の放送（一部）を公開するなど地域情報ライブラリ

ーを充実させ、音声配信や動画配信により県内情報を全国に発信した。加えてオリンピック、パラリンピック開催時には会館に神奈川県ゆかりの選手名パネルを設置し応援メッセージを募集。NHKワールドTVの南関東3県特集『One Step from Tokyo』ではケーブルテレビと連携し番組を積極的にPRした。また、開局90年に併せ「横浜局開局90年サイト」を立ち上げ、番組やイベント出演者からのメッセージを紹介。神奈川県ゆかりの歌「ハマうた」も募集し、番組やイベントなどで紹介した。

〔前橋局〕

16年の『大河ドラマ』「真田丸」の主人公の兄・真田信幸が、初代沼田城主（群馬県沼田市）を務めるなど、群馬は真田家ゆかりの地である。また、17年の「おんな城主 直虎」の主人公が後見として育てる井伊直政は、徳川四天王の一人として家康の天下取りを支え、後に初代高崎城主（群馬県高崎市）を務める人物である。いずれも群馬との関わりが強いと、積極的に番組PRを行った。営業リーフレット、ポスター、ポストカードなどを県内の旅館・ホテル、電器店、ゆかりの史跡・施設などに配布し掲出協力を求めたほか、受信サービスカーにPR画像をラッピングし稼働させた。また、特設ホームページを開いたり、『ほっとぐんま640』で人物像や業績の紹介・ドラマPRなどを行った。

〔水戸局〕

茨城県が舞台の、17年度前期『連続テレビ小説』「ひよっこ」開始に向けて、全局体制で広報活動を展開するとともに、放送開始に向けて茨城県内のイベント等で積極的にPRを行った。また、放送開始に向けてキャストによるミニPRを制作し、県域放送のスポット放送に併せて「ひよっこ」PRを行った。

「ひよっこ」のご当地ホームページ作成にあたっては、東京作成のホームページとの差別化を図るとともに、キャストや茨城県内の人々の参加も得て「カウントダウンバー」で放送開始に向けたPRを行った。

また、6月からスタートさせた「水戸局ブログ」では、特にアナウンサー・キャスターによる定期的な記事更新に加えて、水戸局を訪れた見学者の紹介を行っていたが、「ひよっこ」の放送が決まってからは、「ひよっこ」に関連する記事をアップすることで、水戸局ホームページ全体のアクセス数増加につなげた。

スーパーハイビジョン試験放送開始に併せて、水戸局最寄バス停で茨城交通バスの車内放送を利

用したSHVと水戸局のPRアナウンスを開始した。茨城県出身の稀勢の里の優勝・横綱昇進もあり、水戸局や牛久市役所で行ったSHV大相撲受信公開は大勢の視聴者が楽しんだ。

〔千葉局〕

NHKワールドTVの南関東3県関連番組の集中編成『One Step from Tokyo』や正月番組に合わせ、空の玄関口・成田を中心に広報展開を行った。成田山新勝寺の参道をはじめ、空港近隣ホテル等でのチラシ配布やポスターの集中掲出、自治体とも連携し、海外での観光誘致イベントでの動画上映やチラシ配布を実施したほか、訪日外国人向けのインフォメーションセンターでのPRなどにより、インバウンド効果を上げる施策として多角的な展開を行った。

〔宇都宮局〕

16年度はテレビ放送を始めて5年目にあたることから、今まで以上に地域に密着した放送局でいたいという思いを込め、“栃・土地（とち）を愛する”という意味の「とちラブ」キャンペーンを展開した。独自ホームページを制作し、栃木県に関連した番組の紹介や視聴者から寄せられた写真の掲載を行った。また、市町村の魅力をPRする『とちラブTV』を地域住民と協力して作成し、地域との連携を図った。さらに、スポット末尾につけるクラッチ、タオル・クリアファイルなどのグッズ、ポスター・チラシなどの印刷物を制作し、多角的にキャンペーンの周知を図った。このほか、『大河ドラマ』「真田丸」に関連して、「犬伏の別れ」の舞台となった県内のお堂にドラマ出演者を招き、放送をPRする特製動画を制作した。

〔さいたま局〕

さいたま局の県域FMをPRするために、メールマガジン「週刊番組情報」の発行を新たに開始したほか、県庁が主体となる事業「アニ玉祭」（10.9、さいたま市）、「埼玉県民の日」（11.14、さいたま市）など、元来集客力の高いイベントに参加することでスケールメリットのある広報活動を展開。また、さいたま局の1階ロビーを若年ファミリー層により親しんでもらえるようキッズスペースを新設し、来館者数増を目的にしたマンスリーイベントも実施。そのほか局舎壁面の懸垂幕を活用して、さいたま局のコーポレートメッセージを掲げる取り組みも始めた。さまざまな広報策を実行することでNHKからの発信力を高め、さいたま局のPRを行った。

2. イベント事業

〔長野局〕

『NHKのど自慢』をはじめ6本の全国放送公開番組を実施したほか、『大河ドラマ』「真田丸」ゆかりの地にある放送局として、独自イベント「真田丸大文化祭」や「真田丸最終回パブリックビューイング」などを開催。また、「撮るしん。展」を銀座NAGANO（東京都）や県内の図書館・美術館で実施し、信州の魅力を県内外に発信した。「第18回長野マラソン」（4.17）、「第21回長野県サッカー選手権大会・決勝戦」（8.21）などで地域に根ざしたスポーツイベントと連動した視聴者活動を行った。

〔新潟局〕

全国放送公開番組として、『俳句王国がゆく』（糸魚川市）、『NHKのど自慢』（加茂市）、『民謡をたずねて』（小千谷市）、『夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会』（妙高市）、『きらクラ！』（長岡市）、『新・BS日本のうた』（上越市）の計6本を実施。また、幼児・児童を対象に「ポコポッテイト小劇場」（見附市）、「ジュニアスポーツ教室」（阿賀町）を実施するなど、年間を通じて幅広い年代向けのイベントを展開した。地元ケーブルテレビ事業者と共催した「NHKアニソンフェスティバル」（8.28、新潟市）では、幅広い世代になじみの曲を楽しんでもらった。このほか、「NHK交響楽団演奏会 新潟公演」（1.7、新潟市）を2010年以來7年ぶりに開催。1,806人が来場した。

〔甲府局〕

『『にっぽん縦断 ころろ旅』トークショー』（4月）、『うたコン』（6月）、「ポコポッテイト小劇場」『夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会』（7月）、『Nコン 山梨県大会』『NHKのど自慢』（8月）、『ハートネットTV 公開すこやか長寿』『歌う！SHOW学校』（10月）、『ワラッチャオ！』（12月）、『ふるさと自慢うた自慢』（1月）など幼児から高齢者まで幅広い年代の視聴者層を対象にした公開番組やイベントを展開した。なかでも、12月にR1地域放送『かいラジ』の生放送と連動した防災イベント「かいラジパーク」を1階ハートプラザと会館駐車場で開催。500人の来場者を集めた。また、2月に山梨県立美術館で開催した独自イベント「NHKギャラリー賞絵画展」では、子どもの絵画2,000点の応募があり、期間中4,500人の入場者があった。ハートプラザでは、「大河ドラマ真田丸巡回展」（5月）、「ぼくの絵わたしの絵展」（8月）、「歳末・海外たすけ

あい」（12月）、「NHK放送体験クラブ」（1月）、8月からは4K・8K受信公開も実施し、多くの来館者を集めた。

〔横浜局〕

全国放送公開番組は『歌謡チャリティーコンサート』（4.15、相模原市）、『歌う！SHOW学校』（4.21、伊勢原市）、『キャンパス寄席』（5.21、横浜市金沢区）、『ハートネットTV 公開すこやか長寿』（6.4、大井町）、『ららら♪クラシック』（6.15、秦野市）、『新・BS日本のうた』（6.23、座間市／2.2、茅ヶ崎市）、『夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会』（7.28、横浜市泉区）、『昭和ヒット倶楽部』（9.9、横浜市南区）、『NHKのど自慢』（3.26、大和市）、の計10本を県内で実施した。さらに『夏目漱石朗読会』や『ヨコハマから届けよう、ジャズの元気2016』『NHK横浜スペシャルジャズライブ』『スペシャルジャズライブin横濱賀』など県域FM公開番組を21本実施した。

横浜局開局90年の取り組みとして、会館公開イベント「NHK横浜感謝祭2016」を2日間にわたって開催し、延べ1万人以上の来場者を集めた。また、年間を通して横浜・神奈川ゆかりの歌“ハマうた”を募集する取り組みを展開。1,123通（305曲）のリクエストが寄せられた。その得票上位曲を中心に歌い上げる集大成イベント「ハマうたスペシャルコンサート」（11.13、横浜市中区）を会館公開に併せて開催した。

その他、受信料支払者限定の「ガラピコぷ〜小劇場」を2本、ケーブル事業者との共催イベント「CATVキャラバン」を4本、大学キャンパスで行う「大学セミナー」4本を営業部・センターと連携して実施した。

また、横浜美術館では「メアリー・カサット展」（6～9月）を開催。展覧会に併せて、15年度から継続展開している「子育て応援キャンペーン」の関連イベントとして「親子で楽しむ『メアリー・カサット展』」を開催。「親子でサバイバル！ゲームで学べる防災教室」と併せて2本の独自イベントを放送と連動展開して制作した。

〔前橋局〕

全国放送番組の公開収録として、『ふるさと自慢うた自慢』（6.24、安中市）、『夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会』（8.21、下仁田町）、『NHKのど自慢』（9.18、みどり市）、『新・BS日本のうた』（10.13、前橋市）、『真打ち競演』（10.29、甘楽町）、『ワラッチャオ！』（2.18、館林市）を実施した。また、『ふれあい歌謡ステージ』（7.4、渋川市／8.1、草津町／9.9、片品村）、「ふるさとの食 に

っぼんの食 群馬県フェスティバル」(10.1～2, 前橋市), 「第21回わたしの尾瀬写真展」(12.9～14, 高崎市/1.13～18, 前橋市), 「NHK公開セミナー『おんな城主 直虎』」(1.29, 高崎市)などを実施した。

このほか『大河ドラマ』関連イベントとして、『DJ日本史』『真田スペシャル! 公開収録 in 群馬』(5.28, みなかみ町), 「『真田丸』パブリックビューイング」(6.5, みなかみ町), 「NHKふれあいプラザ」(7.7～10, 前橋市)や, 「『おんな城主直虎』初回パブリックビューイング」(1.8, 高崎市)を実施した。

〔水戸局〕

全国放送公開番組では、『NHKのど自慢』(10.16, 常総市)を15年9月の関東・東北豪雨で甚大な被害を受けた常総市で実施したほか『歌う! SHOW学校』(8.25, 龍ヶ崎市)など, 計5本を実施した。

また, 「ふるさとの食 っぼんの食」(11.5～6, 下妻市)では, 子どもたちを対象とした茨城の食を楽しみながら学んでもらう「食リンピック」を開催。さらに「なっとうどーもくん」クイズ大会やカメラマン体験, 中継車公開などを行い, 食育の推進や茨城県の魅力の向上を図った。

9月16日には, こども音楽クラブを常総市で実施し, 10月2日には, 「高専ロボコン地区大会」をひたちなか市で開催した。

また, 『キャンパスライブ@茨城SP』(1.9, 日立市)では, 茨城キリスト教大学, 茨城大学, 常磐大学, 筑波大学の学生が, 4年連続都道府県で魅力度最下位「茨城県」の知られざる魅力をラジオ第1で全国に発信した。

〔千葉局〕

全国放送公開番組は『NHKのど自慢』(2.5, 印西市), 『歌う! SHOW学校』(12.1, 成田市), 『ラジオ深夜便のつどい』(11.5, 香取市)などテレビ・ラジオを含めた計10本を実施した。

県内6つのFM局が連携し2年目の取り組みとなる「FMラジオ共同キャンペーン千葉NEXT RADIO」(1～3月)ではパーソナリティーの番組相互出演や公開録音などを通じ, いざという時に役立つラジオの有用性とその魅力を広く発信した。

障害者スポーツのトップアスリートが小学校を訪問する「パラリンピアンがやってきた! 子どもたちとの交流教室」(7.11, 千葉市・シッティングバレー)を実施したほか, 競技体験を通じて魅力を発信するイベント「パラスポーツフェスタちば」(9.3, 千葉市)を県・千葉市と共催で実施した。

千葉・埼玉両県の魅力を発信する公開イベント『さいたま自慢ちば自慢』(3.20, 東京・秋葉原)をさいたま局と共同で実施し, 当日のようを収録しFMで放送した。

〔宇都宮局〕

『NHKのど自慢』(5.8, 真岡市), 『夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会』(8.29, 壬生町), 『新・BS日本のうた』(10.27, 矢板市), テレビ・ラジオ合わせ8本の全国放送公開番組を実施した。

「NHK交響楽団演奏会 宇都宮公演」(8.23, 宇都宮市)を実施し, 「第49回日本女子オープンゴルフ選手権」(9.29～10.2, 那須烏山市)を開催した。

また, 局独自のイベントとして11月23日には「大河ドラマ『真田丸』とちラブトークショー 真田丸に乗った男たち いざ, 郷里へ!」を実施。同イベントのようをFM(栃木県域)で放送した。

〔さいたま局〕

全国放送公開番組は『新・BS日本のうた』(5.26, 入間市), 『NHKのど自慢』(7.24, 坂戸市), 『民謡魂 ふるさとの唄』(11.20, 飯能市), 『ブラボー! オーケストラ』(2.12, 所沢市), 『うたコン』(2.21, 春日部市)など16本を実施した。

教育・こどもイベントとして「ガラピコぷ～小劇場」(10.23, 桶川市/2.4, 久喜市)2本を実施したほか, スポーツイベントとして「第81回日本オープンゴルフ選手権」(10.13～16, 入間市), 「松岡修造のテニスパーク」(6.18, 熊谷市), ケーブル事業者との共催イベントとして「CATVキャラバン」(1.28, 富士見市)を実施した。

さらに「さいたま自慢ちば自慢」(3.20)を開催し, 同イベントのようをFM(埼玉・千葉単, 4.1)で放送した。

3. 営業

関越ブロックでは, 支払率と衛星契約割合の経営計画の前倒しに向けて域内17局・センターと連携し, 公募型企画競争方式等による契約・収納業務の外部法人委託の更なる拡大を薦めた。新潟局は日本海側地域では初となる公募型法人委託事業者との業務委託契約を締結した。17年度には水戸・宇都宮局でも導入予定であり, 営業諸目標を確保するための一層の構造改革を促進した。

併せて, 14年の東京都内の再編, 15年のさいたま局の再編に続き, 16年も長野局で松本支局を集約する再編を行い, 多様な戦力を効果的・効率的に確保・活用できる体制を整備した。また, 法人委託を中心としたマナーアップとクレーム抑止を

最優先の課題と位置づけ、より踏み込んだ指導・育成施策を展開した。

目標達成に必要な訪問対策要員の体制整備に取り組む一方、生産性と取次品質の向上への各種施策に積極的な取り組みを実施したが、11局・センターで全目標達成ができたものの、関越ブロック計では口座クレ増加のみが未達成となり、2年連続全目標達成は果たせなかった。17年度に課題を残す結果となった。

民事手続きを活用し、支払い督促申し立てによる未収者対策、放送受信契約締結拒否者に対する民事訴訟の提起、判決・支払督促確定者に対する強制執行を継続して実施した。また、新たに民事調停による申し立ても行い、4号ホテルでは大きな成果を上げた。

危機管理については、啓蒙・研修・監査等を実施することによって営業系セキュリティガイドラインと個人情報保護の徹底を図るとともに、事件・事故の未然防止に向けて「NHK倫理・行動憲章」に基づくコンプライアンスの徹底を図った。

中 部

- ◇5月に開かれた「伊勢志摩サミット」では津局、本部、名古屋局を中心に多数のニュースやリポートを制作して、全国・海外に発信した。
- ◇各局ではスーパーハイビジョンの理解促進を図るため、8Kコンテンツの先行上映のほか、各種イベント、局外での受信公開や関連業界向けプロモーション等を積極的に実施した。
- ◇東海・北陸7局共同で取り組んだ、“地域の宝”を世界に売り込む戦略を視聴者と共に探るプロジェクト「にっぽまんなかブランド」について、各局の夕方6時台や午前7時台のニュース・情報番組で集中的に伝え、2月に73分の拡大版の特集番組を放送した。
- ◇リオ五輪直前の7月から東海・北陸にゆかりの選手の応援キャンペーンを展開し、選手への密着取材と競技の楽しみ方を73分の特集番組で伝えた。
- ◇『大河ドラマ』『おんな城主 直虎』や『ラジカセ〜三重発地域ドラマ〜』（BSP、12.21）のPR・関連番組など、全局体制で地域の盛り上げを図った。

I. 放 送

1. 放送の概要

(1) 命と暮らしを守る、正確で迅速な報道

中部地方の放送局は、地域の安全・安心を守って信頼される身近な放送局を目指し、視聴者の関心に応えるニュースや番組を放送した。

広範囲に大きな被害が想定されている東海地震を含む、南海トラフ巨大地震や巨大台風や集中豪雨、活発化する火山活動など、自然災害に備えて日頃から防災・減災につながる情報発信に積極的に取り組み、災害時にはデータ放送やインターネットも活用した。

4月14日の熊本地震を受け、金曜夜7時台の『ナビゲーション』では、「連鎖”大地震 その時あなたは」(4.22)を急遽放送し、東海・北陸地方にも広がる活断層が引き起こす内陸型の地震への備えについて探った。また、「南海トラフ巨大地震～最新データから見えてきた脅威～」(7.8)では、5月に発表された南海トラフ地震の新たなデータを基に、最新の研究成果と自治体の動きを紹介し、プレート大地震と津波にどう備

えればいいのかなどを伝えた。

中部各局と連携した防災特集『ナビゲーションスペシャル』「どう備える“活断層”地震～東海北陸のリスク～」(G, 9.2)では、活断層の脅威が改めて浮き彫りになる中、東海・北陸地方のこれまで知られていなかった活断層の存在や複数の活断層が連動する巨大地震のリスクを検証した。自治体や住宅メーカーの取り組みも交え、活断層地震への備えと身近な防災ノウハウなども紹介した。

例年とは違った進路が特徴的だった台風10号については、北陸地方への影響を各局で随時伝えた。また、東海地方に大雨など大きな影響を及ぼした台風16号では、地域向けの定時ニュースのほか、随時特設ニュースでも大雨による河川の氾濫、土砂災害などへの警戒を呼びかけた。逆L字やデータ放送、インターネットを活用し、きめ細かな情報提供に努めた。また、ラジオでも、定時ニュースのほかに、随時最新情報を伝えるなど、関連情報を提供した。

大学入試センター試験の日程と重なった1月13～15日にかけて、この冬最大の寒気が日本に流れ込み、太平洋側の東海地方でも鉄道や道路、航空などの交通機関が大雪による影響を受けた。早朝から交通機関への影響やその対策などについて、L字をはじめ、随時特設ニュースで伝えた。

平日午後5時台のラジオ第1の東海3県向け生放送番組『夕刊 ゴジらじ』は3年目を迎え、公開生放送なども積極的に行い、地域ラジオならではの触れ合いを深めるとともに、災害時の情報源として「万一のときのラジオ」の意識の定着を目指した。また、金沢局の『じわもんラジオ』は午後0時台から夕方5時台に移設して継続し、福井局は『情報たら福』、富山局は『ラジオ富山人』をそれぞれラジオ第1の平日午後5時台で県域放送を定時化した。また、東海4県向けのラジオ防災特集として、名古屋市市民放ラジオ局パーソナリティーやお笑いタレント、防災の専門家と共に、家族で楽しみながら防災知識を深めてもらう『笑えるうちに備えておこう!』『ナットク!防災大喜利』(R1, 9.13)を公開収録し放送した。

(2) 地域の課題に向き合い、解決策を探るニュースや番組の発信

5月26～27日に開催された「伊勢志摩サミット」では、現地局の津局、本部、名古屋局を中心に多数の関連ニュース・リポートを制作し、全国や海外にも発信した。また、サミットを前に5月15～16日に富山市で開催された主要7か国環境大臣会合についても、関連リポートを伝えた。一連

の開催期間においては、テロなどの不測の事態が警戒される中、万全な体制を構築して臨んだ。

『ナビゲーション』では、伊勢志摩サミット開催まで2週間に迫る中、「国内最大のサミット警備“テロを封じ込めろ”」(5.13)で、巧妙化するテロをどう防ぐのか、空前の規模で進む警備の最前線の取り組みを伝えた。また、サミット最終日には特別番組として、地元はサミットのためにどんな準備をして、本番をどのような思いで迎えたのか、サミットを通じて地元は何を得たのか、激動の2日間を振り返る『“世界にアピールできたか”密着・サミットの舞台裏』(G, 5.27)を生放送で伝えた。

名古屋、金沢、静岡、福井、富山、津、岐阜の中部7局共同プロジェクトとして“地域の宝”を世界に売り込む戦略を視聴者と共に探るキャンペーン“にっぽんまんなかブランド”を10月からスタートさせた。豊かな農産品・伝統工芸品から工業製品まで優れた品質を生み出す東海・北陸地方のモノづくりを応援するこのプロジェクトでは、各局の夕方6時台や午前7時台のニュース・情報番組で取り組みを集中的に伝えた。また、『ナビゲーション』とも連動し、「にっぽんまんなかブランド グローバル市場で輝け!伊勢志摩の真珠」(10.21)で、日本の真珠がブランド力を高め世界で再び輝くにはどうすべきか探った。地域の期待が高まる東海・北陸の航空機産業の可能性を探り、「にっぽんまんなかブランド 日の丸旅客機 世界の空へ～MRJは地域を潤すか～」

(10.28)で地域の新たな取り組みや将来に向けた課題について伝えた。2月には73分の拡大版として、『ナビゲーションスペシャル』「世界に羽ばたけ!にっぽんまんなかブランド」(G, 2.24)を生放送した。すでに世界に打って出た注目の産物や地域に根ざした技術が、どう世界の壁を乗り越えたのか、地域ブランドの仕掛け人や企業戦略の専門家も招き、世界に売り込むヒントと可能性を探った。

『ナビゲーション』「緊急報告 英“EU離脱”の衝撃」(7.1)では、世界に衝撃を与えたイギリスのEU離脱について、ものづくりが盛んな東海・北陸に広がる波紋を取材し、地域経済に与える影響について伝えたほか、日米首脳会談当日に「“トランプ砲”の衝撃～翻弄される自動車産業～」

(2.10)を放送し、通商政策の行方を見守る自動車関連企業の苦闘を追った。首脳会談の動向も含め『クローズアップ現代+』「トランプ大統領で自動車産業は～日米首脳会談の先に何が～」(G,

2.14)に展開し、今後の二国間協議の行方を占った。その他、『ナビゲーション』では、地域経済やエネルギー問題、不正に揺れた地方政治の課題について、「どうなる？ どうする？ もんじゅ」

(6.17), 「“政務活動費” 広がる不正」(9.23), 「カネ余りなのに“借りられない” ～問われる地方金融機関～」(11.4), 「捨てられる金銀銅を回収せよ～小型家電のリサイクル～」(1.27), 「どこまで広がる？ 再生可能エネルギー」(3.10)で伝えたほか、労働人口の減少、医療や介護、農漁業、身近に潜む事故の危険など現代社会が生み出す地域のひずみやさまざまな課題について、「自閉スペクトラム症 100万人 ～未来を拓く最新研究～」(5.6), 「我が町に人を呼び込め」(6.10), 「“省力化”がカギ！ 次世代農業へ」(7.22), 「新たなリスク 落下物事故」(9.9), 「彼女がふるさとを離れる理由」(9.30), 「すぐそこにある危険～対面通行で相次ぐ正面衝突～」(11.11), 「“性差”をこえて ～誰もが働きやすい社会へ～」(11.18), 「地方から挑む “体に優しい” がん医療」(12.2), 「あなたの運転大丈夫？ ～どう防ぐ 高齢ドライバー事故～」(12.16), 「身近に潜む危険 用水路 ～多発する溺死事故～」(1.20), 「セルフ・ネグレクト ～孤立する人々をどう支援するか～」(2.3), 「不審船 日本海の漁場でいま何が」(2.17), 「現代の“死”を見つめて～遺品整理士が向き合う家族の断絶～」(3.17)などで放送し、『クローズアップ現代+』をはじめ、『ニュースウオッチ9』や『NHKニュース7』『NHKニュース おはよう日本』など、随時全国にリポート企画を発信した。

また、「部活がつらい～悲鳴をあげ始めた先生たち～」(7.15), 「きっと 変わる ～“元非行少年”と少年たち」(10.7), 「働く場所を君たちに～児童養護施設を出たあとの支援～」(10.14), 「命を救うための“変革”～密着・児童相談所～」(12.9)で、子育てや教育、若者支援についての現状を伝え、『金とく』子どもスペシャル「夏休みが終わっても ～いま“不登校”を考える～」(G, 8.26)では、不登校が急増する9月を前に、子どもたちの声に耳を傾け、大人として何ができるか考える番組を放送した。『日曜Tube』「ただ、そばにいただけ。～富山 高岡市「ひとのま」の日々～」(G, 2.19)では、引きこもりや不登校など「コミュニティハウスひとのま」に集う人々とそこに寄り添う人々の日常を通して、新たな福祉のアプローチに取り組む姿を紹介した。

国内最多の原子力発電所が立地する福井局で

は、夕方6時台のニュース・情報番組で原子力防災のシリーズ企画を随時放送したほか、エネルギーの未来像について専門家が徹底討論する『福井スペシャル』「徹底討論！ エネルギーの未来」(G, 3.27)を放送した。

(3) 地域の魅力の再発見と全国・世界への発信

16年度から日曜午後1時台に『日曜Tube』を新設。中部地方の「人間」「風土」「文化」「産業」の魅力を掘り起こし、再発見する番組や過去の『金とく』などのアンコールも編成した。主なシリーズ企画として、「おもてなし中部」では中部各県を外国人が訪ね、初回を『金とく』「おもてなし中部in愛知」(5.20)で放送し、以降は『日曜Tube』として「おもてなし中部in富山 高岡市」(6.19), 「おもてなし中部in岐阜 飛騨市」(7.17), 「おもてなし中部in静岡市」(9.25), 「おもてなし中部in福井 越前市」(11.13), 「おもてなし中部in三重 松阪市」(12.4), 「おもてなし中部in石川 白山市」(2.5)で、外国人の視点から中部各地の意外な新観光スポットを発掘し、その魅力を全国向けにも発信した。また、番組のイベント化を行い、愛知県民も気付かない地域の魅力を外国人留学生がプレゼンをする「おもてなし中部inあいチーズ」(2.26)を名古屋大学で公開収録して放送した。ラジオ特集番組とも連動し、『おもてなしラジオ ～冬目前！ほっこり北陸再発見～』(R1, 11.6)では、福井駅の「ハピテラス」から公開生放送で冬の北陸の魅力を紹介した。

また、『日曜Tube』「ショートストーリーズ」では、一本の糸に思いを込めるこの道54年の刺しゅう職人と山間の集落で人々を魅了する菓子を作り続ける若き職人の日々を見つめた「#1 思いを縫う」 「#2 おじいちゃんの配合帳」(4.24)や、岐阜の山間にある集落で歌と共に生きる人々とギター片手に故郷・富山への思いを歌いあげるブルースシンガーの日々を見つめた「#3 “うた”がある 岐阜」 「#4 ブルース！ 富山」(7.24), 亡くなった夫の遺志を受け困基サロンを開いた女性の思いと、タタリの杜と独特の営みを伝承してきた町の人々を見つめた「#5 この“碁縁”を大切に」 「#6 タタリの杜（もり）と生きる」(12.11), 独学で撮影技術を学び星空を40年撮り続けてきた写真家と、接客が苦手だった女性が新人レジ係として日々奮闘する姿を見つめた「#7 星空を待ちわびて～愛知・新城～」 「#8 今日もレジに立つ～静岡～」(2.19)などのドキュメンタリーを放送した。

その他、『日曜Tube』「中部の至宝！ コンクリ

ート芸術の謎を追う～浅野祥雲三大聖地～」(11.20)では、若者から注目を集める謎に包まれた芸術家の作品を訪ね、知られざる地域の芸術家の思いや謎に迫った。「8Kで体感! 国宝 源氏物語絵巻 見えない思いが、見えてくる。」(3.12)では、国宝・源氏物語絵巻を8Kカメラで撮影し、絵巻の魅力を最新の映像・音響技術と共に紹介するなどした。

第4シリーズとなった「わお! まるごと大自然 NHK中部ネイチャーシリーズ」は、9月30日から4週にわたって中部各地の自然の魅力を伝えるシリーズを『金とく』で放送した。シリーズの放送を前に、中部の豊かな大自然の映像をバックに珠玉の演奏を紹介する『NHKネイチャーコンサート～音楽で満喫! 中部の大自然～』(G, 9.24)を放送した。シリーズ本編では、緑深い樹林帯、天空のお花畑、幻想的な富士山の絶景に出会いながら、南アルプスの魅力を伝えた『金とく』中部ネイチャーシリーズ「南アルプス 3000m峰を縦走～体感! 大地と大気のダイナミズム～」(9.30)、塩や海産物などを運んだ幻の道を北アルプスの美しい風景と共にたどった「北アルプス 山岳古道を行く～富山と長野をつなぐ“山岳ハイウェイ”の旅～」(10.7)の山シリーズ、日本でも屈指の絶景が続く福井県の越前海岸と若狭湾の海岸線を体感する「福井 ふしぎの海岸線～沈降と隆起がもたらした奇跡の絶景～」(10.21)、神秘的な水中世界を旅しながら、伊勢志摩の豊かな海の秘密に迫った「伊勢志摩の海～豊かさの秘密を探る旅～」(10.28)の海シリーズと4番組を放送した。全編とも字幕放送を実施した。また、シリーズは11月9日(水)から4夜連続で『躍動する大自然 奇跡の絶景ストーリー』としてBS1で全国発信したほか、NHKワールドプレミアムでは山シリーズの2本を海外発信した。

金沢、福井、富山の北陸3局では、北陸の今を生きる人々に焦点を当て、共通のテーマ設定を元につづるショートドキュメンタリーシリーズ『北陸3stories』を放送。「～歌から始まる3つの物語～」(G, 7.31)、「re…再生の物語」(G, 3.18)を制作した。

(4) 地域を盛り上げる多彩な番組の放送

伊勢志摩サミットを前に、「伊勢志摩が見えてくる」をキャッチフレーズに関連番組を集中編成した。

森や海に太古の姿をとどめた自然が残り、古来の神仏信仰や風習が今なお息づいている伊勢志摩地域を美しい映像と共に紹介した『伊勢志摩

“オリジナルジャパン”の世界』(G, 5.4)を全国放送したほか、定時番組と連携し津局が制作参加した「ブラタモリ」で伊勢と志摩を訪ねる3本シリーズを全国放送した。

また、『伊勢志摩名作選』と題し、鶴瓶の家族に乾杯「三重県鳥羽市答志島・菅島 南原清隆」(4.10)、金とく「20年に一度! 伊勢神宮・式年遷宮大百科」(5.8)、金とく「志摩半島 海風に誘われて」(5.15)を、日曜午後を中心に中部ブロックでアンコール放送した。さらに、外国人の視点から見た伊勢志摩の魅力を伝える2分ミニ番組を集中編成し、全国や国際放送へも展開した。ラジオ特集番組の『「おもてなしの心」世界に届け! ?』(R1, 5.8)では、伊勢志摩サミットを前に中部国際空港のイベントステージから公開生放送で伊勢志摩の魅力や外国人観光客誘致の取り組みを伝えた。

リオ五輪直前の7月から東海・北陸にゆかりの選手の応援キャンペーンを展開し、選手による5秒間の「○○(県名)からリオへ!」のコメントをスポットに付加して集中編成したほか、選手自身が語る「アスリート ココ見てポイント」をホームページで公開した。また、『リオで輝け! 東海北陸のアスリートたち』(G, 7.29)を放送し、地元選手への密着取材と競技の楽しみ方を73分の特集番組として伝えた。また、注目選手の密着取材を基に『クローズアップ現代+』「リオ五輪“最強伝説”への道 レスリング吉田沙保里 進化する“女王”」(G, 8.3)として放送した。ラジオ特集では、活躍が期待される競技や東海・北陸ゆかりの選手に注目し大会に懸ける思いや競技の魅力・見所を『スポーツCHUBU』「夢をつかめ! 東海北陸リオの星」(R1, 6.23)で伝えた。

“日本一短い”ともいわれる短い練習時間ながら全国高校駅伝で5位入賞を果たした三重県立伊賀白鳳高校の強さの秘密に迫った『ナビゲーション』「短い練習で勝つ ～全国高校駅伝5位 三重 伊賀白鳳～」(1.13)や、10月1日に史上最年少のプロ棋士となった愛知県瀬戸市出身の藤井聡太氏のプロ初戦を追った『ナビゲーション』「“直感”の一手 ～史上最年少プロ棋士・藤井聡太～」(1.6)など、今後に期待のかかる若者たちの活躍ぶりを紹介した。

10月29日から開催された「第31回 国民文化祭・あいち2016」は、『第31回 国民文化祭・あいち2016 あいち ものづくり王国 ゆめづくり祭典』(E, 10.29)で愛知県の豊かな文化や伝統など、式典を中心に生中継で伝え、11月5日には

ダイジェスト版を総合テレビで全国向けに放送した。『金とく』『ふるさとで発見! 井伊直虎～静岡に残る“おんな城主”の素顔～』(G, 1.27)では、史料が少なく謎多き人物・直虎のゆかりの地、静岡県“遠州”を訪ね、ふるさとで今も受け継がれている直虎の知られざる素顔をひもといた。

中部7県の視聴者がデータ放送やスマホで参加した『金とく』『クイズバトル 7×7』(3.3)では、地元の意外な話題をクイズで紹介し、新たな観光地情報を提供した。『金とく』では視聴者からのリクエストに応じて歌手が歌を届け、歌にまつわる家族の思い出をつづる「切手のないおくりもの～A SONG FOR YOU～森山良子・クリス・ハートがつづる歌だより」(12.2)を放送した。

若者向けの音楽ライブ番組『Uta-Tube』では、16年3月に中京大学名古屋キャンパス、11月に三重大学で公開収録を行い、ゲストが現役大学生からの質問に直接答えるなどした。また、『Uta-Tube』「ボイメン 祝☆初武道館! リハ初日から密着しましたSP」(1.14)では東海エリア出身のユニット「ボイメン」ことBOYS AND MENの日本武道館での初ライブの舞台裏に密着した特集番組を放送した。

スポーツでは、プロ野球やJリーグ、高校野球など関心の高いスポーツ中継のほか、日本初のプロバスケットボールリーグ「Bリーグ」について、「名古屋ダイヤモンドドルフィンズ」対「秋田ノーザンハピネッツ」(G, 3.20)の試合を録画中継で放送した。また、「名古屋グランパス」対「ジュビロ磐田」(G, 10.22)を生中継したほか、J1残留に望みをかけた最終節「名古屋グランパス」対「湘南ベルマーレ」(G, 11.3)の生中継を急ぎよ決定した。

その他、ラジオ特集として、地元のプロスポーツチームを応援する『～夕刊ゴジラジススペシャル～がんばれ、ドラ・グラ!』(R1, 5.30)、『がんばれ、ドラ・グラ!』(R1, 3.9)を放送したほか、『スポーツCHUBU』「冬に舞うアスリートたち」(R1, 11.17)では活躍や飛躍が期待される東海・北陸の冬季スポーツのアスリートたちの16シーズンにかけた思いを紹介した。

静岡局では『大河ドラマ』「おんな城主 直虎」の放送と連動し、初回放送日の1月8日にはゆかりの地・浜松市でパブリックビューイングを実施したほか、ラジオの全国特集番組『「井伊ね! 直虎ジオ」～戦国なでしこ直虎を知る～』(R1, 1.22)を公開生放送し、地元の期待に応えた。名古屋局制作の全国放送番組『超絶 凄(すご)ワ

ザ!』は、引き続き日本のものづくりの底力、奥深さを技術者や職人のドキュメントを通して伝えた。

ドラマでは、『ドラマ10』「お母さん、娘をやめていいですか?」(G, 1.13～3.3, 全8回)、『FMシアター』「桜を伐(き)る」「命売ります」「ほかの誰でもないアヤコ」「遥かなり、ニュータウン」「唄娘」、『青春アドベンチャー』「ちいさなちいさな王様」「青春離婚」を制作した。また、津局ではBSプレミアムで『ラジカセ～三重発地域ドラマ～』(BSP, 12.21)を制作した。

データ放送や双方向機能、マルチ編成、パソコン・携帯・タブレット端末の利用など、デジタル放送の特性を生かした放送サービスを定時番組や特集番組で展開し、情報発信の回路の充実に努めた。

『金とく』『クイズバトル 7×7』(3.3)では、番組ゲストと視聴者が解答者として参加する双方向機能を使ったクイズ形式の番組を放送し、連動データ放送のさらなる定着を図った。プロ野球「中日」戦では、双方向機能を活用した応援で視聴者が参加感を味わえる取り組みを行った。特集番組『ナビゲーションスペシャル』「世界に羽ばたけ! につぼまんなかブランド」(G, 2.24)や『Uta-Tube』「ボイメン 祝☆初武道館! リハ初日から密着しましたSP」(1.14)では、ツイッターとデータ放送を活用し、視聴者の生の声をリアルタイムで伝えた。

2. 地域放送番組

(1) 定時番組

『NHKニュース おはよう東海』 G

月～金 7:45～8:00

第1回93.4.5/東海3県ブロック/愛知・岐阜・三重の最新ニュースや気象・交通情報など、お出かけ前に役立つ情報を伝える報道情報番組。レポートや中継は注目のニュースや人、季節の話題を掘り下げるなど、多彩な情報を提供した。伊勢志摩サミットやリオデジャネイロオリンピックに関係するテーマを精力的に届けた。/各局タイトル: 金沢『おはよう石川』、静岡『おはよう静岡』、福井『おはよう福井』、富山『おはよう富山』

『東海北陸フレッシュ便 さらさらサラダ』 G

月～金 11:30～12:00

第1回03.4.3『情報フレッシュ便 さらさらサラダ』(東海3県ブロック)としてスタート/中部ブロック(一部各局単)/放送14年目を迎えた『さらさらサラダ』は、中部7県に向けて、新鮮な情報を届けた。話題のゲストのスタジオ生ト

ク、料理・園芸・子育てなど暮らしをランクアップする情報、気になる地域の話、週末におすすめの中部7県の行楽情報など、プラザウェブ21からの公開生放送で届けた。／各局タイトル：静岡『ひる・しず』、津『みえ〜るくん情報』、岐阜『みのひだ情報局』

『ほっとイブニング』 G

月～金 18:10～18:59

第1回01.4.2／東海3県ブロック（18:30～59は津・岐阜単）／HOTなニュースやほっとできる話題など、東海3県の1日をまるごと伝えるニュース・情報番組。地域経済の動きや安心・安全を脅かす事件・事故、そして暮らしに役立つ情報などを届けた。ニュースの背景に迫るレポートや現場からの生中継、そして工夫を凝らしたスタジオ解説も交えながら、分かりやすく伝えた。／各局タイトル：津『ほっとイブニングみえ』、岐阜『ほっとイブニングぎふ』、金沢『かがのとイブニング』、静岡『たっぷり静岡』、福井『ニュースザウルスふくい』、富山『ニュース 富山人』

『ナビゲーション』 G

金 19:30～19:55

㊤日 8:00～8:25

第1回93.4.11／中部ブロック／中部地方の社会問題や注目のトレンドをいち早く、深く、分かりやすく掘り下げ、地域の“気になる”をタイムリーに伝える情報番組。中部地方が誇る製造業の最新の動きから、南海トラフ巨大地震・津波などの防災、医療、話題のアスリート・文化人まで、視聴者が知りたいテーマをドキュメンタリーと解説者のトークを交え、真相・背景に迫った。

『金とく』 G

金 19:56～20:39

㊤日 13:05～13:48

第1回06.4.7／中部ブロック／11年目を迎えた『金とく』は、中部地方の自然や文化、歴史や暮らしをより深く描く企画や、新たな地域の魅力を発掘する企画など、視聴者の「見たい!」「知りたい!」「行ってみたい!」に応える情報を届けた。

『ウイークエンド中部』 G

土 7:30～8:00

第1回85.4.6／中部ブロック／『ウイークエンド中部』愛称“ういちゅ〜”は、最新のニュースのほか、週末を楽しむための情報を届ける情報番組。お出かけ情報や中部7県の朝の表情を伝える生中継、美しい風景や地域の新たな名物に出会う旅、世の中のトレンドを調査するトレンド探偵などの企画を届けた。16年度は、週末に食べたくな

る料理を、家族で楽しむコーナーを新設した。

『Uta-Tube』 G

土 10:55～11:15

㊤木 1:00～1:20

第1回12.4.19／中部ブロック／『Uta-Tube』は、一流アーティストのライブを中部7県に届ける本格ライブ音楽番組。トークコーナーでは、街角からの質問や日頃持ち歩いているアイテムの紹介など、アーティストの素顔も紹介した。16年度は、深夜帯に再放送枠を新設した。また、リアルタイムで番組を見た視聴者向けに、アーティストの裏話やお宝写真も発信する連動データ放送も展開した。

『東海ピックアップ』 G

土 12:40～12:45

㊤火 23:10～23:15

第1回11.4.9／東海3県ブロック／東海3県向けの広報番組。名古屋・津・岐阜局のオススメ番組、イベント情報、取り組みについて、番組ディレクターやアナウンサー、イベント担当者が舞台裏やエピソードを交えて紹介した。

『日曜Tube』 新 G

日 13:05～13:48

第1回16.4.24／中部ブロック／地元に根を張り懸命に生きる人々の物語を紡ぎだすドキュメンタリー「ショートストーリーズ」や、外国人の視点から中部地方の意外な新観光スポットを発掘し、その魅力を全国・世界に発信する「おもてなし中部」などを放送した。

『東海北陸あさラジオ』 R1

月～土 7:40～8:00

第1回15.3.30／中部ブロック（一部各局単）／中部地方の詳しい天気解説や交通情報のほか、日替わりの特集コーナーで、暮らしに役立つ情報を伝える朝の情報番組。防災や法律、税務など、第一線の専門家の解説や動物園・水族館からの話題、観光情報などの行楽情報、俳句や短歌の投稿作品紹介などを届けた。

『夕刊 ゴジらじ』 R1

月～金 17:00～17:55

第1回13.4.1／東海3県ブロック／暮らしの知恵や知っておきたい防災の知識、注目のイベントなど、地域に密着した情報を厳選して届ける夕方の情報番組。気象予報士のキャスターによる東海3県の詳しい天気情報のほか、演歌、ポップス、クラシックなど幅広いゲストを招いたトーク&音楽情報コーナーなどを伝えた。

(2) 特集番組

〔中部ブロック〕

- 『おもてなしの心 世界に届け!?!』 R1
名古屋・津局 5. 8/13:05~13:55
14:05~14:55, 15:05~15:30
- 『“世界にアピールできたか”密着・サミット
舞台裏』 G
名古屋・津局 5.27/20:00~20:43
- 『スポーツCHUBU』『夢をつかめ! 東海北陸
リオの星』 R1
名古屋局 6.23/20:05~20:55, 21:05~21:55
- 『リオで輝け! 東海北陸のアスリートたち』
G
中部各局 7.29/19:30~20:43
- 『金とく』子どもスペシャル『夏休みが終わって
も ~いま“不登校”を考える~』 G
名古屋・富山局 8.26/19:30~20:43
- 『ナビゲーションスペシャル』『どう備える“活
断層”地震~東海北陸のリスク~』 G
中部各局 9. 2/19:30~20:43
- 『オーディオ・ドキュメント チェルノブイリから
フクシマへ 母親たちの手紙』 R1
名古屋局 9.10/ 9:05~ 9:55
- 『NHKネイチャーコンサート ~音楽で満喫!
中部の大自然~』 G
名古屋局 9.24/10:05~10:48
- 『金とく 中部ネイチャーシリーズ』 G
「南アルプス 3000m峰を縦走~体感! 大地と
大気のダイナミズム~」
静岡局 9.30/19:56~20:39
- 「北アルプス 山岳古道に行く~富山と長野を
つなぐ“山岳ハイウェイ”の旅~」
名古屋・富山局 10. 7/19:56~20:39
- 「福井 ふしぎの海岸線~沈降と隆起がもたら
した奇跡の絶景~」
福井局 10.21/19:58~20:41
- 「伊勢志摩の海~豊かさの秘密を探る旅~」
津局 10.28/19:56~20:39
- 『おもてなしラジオ ~冬目前! ほっこり北陸
再発見~』 R1
福井・名古屋局 11. 6/13:05~13:55
14:05~14:55, 15:05~15:30
- 『アイデア対決 全国高等専門学校ロボットコン
テスト2016 東海北陸地区大会』 G
名古屋局 11.13/11:00~11:54
- 『スポーツCHUBU』『冬に舞うアスリートたち』
R1
名古屋局 11.17/20:05~20:55, 21:05~21:55

- 『三重発地域ドラマ「ラジカセ」放送直前スペシ
ャル』 G 津局 12.13/16:20~16:45
- 『NHKナゴヤニューイヤーコンサート2017』
G 名古屋局 1. 7/15:50~17:03
- 『Uta-Tube』『ボイメン 祝☆初武道館! リハ
初日から密着しましたSP』 G
名古屋局 1.14/10:53~11:23
- 『ナビゲーションスペシャル』『世界に羽ばた
け! にっぽんまんなかブランド』 G
中部各局 2.24/19:30~20:43
- 『東海北陸文学紀行~鉄道は人生も乗せて~』
R1
名古屋局 2.25/ 8:05~ 8:45, 9:05~ 9:52
- 『金とく』『クイズバトル 7×7』 G
名古屋局 3. 3/19:30~20:43
- 〔東海4県ブロック〕
『笑えるうちに備えておこう! 「ナットク! 防災
大喜利!』 R1
名古屋局 9.13/20:05~20:55
- 〔東海3県ブロック〕
『~夕刊ゴジらじスペシャル~ がんばれ、ド
ラ・グラ!』 R1
名古屋局 5.30/17:00~17:55, 18:00~18:50
- 『NHK名古屋青少年交響楽団 第51回 定期演
奏会』 E 名古屋局 9. 3/14:00~15:00
- 『NHK名古屋児童劇団公演』『五右衛門-
GOEMON-』 E
名古屋局 9. 4/16:00~17:00
- 『夕刊 ゴジらじ』 R1
名古屋局 10. 3/17:02~17:55
10. 5. 7/17:00~17:55
- 『第31回 国民文化祭・あいち2016 あいち
ものづくり王国 ゆめづくり祭典』 E
名古屋局 10.29/14:30~16:15
- 『夕刊ゴジらじ』『2016年末スペシャル』
R1 名古屋局 12.27/16:05~17:55
- 『がんばれ、ドラ・グラ!』 R1
名古屋局 3. 9/20:05~20:55, 21:05~21:55
- 〔北陸ブロック〕
『北陸スペシャル』『第63回 日本伝統工芸展
金沢展 5人の匠~指先が作り出す世界~』
G 金沢局 10.28/19:56~20:39
- 金沢・福井・富山局 10.29/10:05~10:48
- 『北陸3 stories #2 ~歌から始まる3つの
物語~』 G
金沢・福井・富山局 7.31/10:05~10:48

『北陸3 stories #3 [re…再生の物語』
G
金沢・福井・富山局 3.18/10:05~10:48
〔石川県域〕
『参院選2016 開票速報』 G・R1・FM
7.10
『かがのとイブニング』 「ぐるっと石川ウイーク!」 G
3.21~24/18:00~19:00
〔静岡県域〕
『静岡スペシャル』 G 19:30~19:55
「“もえ〜”の力でつかめ! ビジネスチャンス」
6.17
「オリンピック ヒストリー〜僕らは静岡で強くなった〜」 7.15
「おじいちゃん 保育士になる 〜68歳 ふみだす一歩〜」 10.21/19:32~19:57
「ここにサッカーを残したい 〜中村俊輔 38歳の現在地〜」 3.17/19:32~19:57
『フォーラム統合失調症を生きる in 静岡 〜病とともに自分らしく〜』 E
9.24/12:00~13:00
『BS1スペシャル』 「歓(よろこ)びの絵 ねむの木学園 48年の軌跡」 BS1
10. 8/21:00~21:49
『たっぷり静岡 まもなく直虎!丸ごとキャラバン!〜浜松市・龍潭寺〜』 G
12.26/18:10~19:00
『「井伊ね!直虎ジオ」 〜戦国なでしこ直虎を知る〜』 R1 1.22/12:15~15:30
〔福井県域〕
『情報たら福 〜いこっさ!きこっさ!〜』 R1
4. 8, 5. 6, 6.10, 7. 1, 8. 5, 9. 2, 10. 7
11. 4, 12. 2, 16, 1. 6, 2. 3, 6, 2. 8~10
3. 3/17:00~17:55
5.21/ 9:05~ 9:55
11.15~18/18:00~18:50
2. 7/17:11~17:55
『参院選2016 開票速報』 G・R1・FM 7.10
『越のルビー音楽祭 スペシャル・チェンバー・コンサート』 FM 8.29~30/18:00~18:50
『特別番組 大谷吉継〜忠義に生きた敦賀の名将〜』
G 9. 9/20:00~20:43
『FUKUI JAZZ 2017』 FM
3.29~31/18:00~18:50
『福井スペシャル 徹底討論!エネルギーの未来』
G 3.27/19:30~20:30

〔富山県域〕
『かがやけ! グラウジーズ〜新生Bリーグに挑む〜』 G 9.22/14:20~15:00
『ニュース 富山人 年末スペシャル2016』
G 12.28/16:50~18:00, 18:10~19:00
『ラジオ富山人 オンエア1周年 朗読もあるよ!公開生放送スペシャル』 R1
3.10/16:05~16:55, 17:00~17:55
〔三重県域〕
『みえDE川柳』 FM 18:00~18:50
4.22, 5.20, 6.24, 7.29, 8.26, 9.30
10.28, 11.25, 12.16, 1.27, 2.24, 3.31
『三重発地域ドラマ「ラジカセ」放送直前スペシャル』 G 12.16/12:20~12:45
『三重発地域ドラマ「ラジカセ」本日放送スペシャル』 FM 12.21/18:00~18:50
〔岐阜県域〕
『ぎふスペシャル』 G
「科学の甲子園 〜岐阜高校の挑戦〜」
5.15/13:05~13:33
「岐阜からリオへ! 〜ホッケー女子・さくらジャパンの挑戦〜」 7.31/13:05~13:30
「リオで輝け!岐阜のアスリート」
7.31/13:30~13:48
「地域の力で 大垣ミナモソフトボールクラブ」
12. 2/19:30~19:55
「岐阜に人を呼び込もう 〜移住・定住を増やすには〜」 12.11/13:05~13:48
「青春!創作!フェスタ 〜朝井リョウと高校生〜」 1.29/13:05~13:48
「歌王ぎふ 〜大切な人へ贈る歌〜」
3. 4/10:05~10:48
「笑う岐阜に福来る〜第14回全日本学生落語選手権 策伝大賞〜」 3.18/10:05~10:48
『ラジオぎふスペシャル』 FM
「世界に羽ばたく岐阜の音楽家たち」
5.22/14:00~16:00
「小説家・朝井リョウの世界」
12.22/18:00~18:50
「〜ラジオで出発!岐阜県ローカル鉄道の旅〜」
2.12/14:00~16:00
〔各局共通〕
『Nコン2016東海北陸 第83回NHK全国学校音楽コンクール』
(中部ブロック) 東海北陸ブロックコンクール E
9.24/14:00~16:21
(東海3県ブロック)
愛知県コンクール E 9. 3/12:00~14:00

(県域)				「中日」対「ロッテ」	R1 / 6.16
三重県	コンクール	G	8.28 / 13:05~14:55		
岐阜県	コンクール	G	8.28 / 13:05~14:35		
石川県	コンクール	E	8.27 / 9:30~10:55		
静岡県	コンクール	FM	8.26 / 9:20~11:00		
富山県	コンクール	E	8.26 / 11:00~13:00		

3. スポーツ中継

〔高校野球〕

第98回全国高校野球選手権大会

愛知県	準決勝	G, E, R1 /	7.29
	決勝	G, E, R1 /	7.30
石川県	準決勝	G, E, R1 /	7.25
	決勝	G, R1 /	7.27
静岡県	準決勝	G・E・R1 /	7.26
	決勝	G・R1 /	7.27
福井県	準決勝	G・E・R1 /	7.25
	決勝	G・E・R1・FM /	7.27
富山県	準決勝	G・E・R1 /	7.27
	決勝	G・R1 /	7.28
三重県	準決勝	G・FM /	7.27
	決勝	G・FM /	7.28
岐阜県	準決勝	G・FM /	7.27
	決勝	G・FM /	7.28

第69回秋季東海地区高等学校野球静岡県大会

静岡県	決勝	R1 /	10. 2
-----	----	------	-------

第69回秋季東海地区高等学校野球大会

(東海4)	準決勝	R1 /	10.29
	決勝	R1 /	10.30

第135回北信越地区高等学校野球各県予選

石川県	準決勝	R1・FM /	9.25
	3位決定戦・決勝	R1・FM /	9.27
福井県	準決勝	R1 /	9.25
	3位決定戦・決勝	R1 /	9.27
富山県	決勝	R1・FM /	10. 2

第135回北信越地区高等学校野球大会

(長野・新潟・金沢・福井・富山)	準決勝	R1 /	10.22
------------------	-----	------	-------

(長野・福井・富山)	決勝	R1 /	10.23
------------	----	------	-------

〔その他のスポーツ〕

プロ野球

(中部ブロック)

「中日」対「阪神」	G /	4.15<マルチ編成>
「中日」対「楽天」	G /	6. 3<マルチ編成>
(東海3・中国)		
「中日」対「広島」	R1 /	5.13
(東海3)		
「中日」対「ヤクルト」	R1 /	4.22

「中日」対「ロッテ」 R1 / 6.16

J1リーグ

「名古屋グランパス」対「ジュビロ磐田」		
(東海3・静岡県域)	G /	10.22
「名古屋グランパス」対「湘南ベルマーレ」		
(東海3)	G /	11. 3
「ベガルタ仙台」対「ジュビロ磐田」		
(仙台・静岡県域)	G /	11. 3
「サンフレッチェ広島」対「清水エスパルス」		
(広島・静岡県域)	G /	3. 4

J2リーグ

「清水エスパルス」対「ギラヴァンツ北九州」		
(静岡県域)	G /	10.23
「徳島ヴォルティス」対「清水エスパルス」		
(徳島・静岡県域)	G /	11.20
「名古屋グランパス」対「FC岐阜」		
(東海3)	G /	3. 4
「FC岐阜」対「松本山雅」		
(岐阜・長野県域)	G /	3.12

第96回天皇杯サッカー選手権

愛知・三重県代表決定戦	E /	8.20
石川・静岡・福井・富山県代表決定戦	E /	8.21
岐阜県代表決定戦(東海3)	E /	8.21

高校総体サッカー 静岡県大会 決勝戦

E / 6. 5

Bリーグ

「名古屋ダイヤモンドドルフィンズ」対「秋田ノーザンハピネッツ」	(東海3)	G /	3.20
---------------------------------	-------	-----	------

ラグビー トップリーグ

「トヨタ自動車」対「パナソニック」	(東海3県)	E /	1. 7
-------------------	--------	-----	------

II. 技術

1. スーパーハイビジョン普及に向けた取り組み

名古屋局では全国整備された8Kモニターを会館1階「放送体験スタジオ わくわく」内に設置し、6月から独自に8K上映を先行実施したほか、8月1日の試験放送開始に向け、JR名古屋駅での開始PRや「わくわく」での開始カウントダウンなど普及に向けた取り組みを行った。試験放送開始後は、域内各局でも受信公開を実施し、静岡局と福井局ではリオ五輪中継を局外施設での受信公開とするなどした。また、家電流通関連業界向けに8K技術セミナーを域内各県で実施した。

2. 緊急・災害報道の取り組み

(1) 事件事故・自然災害関連

緊急報道におけるIP伝送が機動力を発揮する中、日常取材の素材伝送におけるCSKの活用を12月より開始した。河川氾濫の警戒として、名古屋市西部を流れる庄内川を撮影できるロボットカメラを新設した。

4月に発生した熊本地震では、中継業務、送出業務などに域内から21人、延べ102人日の支援を行った。

(2) 選挙関連

7月の参議院議員選挙では、各局における政見放送と域内15か所からの事務所中継を実施した。名古屋局では、開票速報本部をスペース拡張のため4階報道フロアから離れた1階T1スタジオのフロア内に設置した。報道フロアからの分離を補うため、当確判定に必要な選挙システムやNC副調との連絡系統、オンエア視聴環境の構築を行った。また、開票所からのNHK票送りに「Picta（ピクタ）：スマホ票送りシステム」を初運用した。

岐阜局では1月に岐阜県知事選挙および現職市長贈収賄に伴う美濃加茂市長選挙があり、政見放送の対応と開票日当日はCSKによる中継を行った。

富山局では10月に富山県知事選のほか、政務活動費不正問題に関連した富山県議会議員補選、11月に富山市議会議員補選があり、開票速報を実施した。政務活動費不正問題については、『ニュースウオッチ9』や『ナビゲーション』などでも伝えた。

(3) その他

北陸3局では、非常用送信車両（Eカー）を使用した送信訓練を北陸総合通信局と連携して実施した。各県の総合防災訓練において、実際に「臨機の措置」を適用することを想定して、実験電波の発射を伴う訓練を行った。

各県の防災情報システムと連携したLアラート（災害情報共有システム）は、石川県（6.1～）、富山県（8.1～）でも運用を開始し、域内全局でローカルのデータ放送とインターネットにて、避難情報と避難所情報の提供を開始した。

3. 番組制作技術の取り組み

「伊勢志摩サミット（5月26～27日）」

各国首脳の中部国際空港到着、伊勢神宮訪問、首脳会議、議長国会見などの重要イベントに対し、ほぼ1年をかけて準備を進め、中継車5台・CSK10台と160人を超える技術要員（域内計40人

超）により、ホスト業務（国際信号制作）やNHKユニ業務に対応した。空港から志摩地域まで、要人の陸路移動を考慮し、主要道路を監視できるロボカメラ9台を設置するなどした。

「第100回日本陸上選手権大会（6月24～26日）」

65年ぶりに名古屋で開催され、リオ五輪の代表選考を兼ねる大会となった日本陸上選手権において、これまでのNHK陸上中継で最大規模となるシステムを構築した。技術要員66人を配置し、GとBS1で3日間合計5時間26分の生放送を行った。臨場感ある空中撮影を行うロビーカム、最高速度64km/hで移動するレールカメラ、4Kハイスピードカメラなど最新の特殊機材を含む30台のカメラを駆使するとともに、速度・加速度表示CGシステムなどを効果的に活用した。

『ドラマ10』『お母さん、娘をやめていいですか?』

（全8回）

ロケ・スタジオ収録から編集・MAまで全編ファイルベースで行うワークフローを構築し、番組の高品質化と作業の効率化を両立させた。

「4K・8K制作」

『ラジカセ～三重発地域ドラマ～』制作において、全編4Kカメラで撮影。自局のオフライン編集設備を活用しつつ、レンタル4Kカメラや外部ポストプロ設備を使用して、2K制作と連動した4K制作を行った。

徳川美術館所蔵の「源氏物語絵巻」15面すべてを8Kで撮影し、名古屋局初の8Kコンテンツ「国宝 源氏物語絵巻」を完成させた。高精細な映像に加え、600チャンネルに及ぶ音源をミキシングした22.2マルチチャンネル音響で作品を仕上げた。

4. 地上デジタル放送のサービス向上

「中部ネイチャーシリーズ」において、独立型データ放送コンテンツを新規制作し、番組情報や問い合わせ先情報などを提供した。

また、双方向視聴者参加型番組「クイズバトル7×7」において、番組進行に合わせてスマホ画面が自動的に更新することで、スマホからのクイズ投票を簡単に操作できるよう、ウェブ制作、送出システムを改善した。

5. 放送設備の整備

「COMPASS（次期運行装置）関連整備」

地上デジタル放送開始から13年が経過した拠点局運行装置の更新整備を全国に先駆けて着工した。新しい送出システムは、津・岐阜局の主要設備を名古屋局に集約し、更なる安定送出と保守作

業の負担軽減を図るために3重化システム構成としている。ラック約70本に及ぶ新設備の設置のために、ラック室増床の建築工事やUPS（無停電電源）増力更新工事を11月に完了した。

「東山FM基幹局総合整備」

愛知県中西部（約300万世帯）をカバーする東山FM放送所の局舎および送信アンテナ、放送機、電源設備の老朽化更新を11月に完了した。併せて代替送信アンテナの整備により高信頼化を図った。

「新会館建設」

静岡局と金沢局では、新会館建設に着手した。静岡局では、17年9月竣工、18年3月のオープンを目指して整備を進めている。金沢局では18年3月竣工、同年秋ごろのオープンを目指している。そのほかの主な設備整備

名古屋局

- ・鍋田R基幹局二重給電装置更新
- ・T1、T2スタジオ用VTRファイルベース更新
- ・会館FPU基地局の更新
- ・中部国際空港国内線、伊良湖ロボカメの更新

金沢局

- ・CH-42更新
- ・志賀原発ロボカメ電源強化

静岡局

- ・浜松支局報道室機能移転
- ・由比ロボカメ更新

福井局

- ・国見FPU基地局回転台更新
- ・大飯原発ロボカメ電源強化

富山局

- ・TV・R非常用送信設備の整備
- ・アート送出サーバー（NAPS）更新

津局

- ・長谷山TV基幹局送信機、監視制御装置更新
- ・鳥羽ロボカメ更新

岐阜局

- ・奥飛騨温泉郷AM強じん化のためのFM新規置局

Ⅲ. 視聴者

1. 広報

（1）マスコミ広報・番組広報

名古屋局では、広報番組『東海ピックアップ』を制作し東海3県の放送局についての多彩な情報を紹介した。リオ五輪特集番組『リオで輝け！東海北陸のアスリートたち』、『ドラマ10』「お母さん、娘をやめていいですか?」、『Uta-Tube』『超絶

凄（すご）ワザ!』などの番組で、取材会を実施し、地元や在京のマスコミに情報を提供した。

中部地方を舞台にしたドラマや番組を各局が、さまざまな手法や展開と共に地元での話題作りや周知につなげた。『ドラマ10』「お母さん、娘をやめていいですか?」では、放送前から最終回までさまざまな媒体で周知広報を行うとともに、セットや出演者の等身大パネル、小道具の数々を展示するドラマ展を開催。3万7,000人を超える来場者にドラマの裏側を楽しんでもらった。『ラジカセ〜三重発地域ドラマ』（12.21）では、ロケ地での取材会・関係者試写会、スポットやミニ番組の制作のほか、リーフレット制作やホームページ、データ放送でのPR、4K集中上映など多面的な広報を実施した。静岡局では、『連続テレビ小説』「とと姉ちゃん」、『大河ドラマ』「おんな城主直虎」関連でトークイベント、ご当地サイトでの地域情報の発信、オリジナルグッズの作成、多様な媒体での周知などを実施。「直虎」では衣装や小道具などからなるダイジェスト展などを多彩に展開した。福井局では『大河ドラマ』「真田丸」で大谷吉継役の片岡愛之助さんを招いたトークショーを1,000人規模で実施した。

（2）視聴者ふれあい活動

名古屋局の見学施設「放送体験スタジオ わくわく」には、1年間で15万人余りが訪れ、ニュースキャスターの疑似体験など楽しみながら放送を学んでもらった。なお、団体見学での来館は、242件6,953人だった。

会館公開では、各局が誘客の強化やイベント内容を質・量ともに充実させて臨んだ。名古屋局（8.27～28）では、番組出演者によるトークや防災展示、スポーツ中継の技術体験コーナーなどに1万3,235人が参加し、参加者の満足度は84.7%と好評だった。津局（10.8～9）は、スタジオ公開、ラジオ工作、地域ドラマ『ラジカセ』のPRを兼ねた展示などを行い9,700人が来場した。

また、静岡局は開局85周年事業として『歌謡チャリティーコンサート』収録（11.11）、『すっぴん!』公開生放送（10.3）、「大学セミナー・プラタモリ」（11.18）など、公開番組やイベントを実施した。

各局では積極的にスーパーハイビジョンの受信公開を実施した。名古屋局では6月1日から8Kコンテンツの先行上映を行ったほか、8K「国宝源氏物語絵巻」の制作と併せて、「8K上映&トークイベント」（3.6）、絵巻を所蔵する徳川美術館ロビーでの公開（3.14～26）を行い、1万2,000人余りに体感してもらった。6月からの体感者は

局内外で累計8万8,541人となった。

各局でもリオ五輪や大相撲に併せた受信公開時間の拡大や、「いしかわ情報システムフェア」(5.19～21)、福井駅、敦賀駅、静岡駅前ビルなど集客力の高いイベントや施設で受信公開を実施した。

2. イベント事業

中部ブロックでは、公開番組をはじめ、公共放送キャンペーン、子ども・青少年、教育・教養、美術、音楽、スポーツなど、さまざまな分野・対象のイベントを実施した。約32万人の視聴者と触れ合い、公共放送の理解促進と地域の活性化・文化振興に努めた。

(1) 公開番組

『NHKのど自慢』『新・BS日本のうた』など例年実施している番組に加え、新番組『歌う！SHOW学校』、Eテレの『みいつけた！』『ノーゼーのひらめき工房』など中部で39本の全国放送公開番組を実施した。また、福井局では『情報たら福』の公開録音を福井駅前の再開発ビルで実施し、富山局では、『ラジオ富山人』の放送開始1周年を記念して公開生放送を実施した。

(2) 公共放送ならではのイベント・キャンペーン

「地域のキャンペーン(防災・環境)」「ハートプロジェクト」「ふるさとの食 につぼんの食」のほか、地域の課題に取り組むキャンペーンとして「おもてなし中部プロジェクト」「中部ネイチャープロジェクト」(名古屋局を中心に中部7局)など、公共放送ならではのキャンペーン・イベントを中部各局で展開した。特に、「おもてなし中部プロジェクト」では、外国人留学生の視点で地域の魅力を再発見するイベントとして、名古屋局では、「おもてなし中部的自撮りキャンペーン・あいちーズスペシャルステージ公開収録」(2.12、名古屋大学)、津局では、「留学生が三重を“サイハッケン!”～おもてなし中部in三重大学～」(2.4、三重大学)を実施した。「地域のキャンペーン(防災)」として名古屋局では、在名民放ラジオ局各社と連携した「ナットク!防災大喜利」を実施(8.28、名古屋局PW21)したほか、防災啓発イベント「みんなで防災-BOSAI-」(5.15、春日井市/8.27～28、名古屋局PW21/10.15～16、豊橋市)を実施した。「ハートプロジェクト」では、「第21回NHKハート展」(9.21～10.2、静岡市/2.11～3.3、岐阜市)、「NHK介護百人一首2016パネル展」(6.20～25、能美市)、「NHKハートスポーツフェスタ～パラリンピアンがやってきた!子どもたちとの交流教室」(12.15、名古屋市)を開

催したほか、第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会の開催に併せて「Unlimited!NHKスペシャルダンスステージ」(12.9、名古屋市)を実施した。

(3) 子ども・青少年イベント

「第83回NHK全国学校音楽コンクール」「第63回NHK杯全国高校放送コンテスト」「第33回NHK杯全国中学校放送コンテスト」「キミが主役だ!NHK放送体験クラブ」を中部各局で実施した。特にNHK全国学校音楽コンクールについては「スーパー合唱教室in名古屋」(4.24、名古屋局スタジオ)として高等学校の課題曲講習会を公開収録したほか、小・中学校の部も指導者講習会を同日開催した。

また、ファミリーで楽しめるステージショーとして、チャリティーコンサート「おかあさんといっしょファミリーコンサート」(12.10、刈谷市)、「いないいないばあ!あつまれ!ワンワンわんだーらんど」(1.15、静岡市)や、「おかあさんといっしょ宅配便「ポコポッテイト小劇場」「ガラピコぶ～小劇場」」(7か所)を中部各地で実施した。

名古屋局では、子育て中のパパやママに育児について学んでもらおうと「NHKパパママフェスティバル」(11.5～6、名古屋局)を実施した。

(4) 教育・教養イベント

学校放送番組の研究委嘱を行い、教育現場での番組利用の推進を図ったほか、教員を対象とした「NHK for School ICT活用ワークショップ」(8.26、松阪市)を実施した。

教養イベントでは、「NHK公開セミナー」として「NHK大河ドラマ・真田丸」(5.15、大垣市)、「NHK大河ドラマ・おんな城主 直虎」(2.4、浜松市)、「につぼん百名山」(2.25、静岡市)をテーマに実施した。

(5) 美術展・展覧会

「生誕130周年 藤田嗣治展～東と西を結ぶ絵画～」(4.29～7.3、名古屋市)、「没後100年宮川香山」(10.1～11.27、瀬戸市)、「第63回日本伝統工芸展」(10.5～10、名古屋市/10.28～11.6、金沢市)を開催した。

(6) 音楽イベント

正月恒例の「NHKナゴヤニューイヤーコンサート2017」(1.3、名古屋市)のほか、N響地方公演(8.26、岐阜市/8.27、金沢市/8.28、豊橋市/8.29、静岡市)、定期演奏会(1.21、名古屋市)を主催・共催した。

(7) スポーツイベント

「ラジオ体操・みんなの体操会」を中部各地で

実施した。また、「第96天皇杯全日本サッカー選手権大会代表決定戦」を中部各地で実施したほか、「松岡修造のテニスパーク」(5.21, 小牧市)、「NHKジュニアバレーボール教室」(6.18, 長久手市)を実施した。また、2020東京オリンピック・パラリンピックを見据え、愛知県のスポーツ選手10人の競技をしている姿とオフの姿を対比して見せる写真展「NHK写真展・アスリートに恋して。～ギャップもえ男子コレクション～」(11.8～15, 名古屋市)を実施した。

(8) その他のイベント

16年度も名古屋局制作番組『金とく』の中部ネイチャープロジェクトと連動し、コンサート(9.15, 一宮市/8.27, 名古屋局)を実施した。

静岡局では、『連続テレビ小説』「とと姉ちゃん」では、ドラマの序盤の土曜の再放送をファンと一緒に見るイベント「とと姉ちゃんプレミアムトーク」(4.16, 浜松市)を実施したほか、『大河ドラマ』「おんな城主 直虎」のご当地局として、放送開始を目前に各地域ゆかりの武将を演じるゲストを迎えたトークショー「まもなく放送!大河ドラマ『おんな城主 直虎』ご当地トーク」(11.26, 浜松市/12.4, 御前崎市/12.18, 静岡市)、「初回パブリックビューイング」(1.8, 浜松市)、「公開ラジオ番組『井伊ね!直虎ジオ』」(1.22, 浜松市)を実施した。

岐阜局では、岐阜県出身の直木賞作家・朝井リョウさんが岐阜県の高校生が創作した映像や小説を題材に語る「岐阜の高校生集まれ!青春!創作!フェスタ～朝井リョウと高校生のクロストーク」(12.10, 大垣市)を実施したほか、県内のケーブルテレビと協力してカラオケNo.1を決める「歌王ぎふ～大切な人に贈る歌～」(2.18, 岐阜市)、学生落語の全国大会「全日本学生落語選手権 策伝大賞」(2.25～26, 岐阜市)などを実施した。

3. 営業

営業では、「2015年～2017年度 NHK経営計画」で掲げている5つの重点項目の一つに「受信料の公平負担の徹底に向け、最大限努力」を掲げ、営業改革を一層推進し、過去最高の支払率80%と衛星契約割合50%の達成を17年度末までに目指す。計画の2年目として、中部ブロックでは、営業業績を安定的に確保するため、契約収納業務の外部法人委託による訪問要員体制を構築する目的で、広範な地域を対象とした包括的な業務委託や公開競争入札などを積極的に実施し、支払率と衛

星契約割合を高めた。

16年度末の放送受信契約件数は、16年度当初618万5,000件に対して、8万5,000件の増加を確保し、627万件となった。また、衛星契約件数においても、16年度当初294万4,000件に対し、16年度末には305万件を確保し、10万6,000件の衛星契約増加となった。併せて、事業所契約活動にも積極的に取り組み、1万8,000件の増加数確保し、当初の計画値を超える実績を確保することができた。さらに、訪問によらない営業活動による受信契約取り次ぎ数の向上を目指すため、ケーブル事業者、不動産会社等、特約店型法人委託との連携を強化することで、15年度以上の業績を確保することができた。

民事関連手続きにおいては、簡易裁判所への支払い督促の申し立てと合わせ、16年度においては、未契約世帯・事業所に対しても民事訴訟を実施し、公平負担の徹底に努めた。